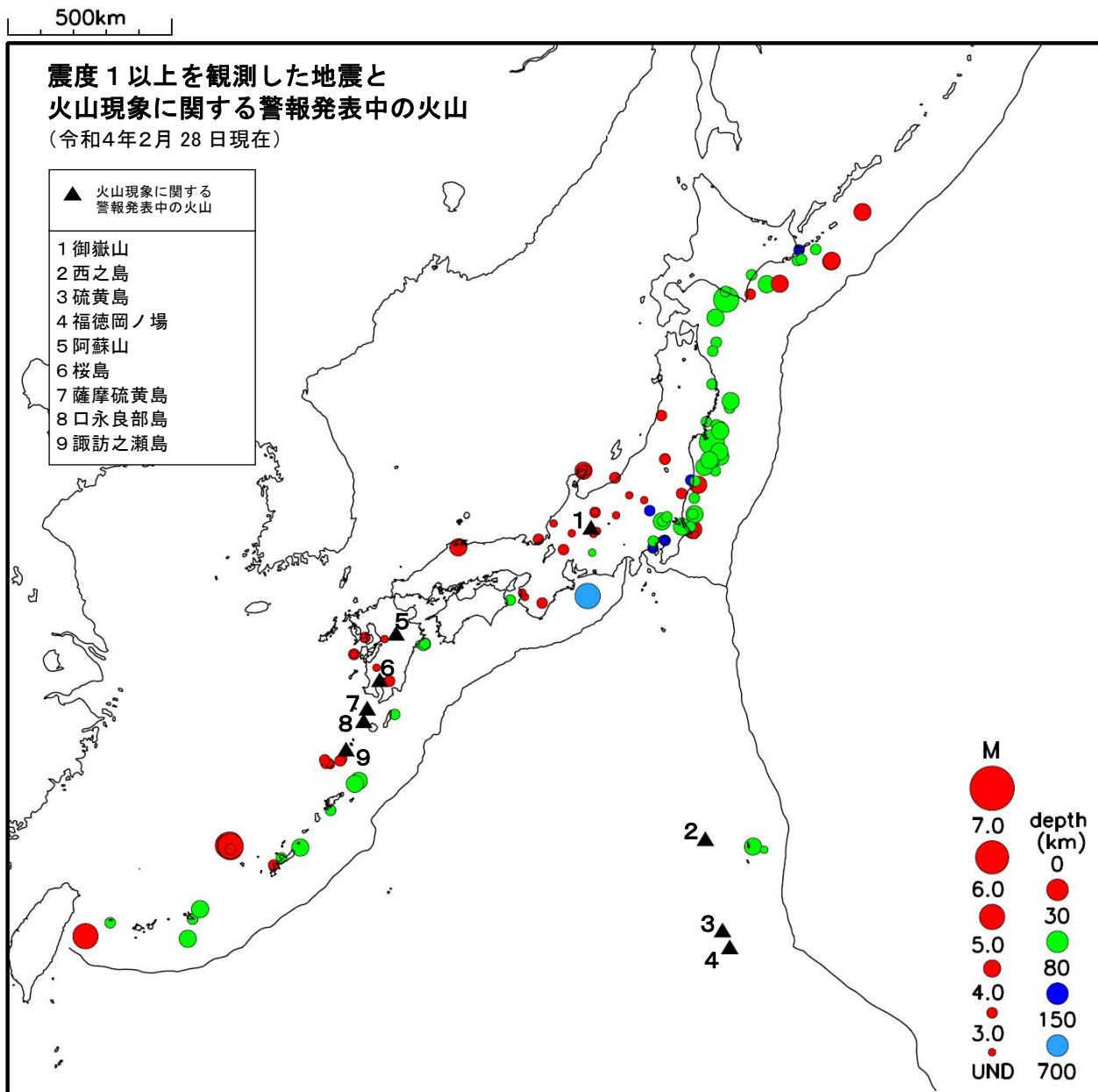


令和4年2月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

February 2022



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年(1997年)10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 令和4年2月28日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和4年2月28日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

2021年2月28日現在、次の期間の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、その前後の期間と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られる。

①2020年9月1日から10月23日まで、②2021年1月9日から3月7日まで、③2021年4月19日から12月5日まで震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本資料中の地図等は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	9
近畿・中国・四国地方の地震活動	11
九州地方の地震活動	12
沖縄地方の地震活動	16
その他の地域の地震活動	18
● 南海トラフ周辺の地殻活動	19
● 日本の主な火山活動	22
北海道地方の火山活動	33
東北地方の火山活動	35
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	37
近畿・中国・四国地方の火山活動	41
九州地方の火山活動	42
沖縄地方の火山活動	46
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	47
● 世界の主な地震	48
● 世界の主な火山活動	49
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	50
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	67
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	68
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	69
5. 緊急地震速報の提供状況	70

● 日本及びその周辺での主な地震活動

2022 02 01 00:00 -- 2022 02 28 24:00

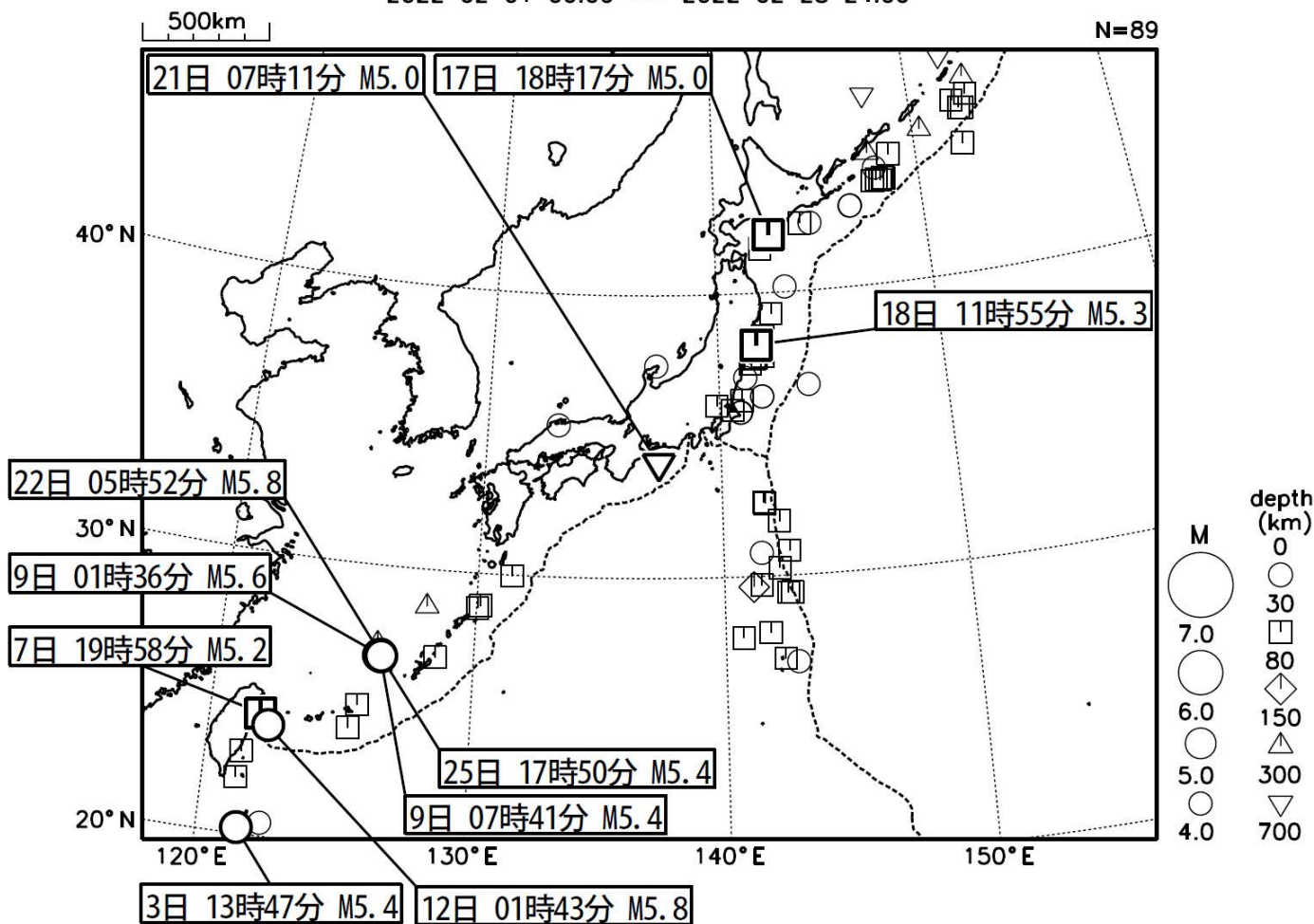


図1 令和4年2月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和4年(2022年)2月に日本国内で震度4以上を観測した地震は1回(1月は2回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は89回(1月は85回)であった(図1)。

2月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。2月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震もなかった(1月は震度5弱以上を観測した地震は2回で、津波を観測した地震はなかった)。

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和4年2月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注1) (注2) (注3)

No.	震源時 月日時分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等 <small>(注6)</small>	掲載 ページ
1	2 17 18 17	浦河沖	5.0	4.9	・ ・ ・ ・	3：北海道 函館市泊町* 函館市新浜町* など1道1県7地点	6
2	2 18 11 55	宮城県沖	5.3	5.2	・ ・ S ・	4：宮城県 涌谷町新町裏 大崎市田尻* など1県4地点	4、8
3		石川県能登地方の 地震活動			・ ・ ・ ・	2月中に震度1以上を観測する地震が6回（震度3：1回、 震度2：1回、震度1：4回）発生し、このうち最大規模の 地震は、7日17時59分に発生したM4.1の地震（最大震度3）	10
4		沖縄本島北西沖の 地震活動			・ ・ ・ ・	2月9日以降28日までに震度1以上を観測する地震が13回 （震度2：5回、震度1：8回）発生し、このうち最大規模 の地震は、22日05時52分に発生したM5.8の地震（最大震度 2）	17
5		トカラ列島近海の 地震活動			・ ・ ・ ・	2月13日以降28日までに震度1以上を観測する地震が12回 （震度3：1回、震度2：5回、震度1：6回）発生し、こ のうち最大規模の地震は、22日00時36分に発生したM3.5の地 震（最大震度1）	13～15

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) MHS Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

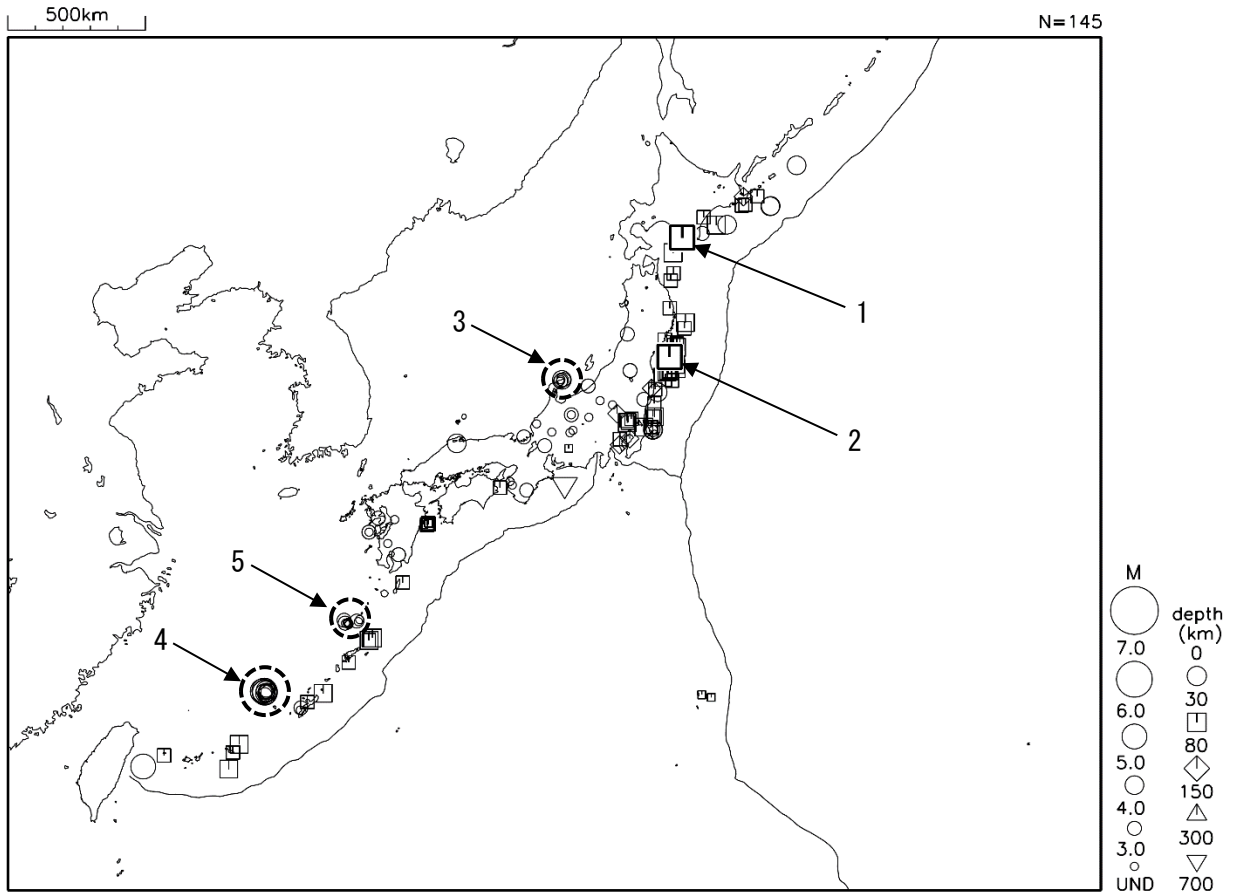


図2 令和4年2月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

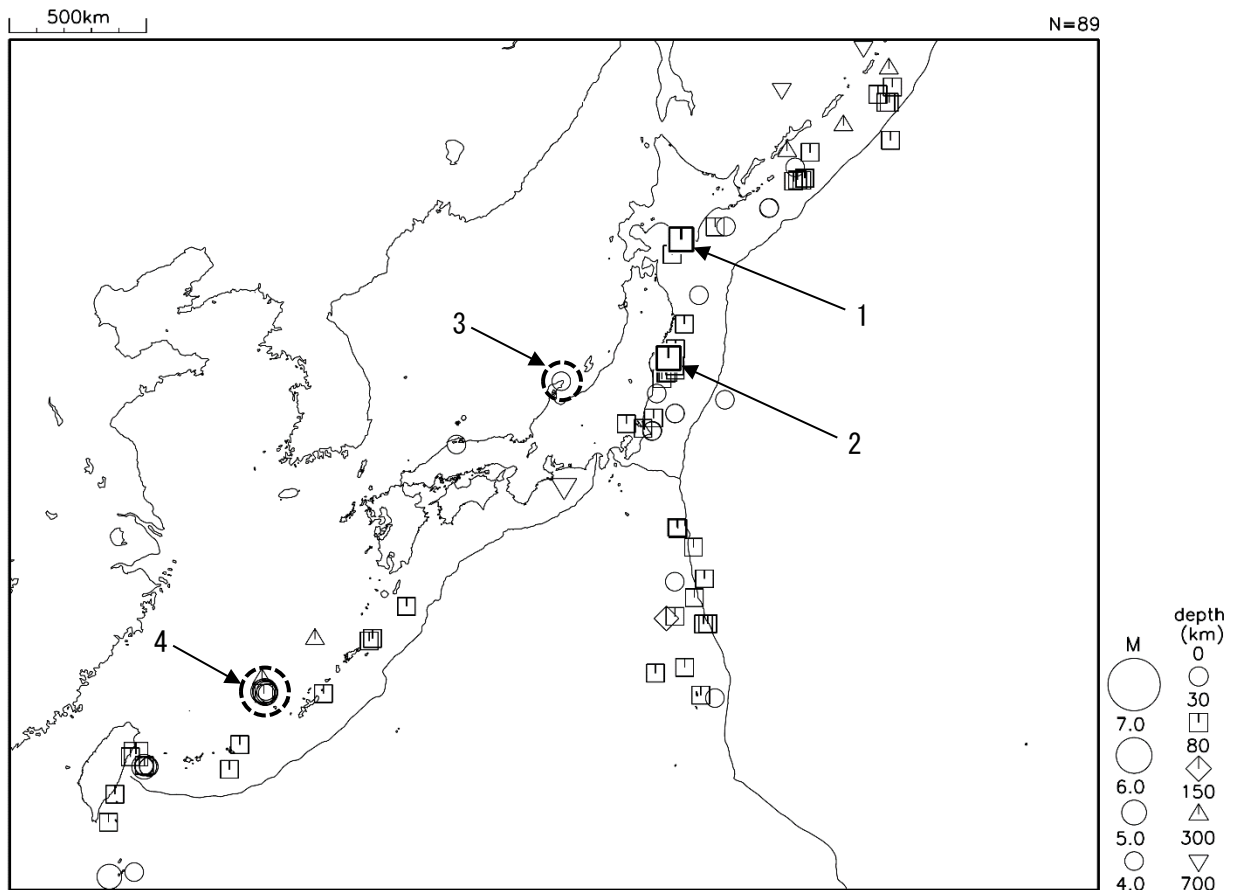


図3 令和4年2月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

2 2月18日11時55分 宮城県沖
(M5.3、深さ52km、最大震度4)

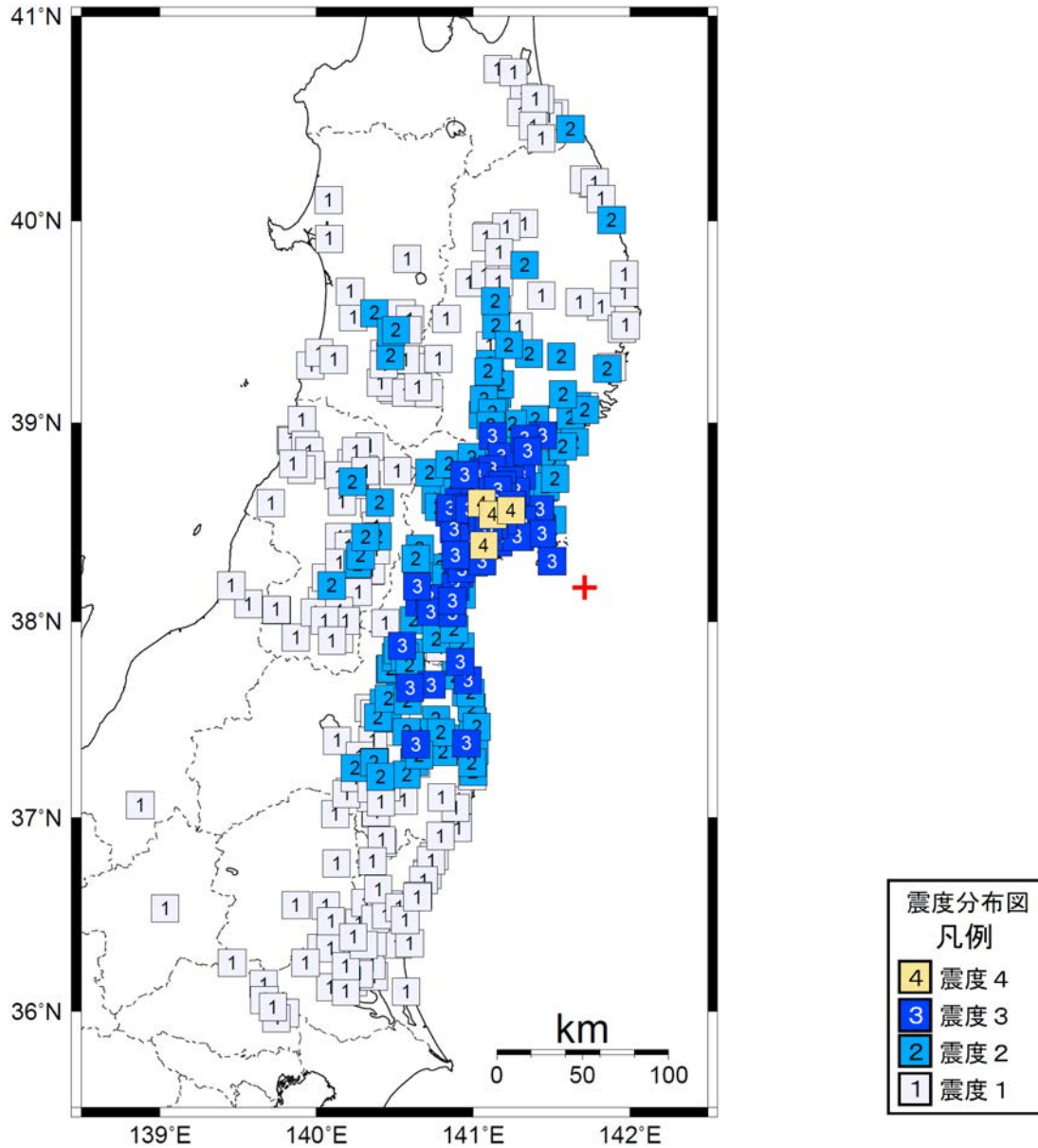


図4 震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース (<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

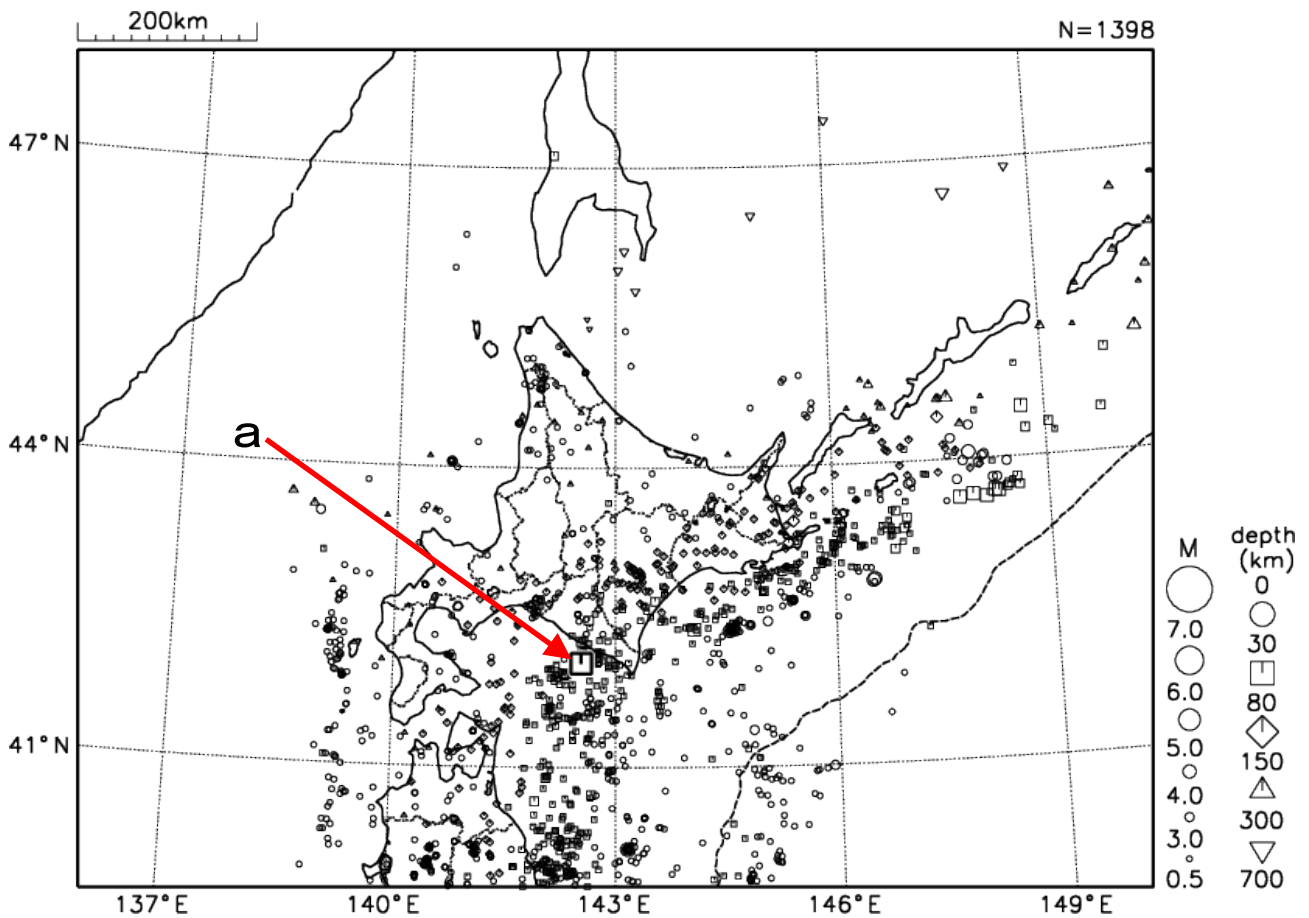


図5 北海道地方の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

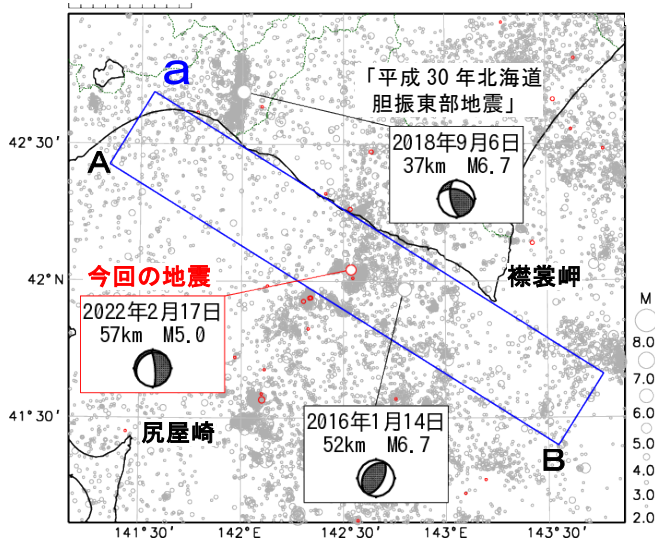
[概況]

2月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（1月は9回）であった。2月中の主な地震活動は次のとおりである。

17日18時17分に浦河沖の深さ57kmでM5.0の地震（図5中のa）が発生し、北海道、青森県で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した（p.6参照）。

2月17日 浦河沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2022年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2022年2月の地震を赤く表示

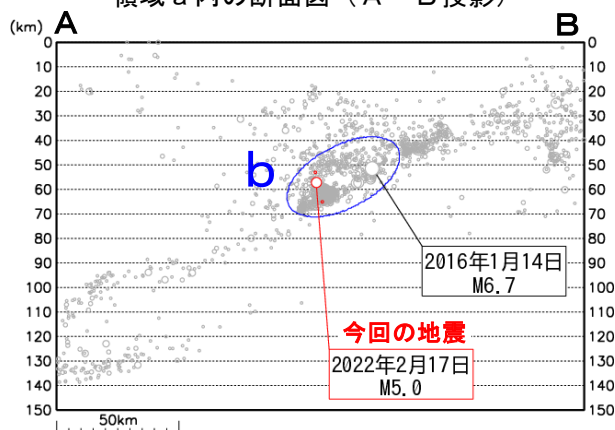


2022年2月17日18時17分に浦河沖の深さ57kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構が東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型で、陸のプレート内で発生した。

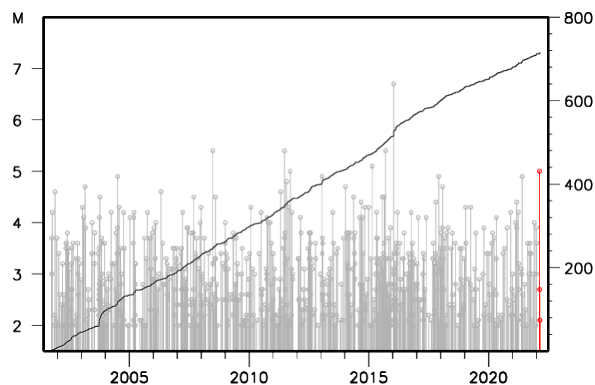
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2016年1月14日に発生したM6.7の地震(最大震度5弱)では、負傷者2人の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)では、北海道で重軽傷者167人、住家全半壊41棟などの被害が生じた(「昭和57・58年災害記録」(北海道、1984)による)。

領域a内の断面図(A-B投影)

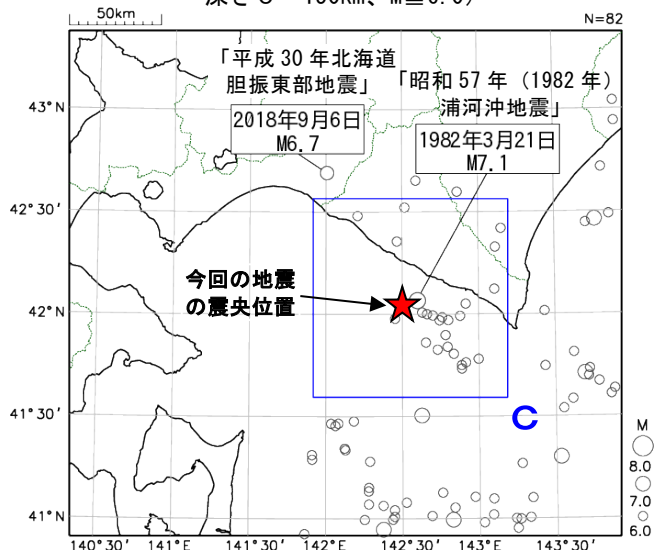


領域b内のM-T図及び回数積算図

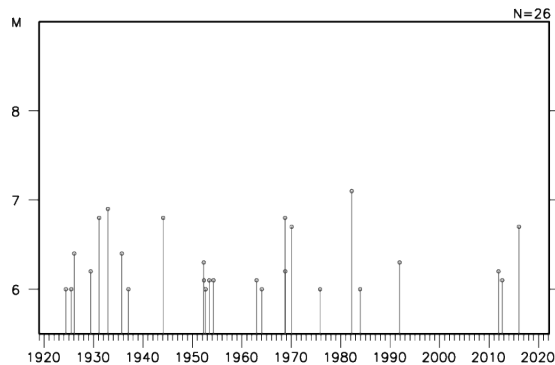


震央分布図

(1919年1月1日～2022年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

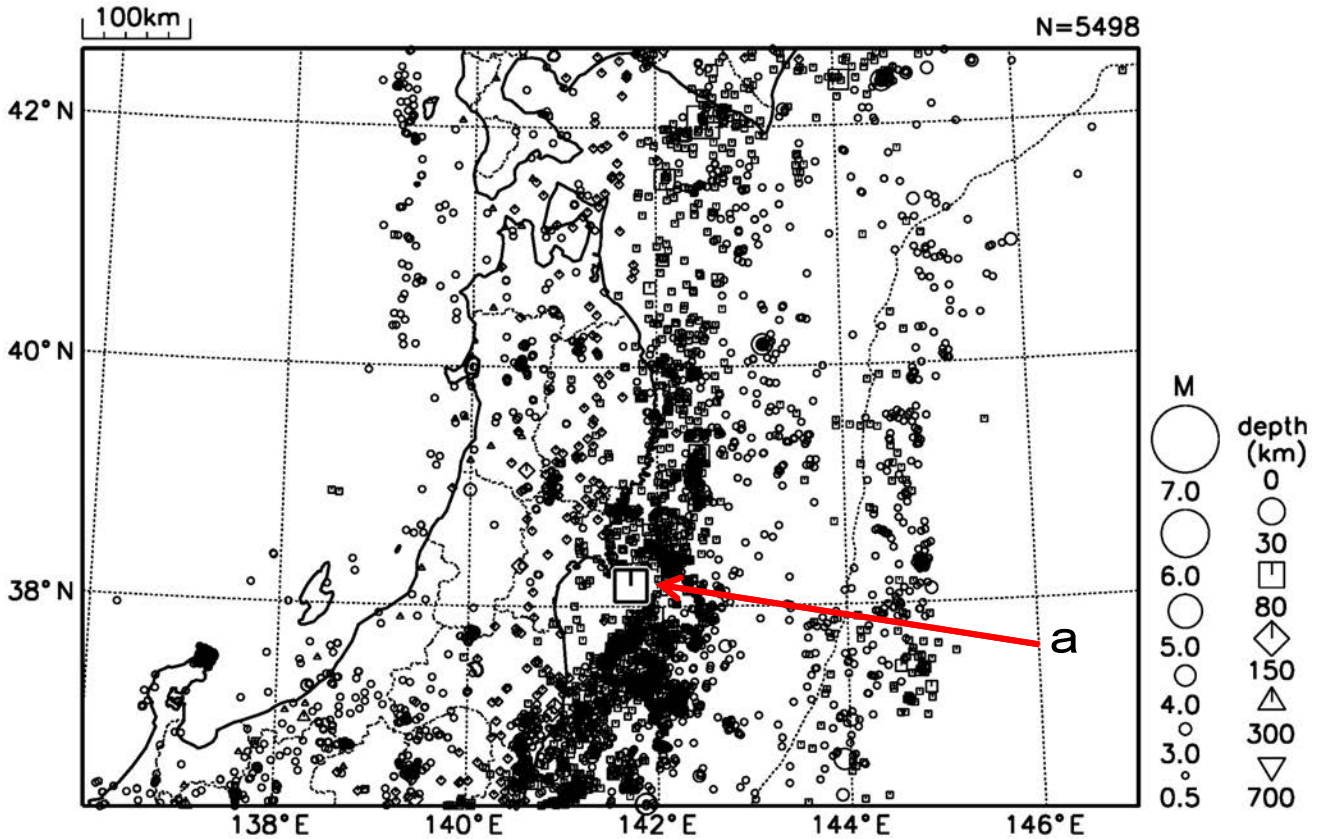


図6 東北地方の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

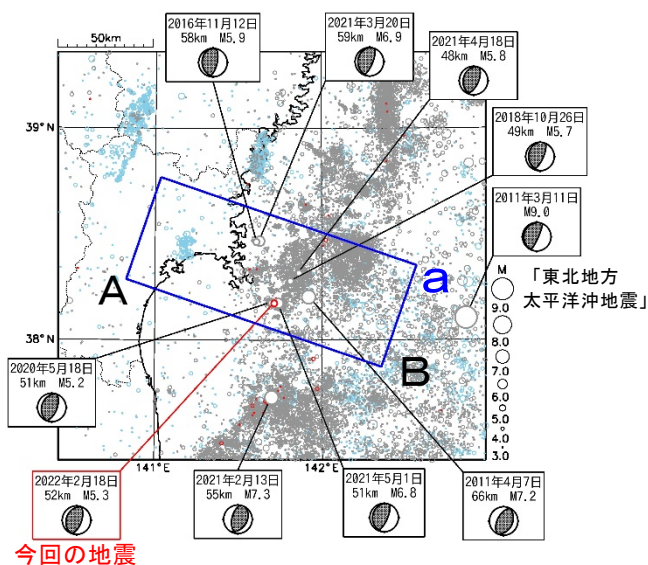
[概況]

2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は32回（1月は29回）であった。2月中の主な活動は次のとおりである。

18日11時55分に宮城県沖の深さ52kmでM5.3の地震（図6中のa）が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した（p.4、8参照）。

2月18日 宮城県沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2022年2月28日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
 2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
 2022年2月に発生した地震を赤色で表示
 発震機構はCMT解

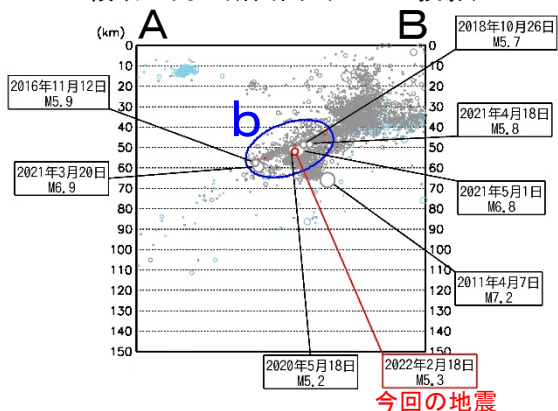


2022年2月18日11時55分に宮城県沖の深さ52kmで $M 5.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

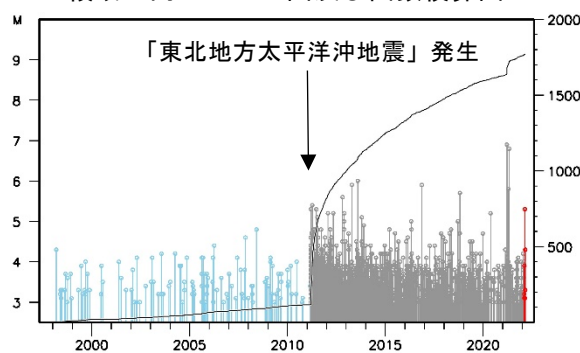
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前は $M 5.0$ 以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震発生数が増加し、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生前から $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、1978年6月12日に発生した「1978年宮城県沖地震」（ $M 7.4$ 、最大震度5）では、気仙沼漁港で120cm（全振幅）の津波を観測した。この地震により、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟、半壊5,574棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

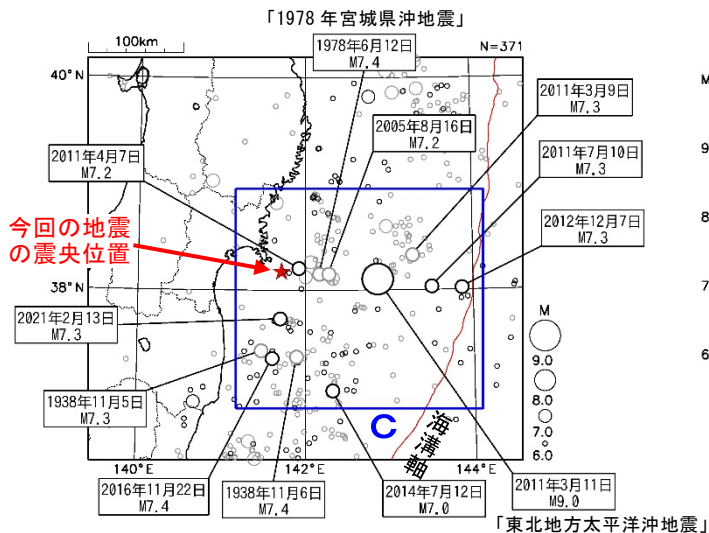
領域a内の断面図（A－B投影）



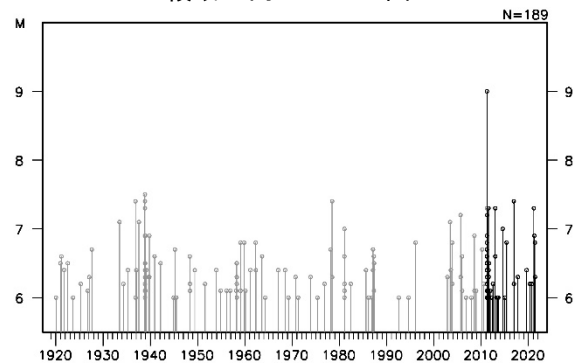
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2022年2月28日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
 2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示
 「1978年宮城県沖地震」



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

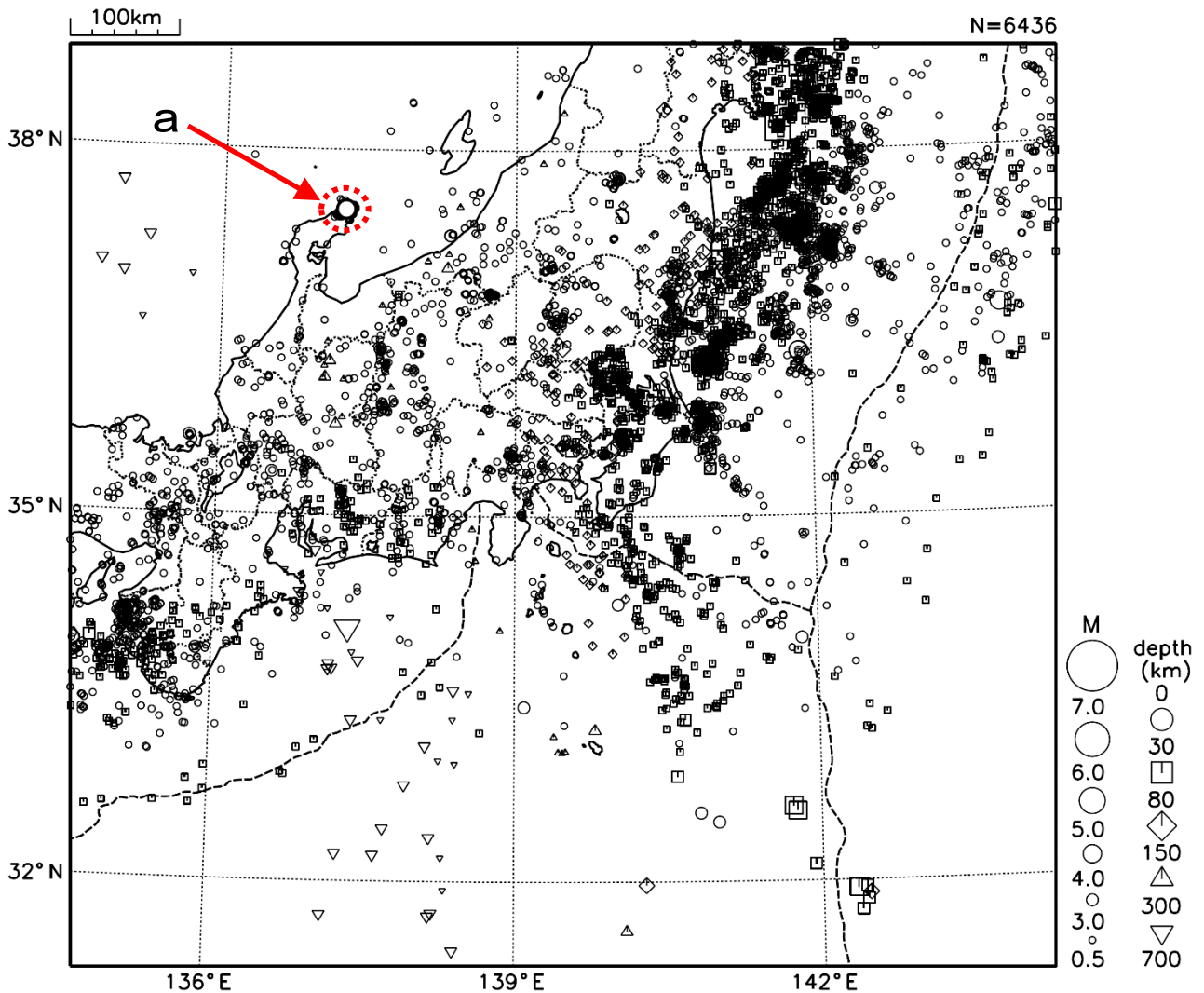


図7 関東・中部地方の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は46回（1月は55回）であった。2月中の主な活動は次の通りである。

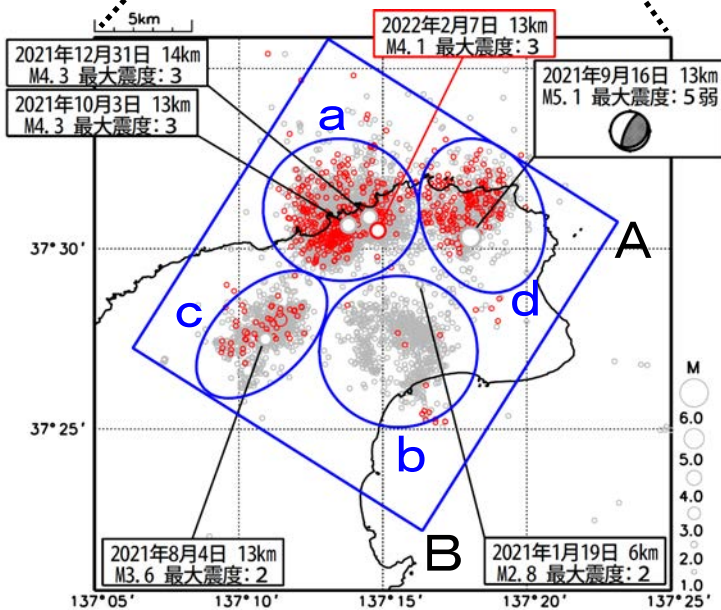
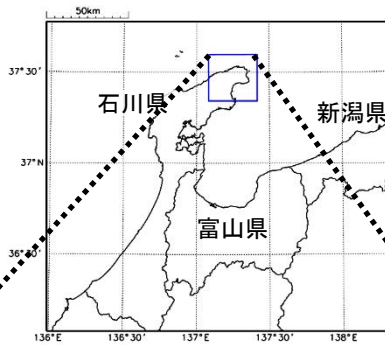
石川県能登地方では2月中に震度1以上を観測した地震が6回（震度3：1回、震度2：1回、震度1：4回）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は7日17時59分に発生したM4.1の地震で、この地震により石川県珠洲市及び能登町で震度3を観測したほか、新潟県及び石川県で震度2～1を観測した。（p.10参照）

石川県能登地方の地震活動

震央分布図

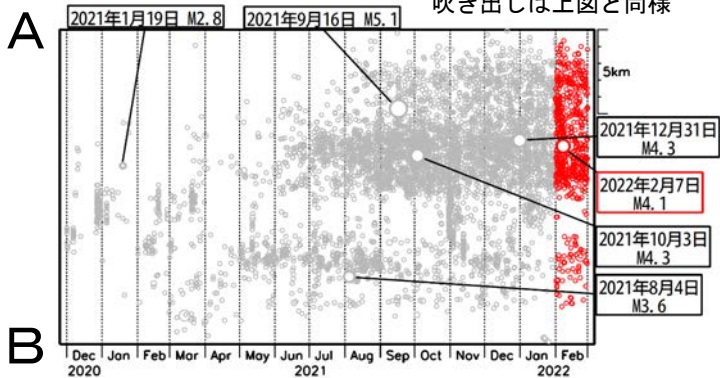
(2020年12月1日～2022年2月28日、
深さ0～25km、M_≥1.0)

黒色の吹き出しは各領域（a～d）内で最大規模の地震
赤色の吹き出しは矩形内で2022年2月中の最大規模の地震
2022年2月の地震を赤色で表示

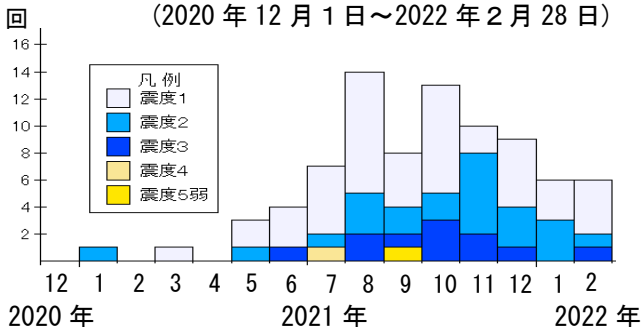


上図矩形内の時空間分布図（A-B投影）

吹き出しは上図と同様



矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2022年2月28日)



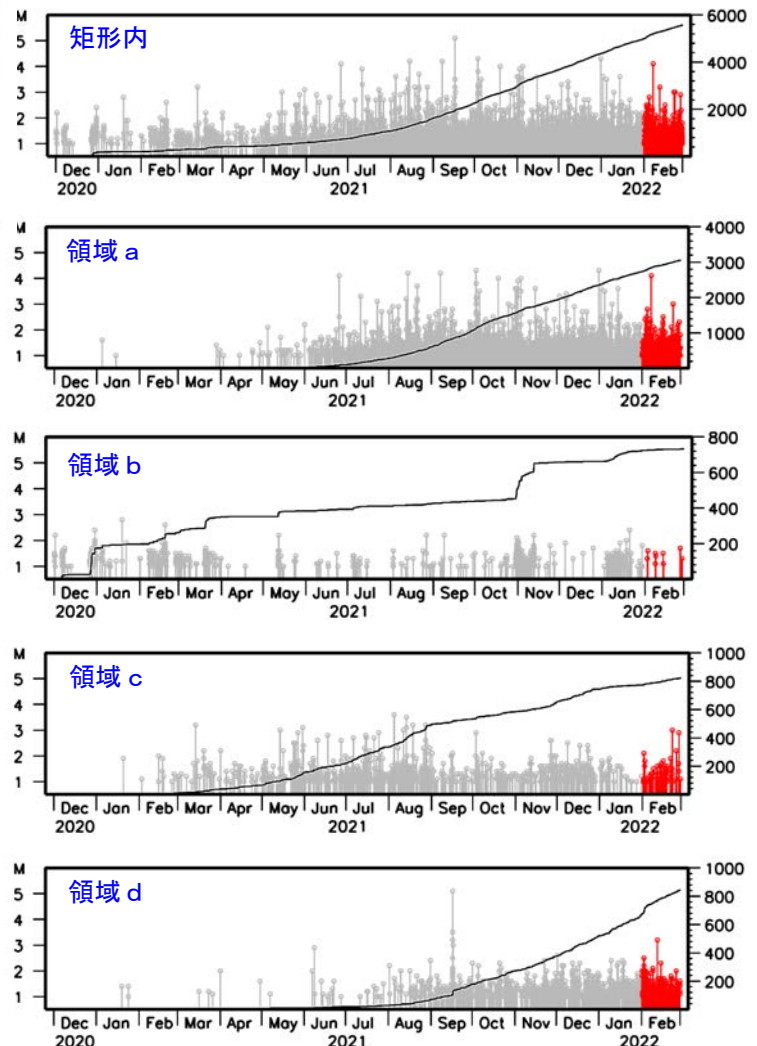
石川県能登地方（拡大図の矩形内）では、2018年頃から地震回数が増加傾向となり、2020年12月から地震活動が活発になった。2022年2月中もその傾向は継続している。2022年2月中の最大規模の地震は、7日に発生したM4.1の地震（最大震度3）である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2021年9月16日に発生したM5.1の地震（最大震度5弱）である。

2020年12月以降の領域別の地震活動をみると、最初に活発化した領域bの活動は、2021年4月以降鈍化傾向であり、2021年11月初頭前後や2022年1月頃に一時活発になったが2022年2月中は低調であった。領域bに続き活発化した領域cの活動も鈍化傾向であるが、2021年12月はやや活発になった。一方、遅れて活発化した領域a及び領域dの活動は依然活発である。矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は以下の表のとおり。

期間別・震度別の地震発生回数表

期間	震度					計
	1	2	3	4	5弱	
2020年12月1日～2022年1月31日	42	22	10	1	1	76
2022年2月1日～28日	4	1	1	0	0	6
計	46	23	11	1	1	82

左図矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2022年2月28日)



○近畿・中国・四国地方の地震活動

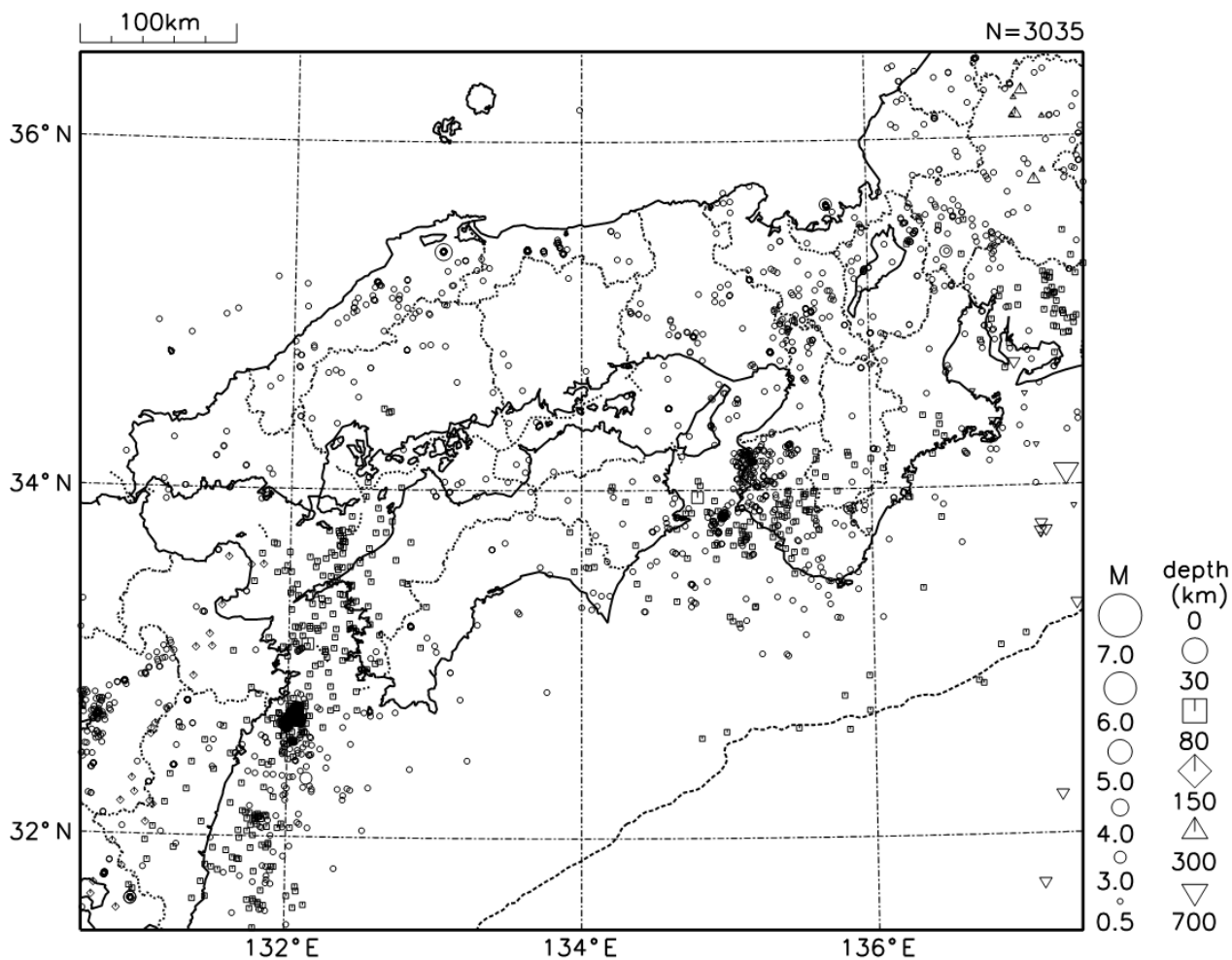


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は7回（1月は42回）であった。2月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

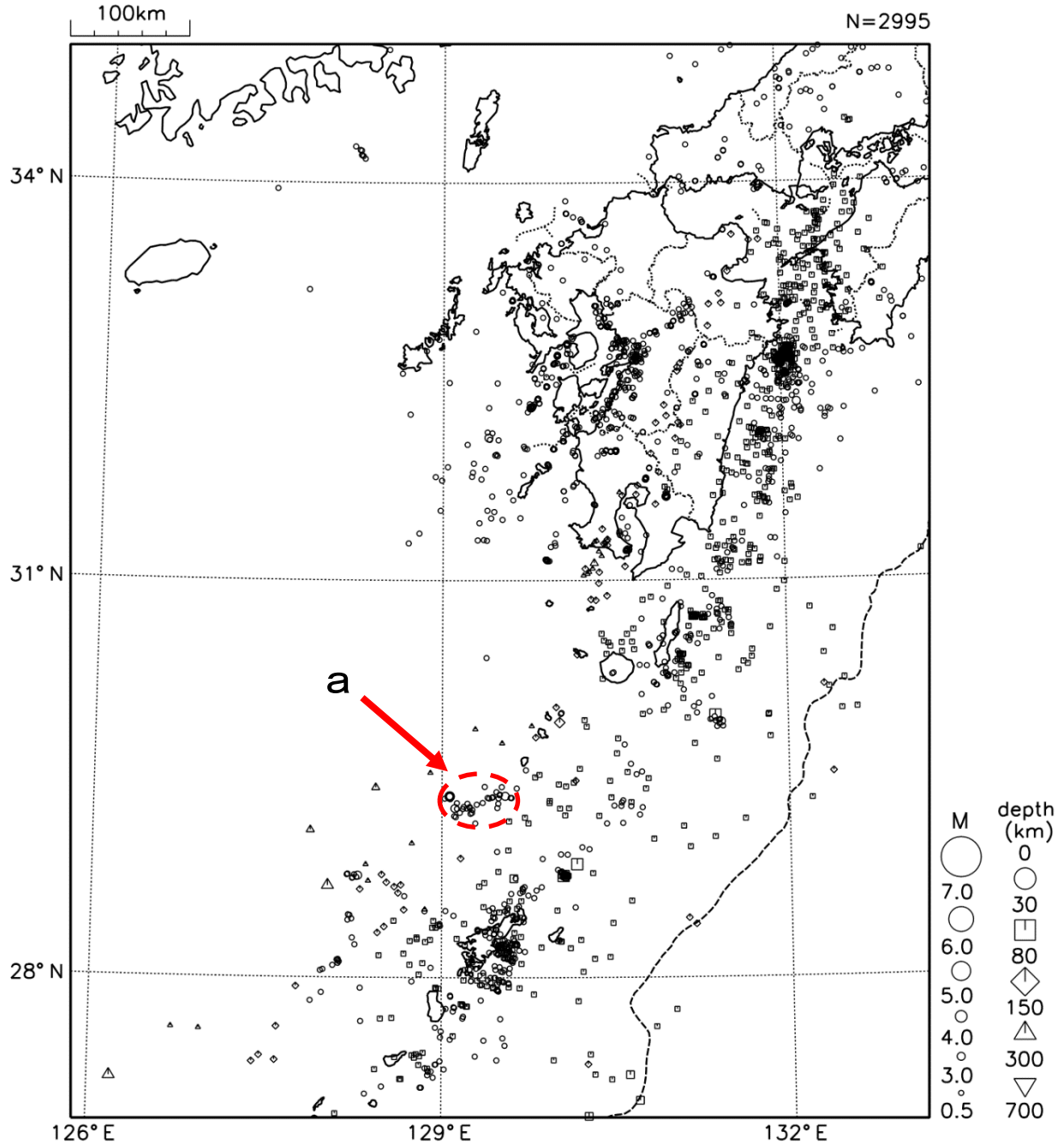


図9 九州地方の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

[概況]

2月に九州地方で震度1以上を観測した地震は34回（2022年1月は61回）であった。2月中の主な活動は次のとおりである。

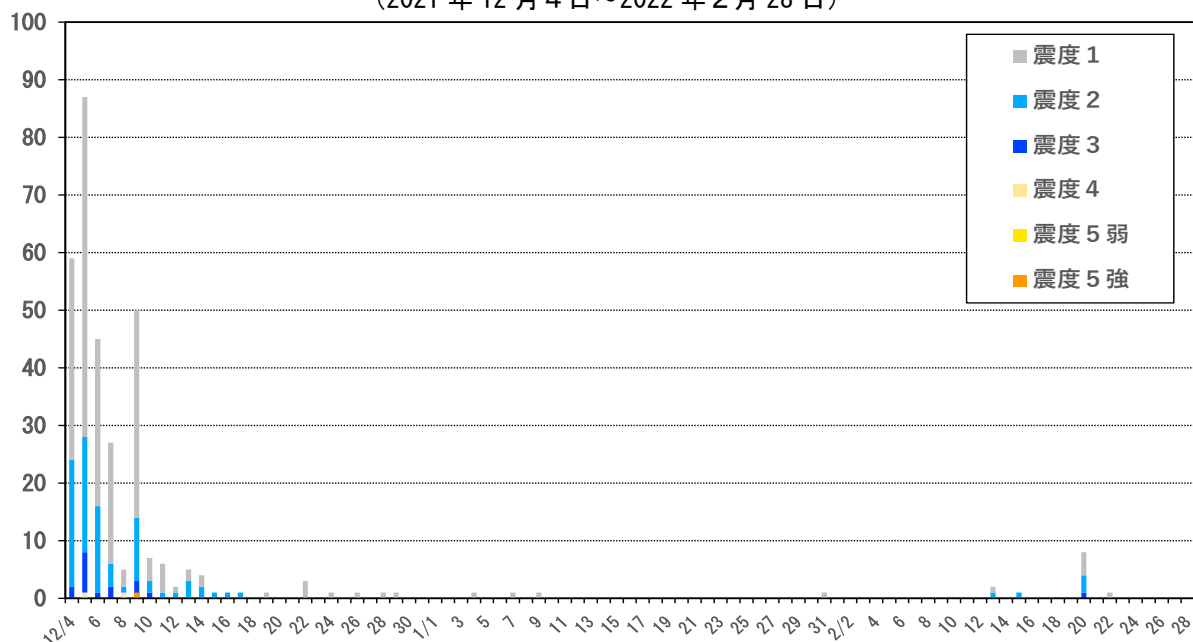
2月中にトカラ列島近海（小宝島付近、図9中の領域a）で震度1以上を観測する地震が12回（震度3：1回、震度2：5回、震度1：6回）発生した。このうち最大の震度を観測した地震は20日11時30分に発生したM3.2の地震で、鹿児島県十島村小宝島で震度3を観測した。また最大規模の地震は22日00時36分に発生したM3.5の地震で、鹿児島県十島村悪石島で震度1を観測した。（p.13～15参照）

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

震度1以上の最大震度別地震回数表
(2021年12月～2022年2月)

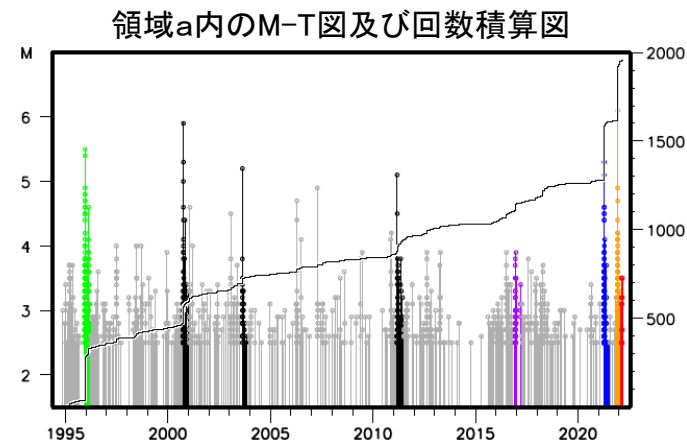
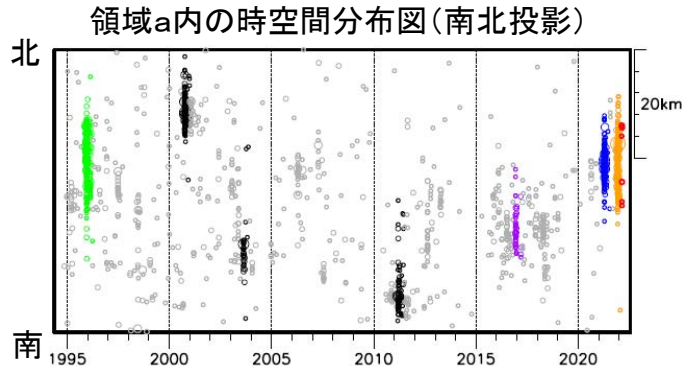
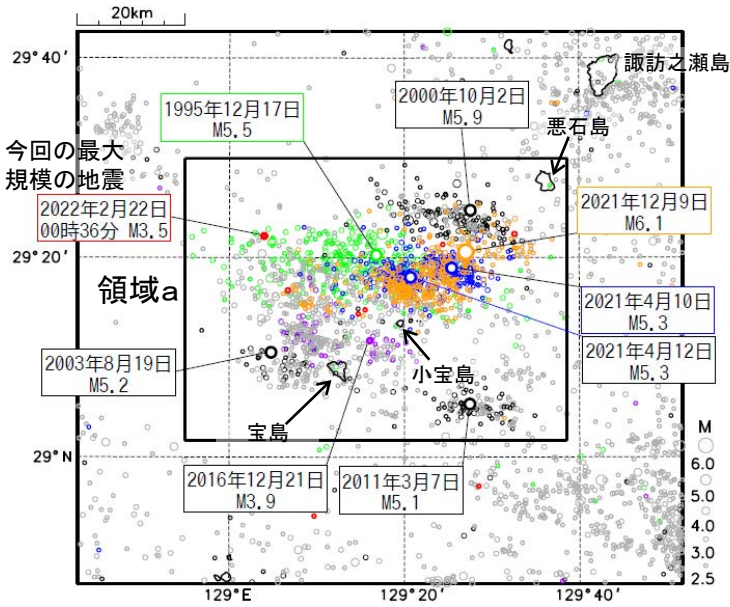
年月日	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	回数	累計
2021年12月	205	85	15	2	0	1	0	0	0	308	308
2022年1月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	312
2022年2月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312
13日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	314
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314
15日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	315
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315
20日	4	3	1	0	0	0	0	0	0	8	323
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323
22日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	324
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324
総計	215	90	16	2	0	1	0	0	0		324

震度1以上の日別最大震度別地震回数図
(2021年12月4日～2022年2月28日)



震央分布図

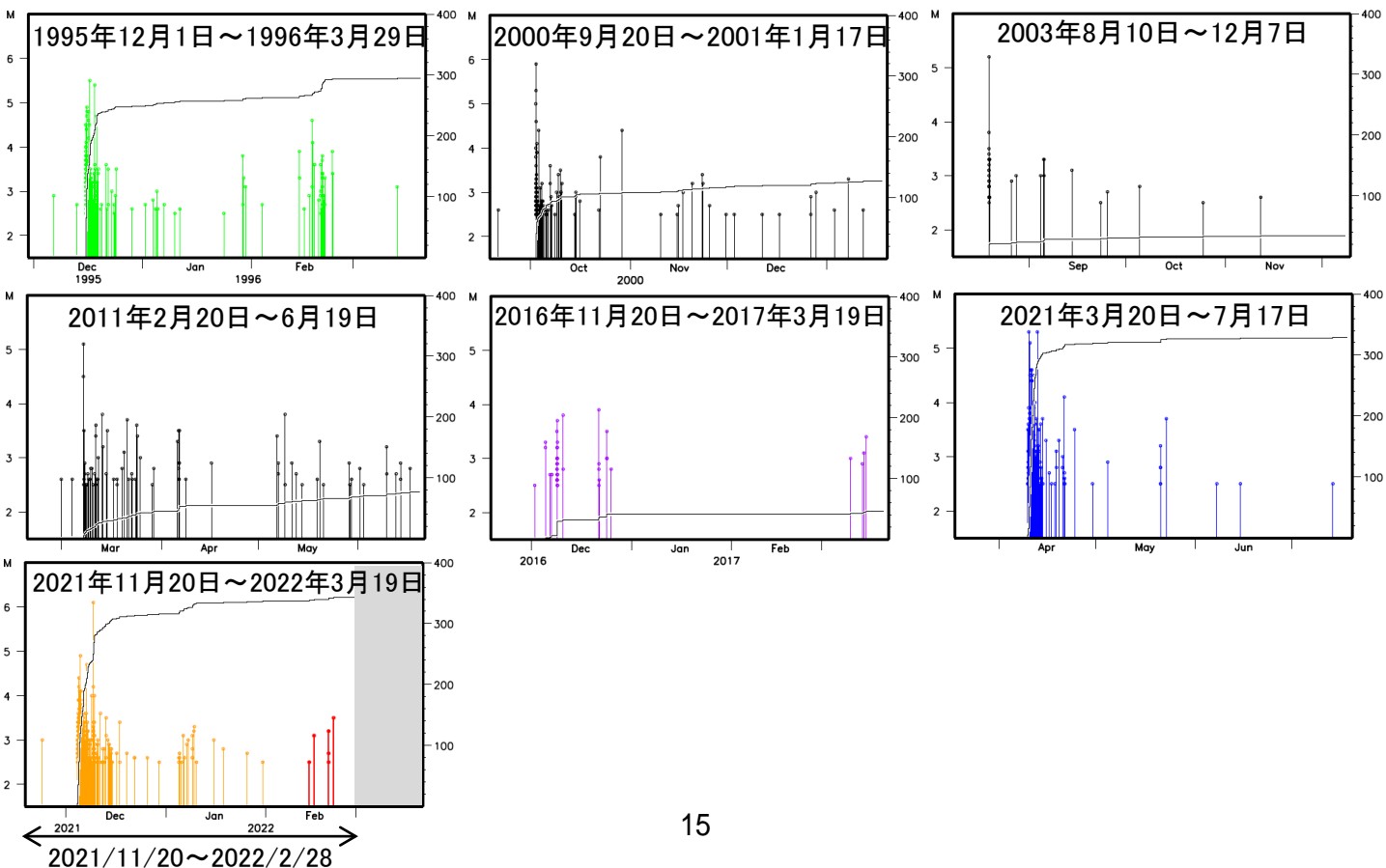
(1994年10月1日～2022年2月28日、深さ0～50km、 $M \geq 2.5$)



主な地震活動について期間別(各120日間)の色分け

- 1995年12月1日～1996年3月29日: 緑色
- 2000年9月20日～2001年1月17日: 黒色
- 2003年8月10日～12月7日: 黒色
- 2011年2月20日～6月19日: 黒色
- 2016年11月20日～2017年3月19日: 紫色
- 2021年3月20日～7月17日: 青色
- 2021年11月20日～2022年3月19日:
 - ・2021年11月20日～2022年1月31日: 橙色
 - ・2022年2月1日～: 赤色
- 上記期間以外: 灰色

領域a内の期間別(各120日間)のM-T図及び回数積算図



○沖縄地方の地震活動

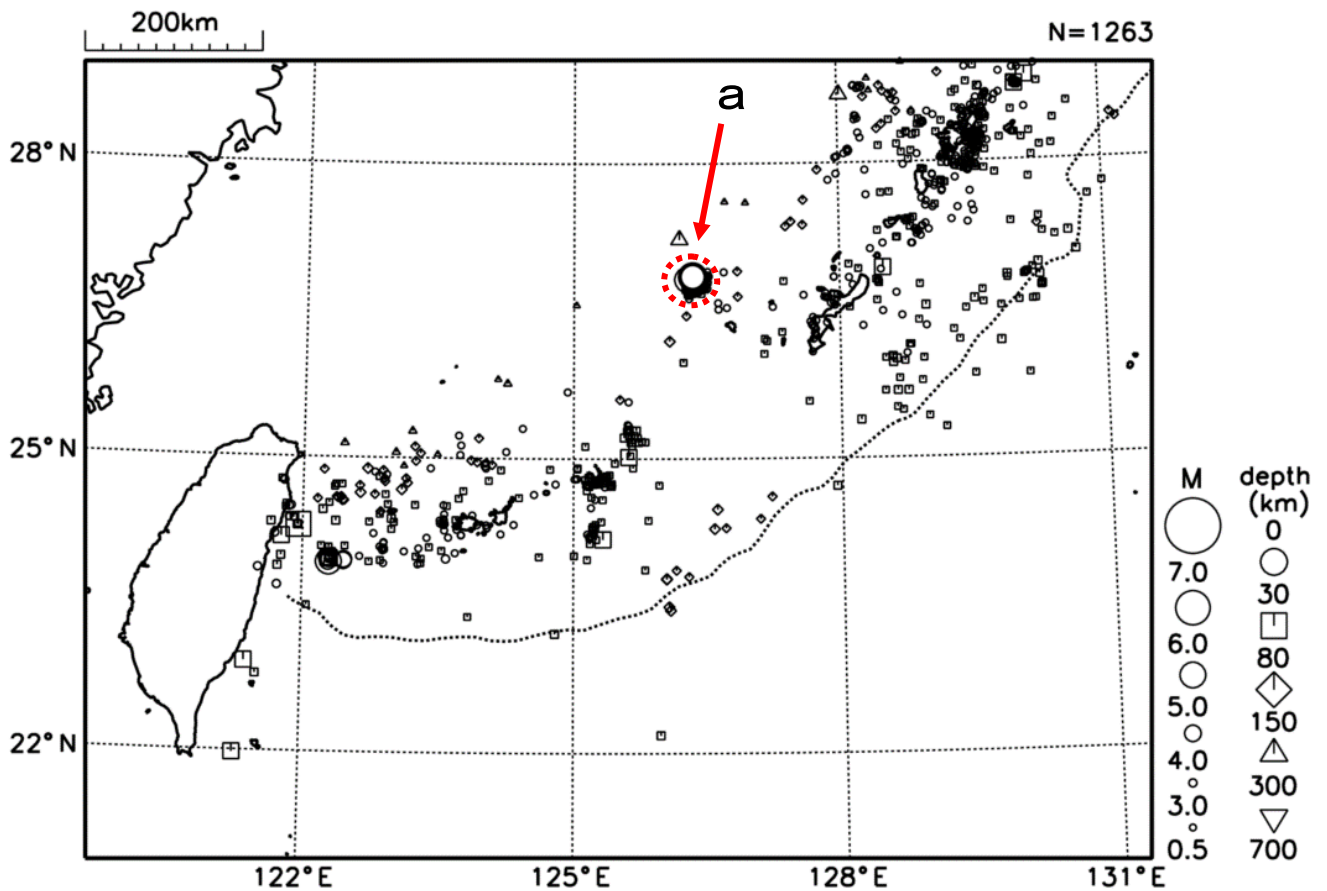


図10 沖縄地方の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は23回（1月は8回）であった。2月中の主な活動は次の通りである。

1月30日から沖縄本島北西沖で地震活動（図10中のa）がやや活発になり、22日05時52分に最大規模のM5.8の地震（最大震度2）が発生するなど、震度1以上を観測した地震が13回（震度2：5回、震度1：8回）発生した（p.17参照）。

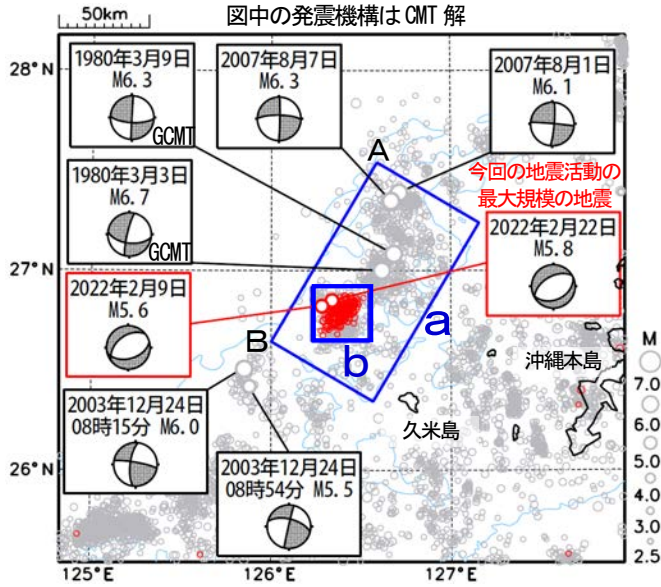
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980年1月1日～2022年2月28日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)

2022年1月30日以降の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

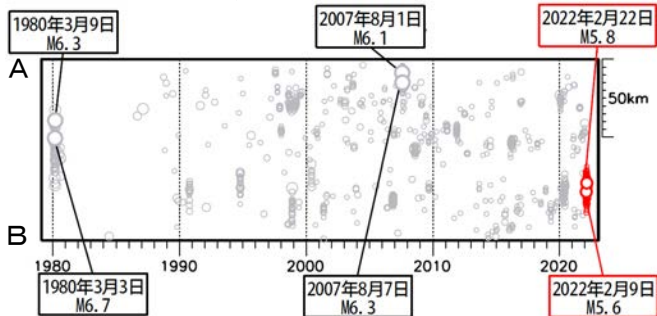


図中の青色の等値線は水深1500mを示す。

※1980年3月3日の地震の発震機構はGlobal CMTによる。

領域a内の時空間分布図（A-B投影）
(1980年1月1日～2022年2月28日)

今回の地震活動の
最大規模の地震

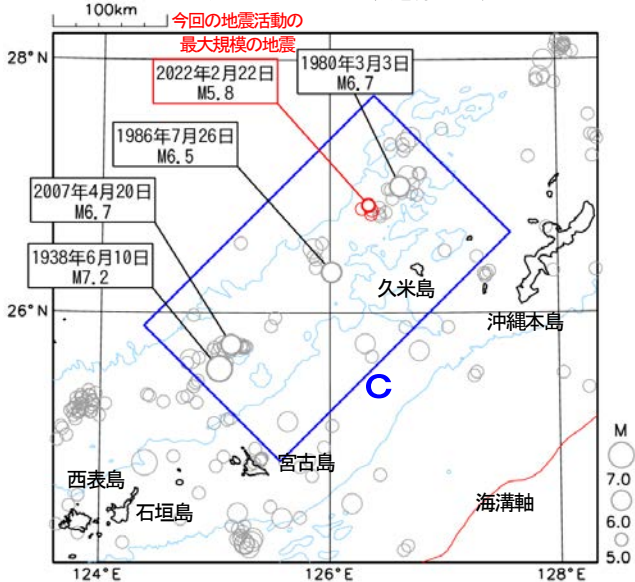


震央分布図

(1919年1月1日～2022年2月28日、
深さ0km～60km、 $M \geq 5.0$)

2022年1月30日以降の地震を赤色で表示

今回の地震活動の
最大規模の地震

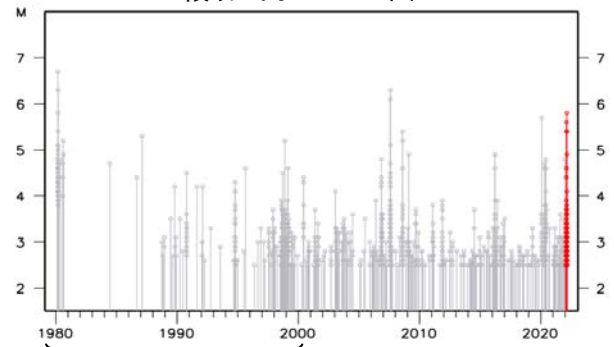


図中の青色の等値線は水深1500mを示す。

沖縄本島北西沖では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、2月28日までに震度1以上を観測する地震が13回（震度2：5回、震度1：8回）発生している。そのうち最大規模の地震は2月22日05時52分に発生したM5.8の地震（最大震度2）であった。この地震の発震機構（CMT解）は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

1980年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺（領域a）では、M5.0以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980年2月から3月にかけて活発化した際には、同年3月3日にM6.7の地震（最大震度3）が発生した。

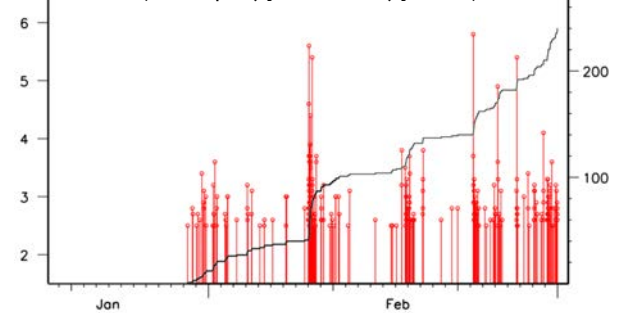
領域a内のM-T図



(この期間の検知能力は $M > 2.5$)

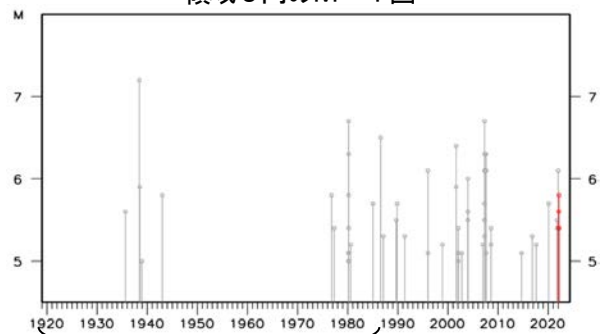
領域b内のM-T図及び回数積算図

(2022年1月20日～2月28日)



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。そのうち、1938年6月10日に発生したM7.2の地震（最大震度4）では、宮古島平良港で1.5m程度の津波が目撃されており、栈橋の流出などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

○その他の地域の地震活動

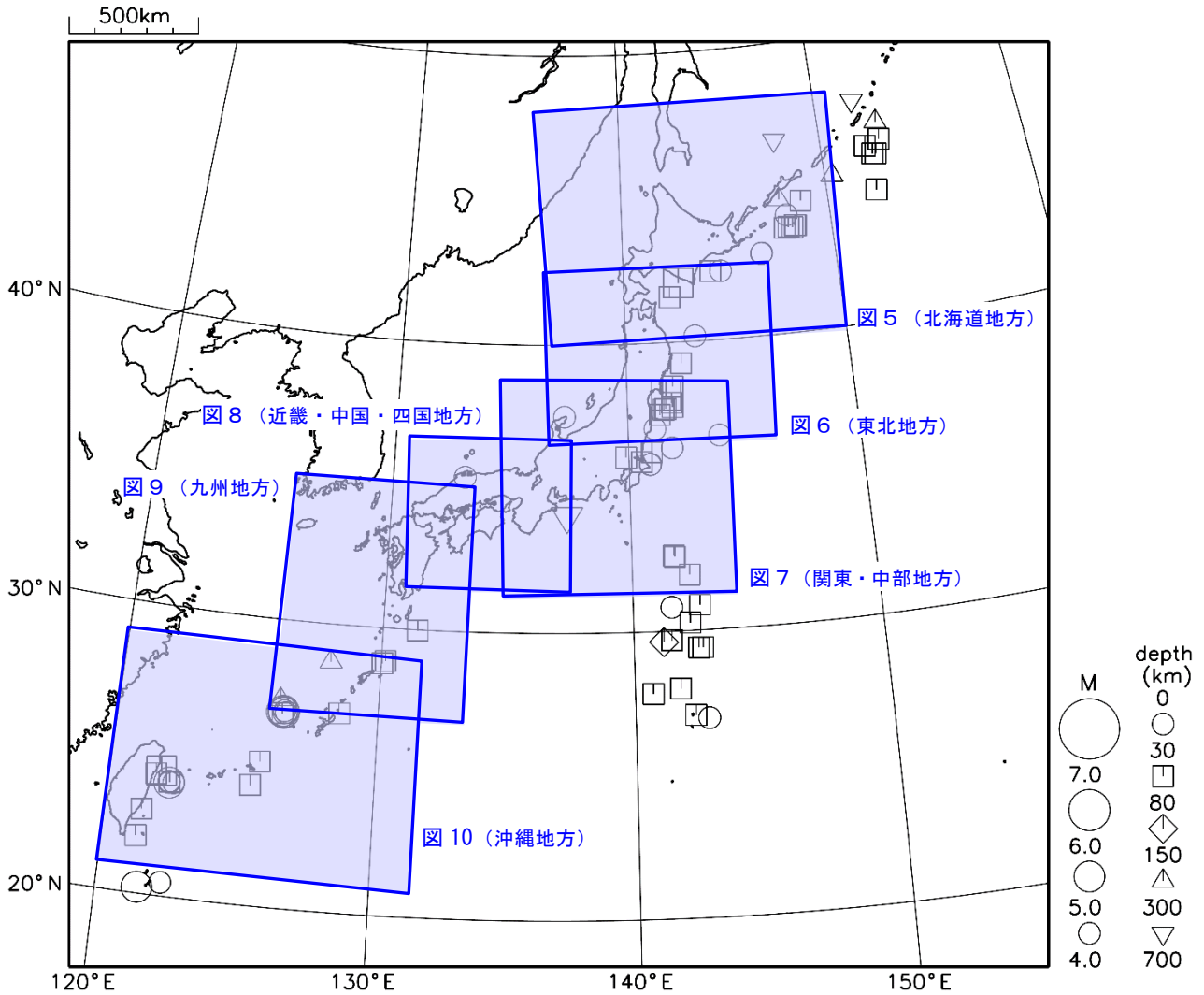


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2022年2月1日～2月28日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

2月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震はなかった（1月は3回）。

2月中に図5～10の領域外で特に目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第53回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第431回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和4年3月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.21に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- (1) 東海：1月14日から2月2日
- (2) 紀伊半島中部から紀伊半島西部：2月2日から2月11日
- (3) 四国西部：2月8日から2月10日

2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)から(3)の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2020年夏頃から紀伊半島西部・四国東部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。加えて、2020年夏頃から九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、最近では停滞しているように見えます。

(長期的な地殻変動)

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)から(3)の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動、2020年夏頃からの紀伊半島西部・四国東部及び九州南部での地殻変動は、それぞれ四国中部周辺、紀伊水道周辺及び日向灘南部のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、日向灘南部の長期的ゆっくりすべりは、最近では停滞しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

(長期的な地殻変動)

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

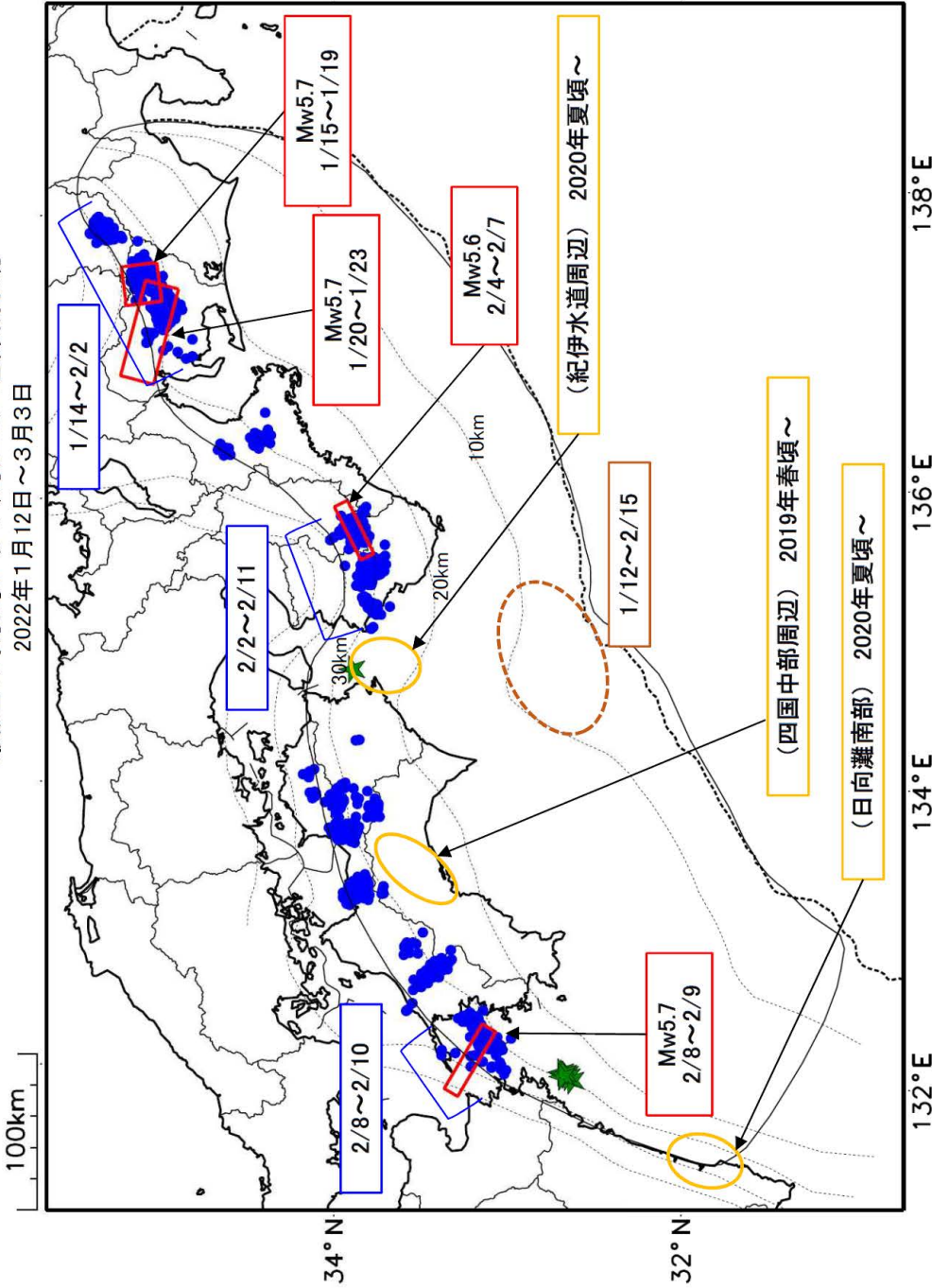
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2022年1月12日～3月3日



- 緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●) 深部低周波地震(微動)
- 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
- 黄(○) 長期的ゆっくりすべり
- 茶(○) 浅部低周波地震(微動)

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………【東海】気象庁の解析結果による。【紀伊半島中部から西部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり……………【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。
 浅部低周波地震(微動)……………【室戸沖から紀伊水道沖】防災科学技術研究所の解析結果を元におよその場所を表示している。

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和4年2月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和4年3月8日14時現在）。

阿蘇山では、24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

御嶽山では、23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和4年3月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	御嶽山、薩摩硫黄島、口永良部島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

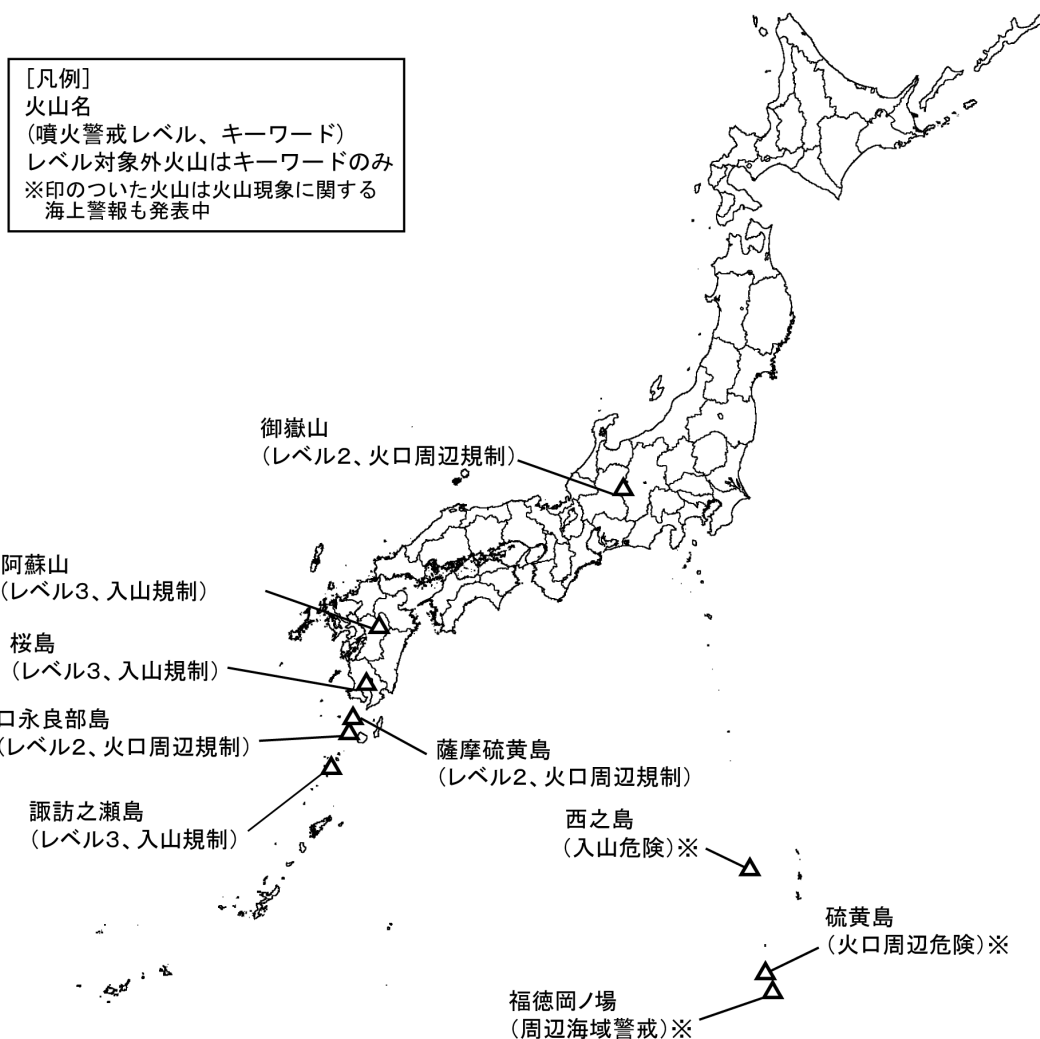


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（2月1日～28日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

御嶽山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ

23日、火山性地震の増加、および地獄谷側が隆起する地殻変動を伴う火山性微動を観測しました。火山活動が高まっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

このため、23日16時35分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

剣ヶ峰南西斜面の79-7火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

山頂火口内に、引き続き、噴気や高温域が認められており、噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島

内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられますが、変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕←24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。

阿蘇山では、火山性微動の振幅が一時的に増大するなど、火山活動が活発な状態で推移しています。

24日05時頃から火山性微動の振幅が増大し、火山活動が高まったことから、同日09時45分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後も火山性微動の振幅は大きい状態で変動しましたが、27日15時40分頃には急激に減少し、以降は小さい状態で推移しました。

中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山ガスに注意してください。また、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（新燃岳）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態でしたが、2022年1月以降、時々わずかな増加がみられ、3月（期間外）に入りやや多い状態となっています。また、2022年1月末から西側斜面の割れ目で噴気が観測されており、2月に入り割れ目付近において地熱域のわずかな拡大が認められます。GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線のわずかな伸びが認められています。

以上のことから、火山活動が次第に高まってきており、今後さらに活発化する可能性があります。活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が2回発生し、噴煙は最高で火口縁上1,300mまで上がり雲に入りました。爆発は発生しませんでした。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、2021年11月以降、山体膨張を示すごくわずかな地殻変動が一時的な停止期間を挟み観測されています。また、島内のGNSS連続観測でも、2021年11月頃から山体膨張に伴うとみられるわずかな基線の伸びが観測されています。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量がやや多い状態で経過しており、桜島島内地下へのマグマの供給を示すと考えられる地殻変動も観測されていることから、現在噴火活動がみられている南岳山頂火口を中心に噴火活動がさらに活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

日あたり1,000トン前後の状態が継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

口永良部島では、火山性地震は1日数回程度発生しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出は少ないながらも継続していることから、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

御岳（おたけ）火口では、17日から18日にかけて爆発が一時的に増加するなど、活発な噴火活動が継続しています。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が継続すると予想されます。

御岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	御嶽山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ペヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域）切替

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替
	口永良部島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島 (つづき)		2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

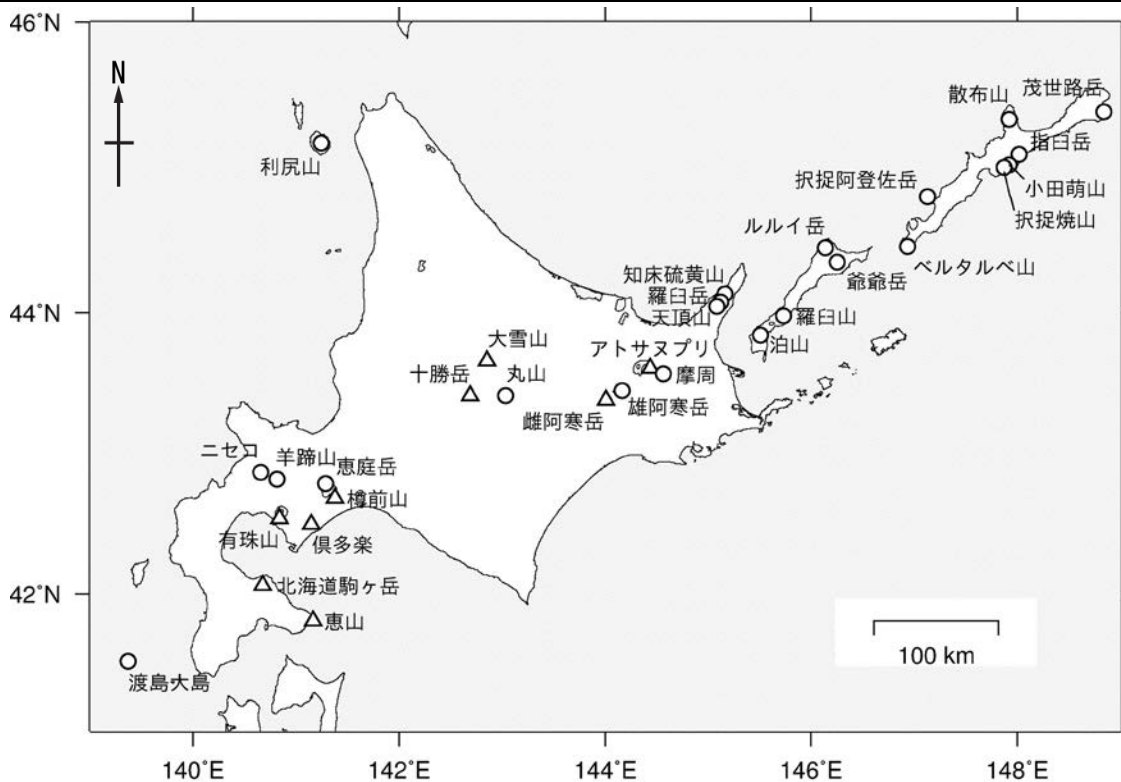
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年2月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

赤沼火口及び北西斜面 06 噴気孔列の噴気活動は 2020 年 12 月以降低下傾向が続いており、地震活動も 2020 年 9 月下旬以降静穏な状態が継続しています。火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2006 年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は 2017 年秋頃に停滞し、その後も膨張した状態が現在も維持されています。さらに、ここ数年は地震の一時的な増加、微動発生や地震増加と同期した傾斜変動、62-2 火口及びその周辺での噴煙・噴気の増加や温度上昇、微弱な火映が観測されるなど、浅部の活動は活発な状態が継続していますので、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年2月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

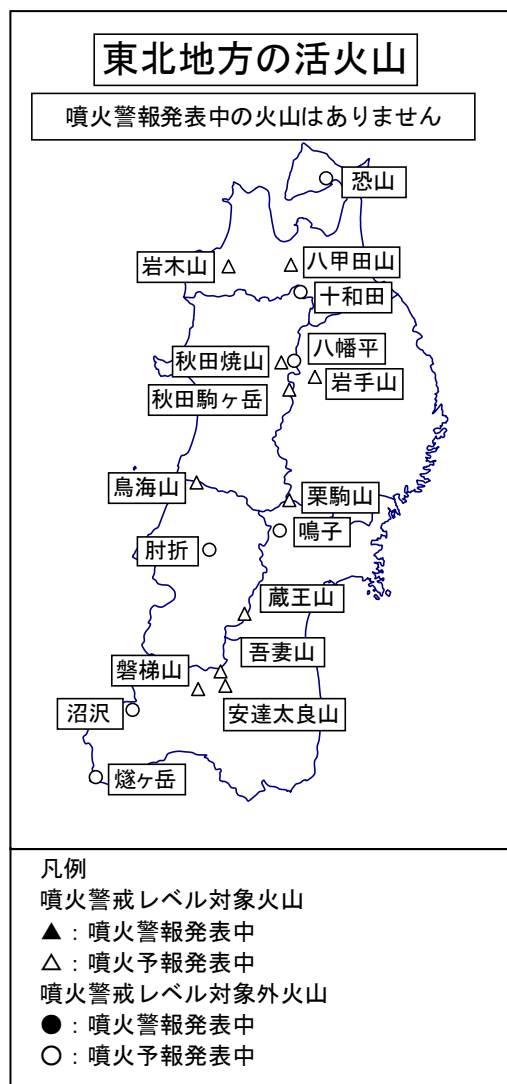
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち女岳付近では地熱活動も継続的に認められますので、中長期的な火山活動の活発化に留意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕



火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動の活発化を示す変化は認められませんでした。

大穴火口周辺では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）で閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

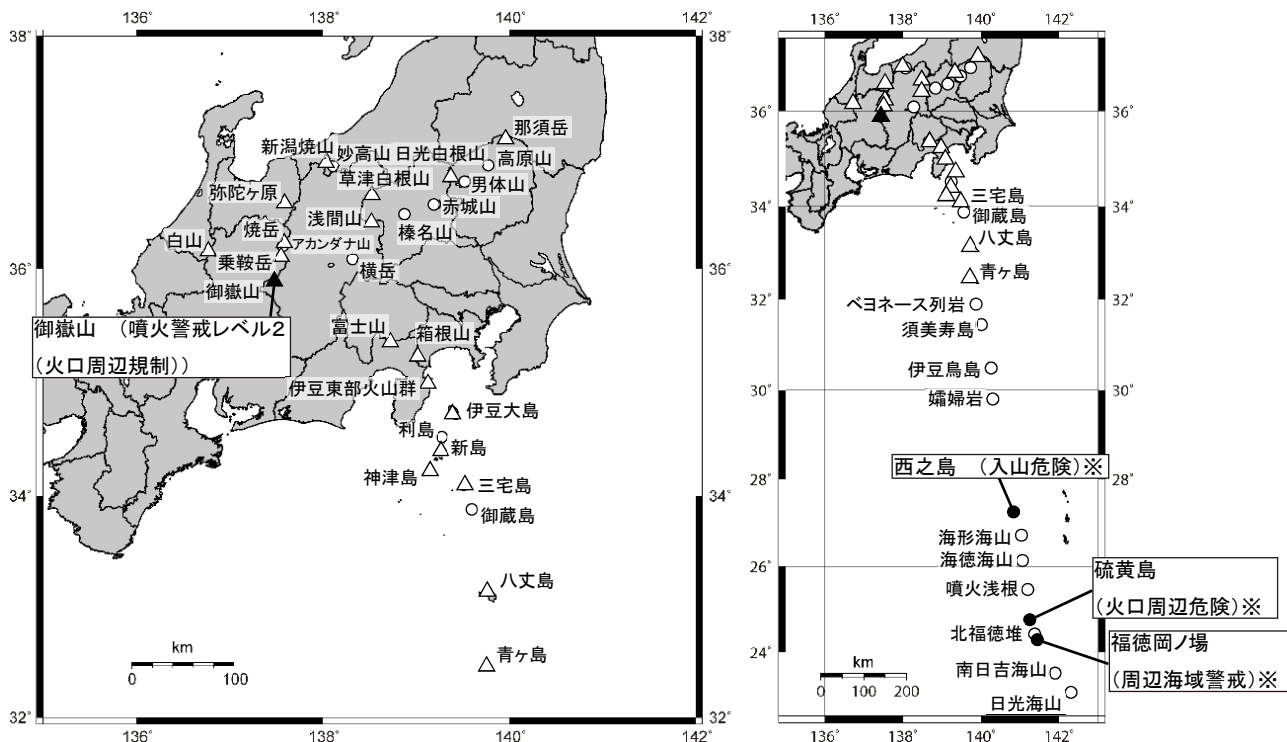
管内月間火山概況（令和4年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	御嶽山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近）、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡例
 噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_do/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

御嶽山では、23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は2018年4月の活発化前に比べて高い状態が続いており、湯釜付近浅部の熱水活動は継続していると考えられます。湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震、噴煙量及び火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね少ない状態で経過しています。山体西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は認められません。

以上から、浅間山の火山活動は低下した状態ですが、今後も火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、立山地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震活動は継続しており、GNSS連続観測では山頂付近で緩やかな膨張が続いているとみられます。中長期的に焼岳の火山活動は高まってきており、今後の火山活動の推移に注意してください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ

23日、火山性地震の増加、および地獄谷側が隆起する地殻変動を伴う火山性微動を観測しました。火山活動が高まっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

このため、23日16時35分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

剣ヶ峰南西斜面の79-7火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

25日に振幅の小さな火山性微動を観測しましたが、その後火山性微動は観測しておらず、地震活動は低調です。熱活動及び地殻変動にも異常はないことから、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。長期的に継続していた山体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞していますが、これまでの膨張により地下深部にマグマが供給された状態にあり、火山活動はやや高まった状態にあると考えられますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動及び噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、山体深部の膨張を示す地殻変動は続いており、山体浅部の膨張を示すと考えられるGNSSの基線長で伸びの傾向が2019年4月頃からみられるようになりました。火山活動は徐々に高まりつつあると考えられます。また、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口内に、引き続き、噴気や高温域が認められており、噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられますが、変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

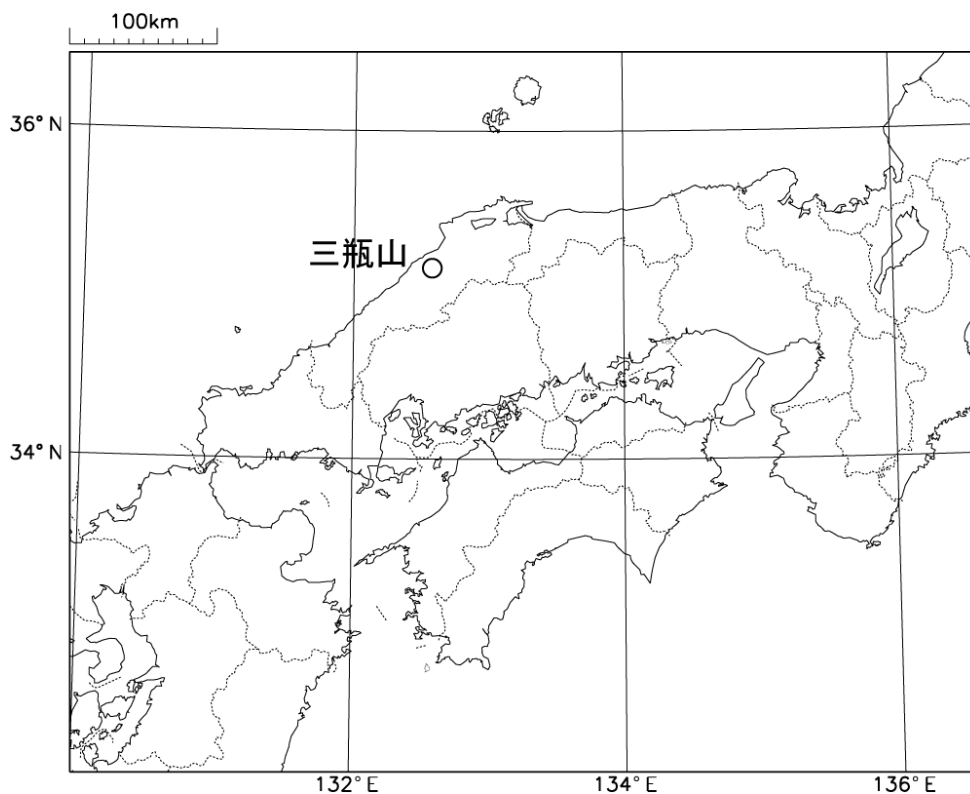
管内月間火山概況（令和4年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（2月28日現在）

三瓶山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

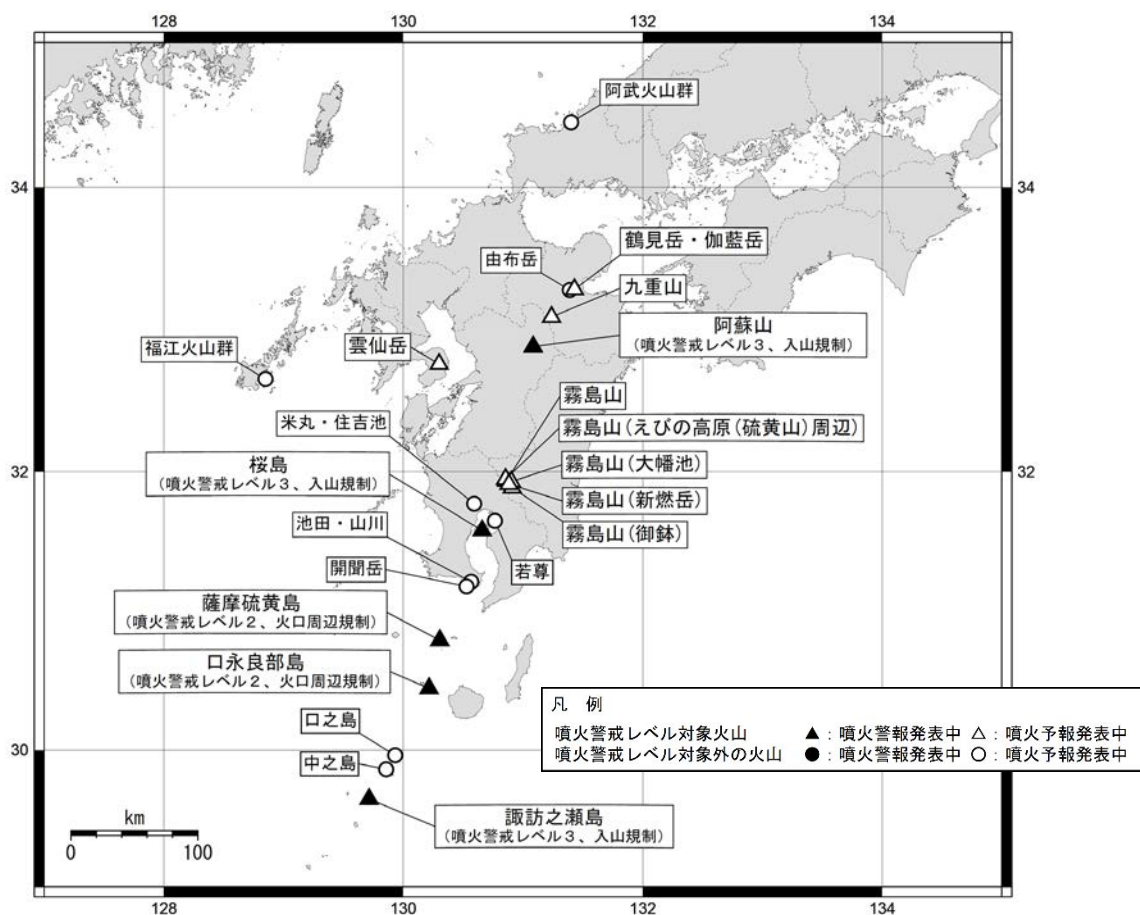
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年2月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和4年2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、口永良部島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武 ^{あぶ} 火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸 ^{よねまる} ・住吉池、若尊 ^{わかみこ} 、池田・山川 ^{かいはん} 、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

阿蘇山では、24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうざん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

あそざん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。

阿蘇山では、火山性微動の振幅が一時的に増大するなど、火山活動が活発な状態で推移しています。

24日05時頃から火山性微動の振幅が増大し、火山活動が高まったことから、同日09時45分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後も火山性微動の振幅は大きい状態で変動しましたが、27日15時40分頃には急激に減少し、以降は小さい状態で推移しました。

中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山ガスに注意してください。また、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は2020年5月以降わずかに増加した状態が続いていますが、さらなる増加は認められず、概ね少ない状態で経過しています。

硫黄山では噴火の兆候は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま おおはたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態でしたが、2022年1月以降、時々わずかな増加がみられ、3月（期間外）に入りやや多い状態となっています。また、2022年1月末から西側斜面の割れ目で噴気が観測されており、2月に入り割れ目付近において地熱域のわずかな拡大が認められます。GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線のわずかな伸びが認められています。

以上のことから、火山活動が次第に高まってきており、今後さらに活発化する可能性があります。活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が2回発生し、噴煙は最高で火口縁上1,300mまで上がり雲に入りました。爆発は発生しませんでした。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、2021年11月以降、山体膨張を示すごくわずかな地殻変動が一時的な停止期間を挟み観測されています。また、島内のGNSS連続観測でも、2021年11月頃から山体膨張に伴うとみられるわずかな基線の伸びが観測されています。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量がやや多い状態で経過しており、桜島島内地下へのマグマの供給を示すと考えられる地殻変動も観測されていることから、現在噴火活動がみられている南岳山頂火口を中心に噴火活動がさらに活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島さつまいおうじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

口永良部島では、火山性地震は1日数回程度発生しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出は少ないながらも継続していることから、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

御岳（おたけ）火口では、17日から18日にかけて爆発が一時的に増加するなど、活発な噴火活動が継続しています。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が継続すると予想されます。

御岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄气象台地震火山課

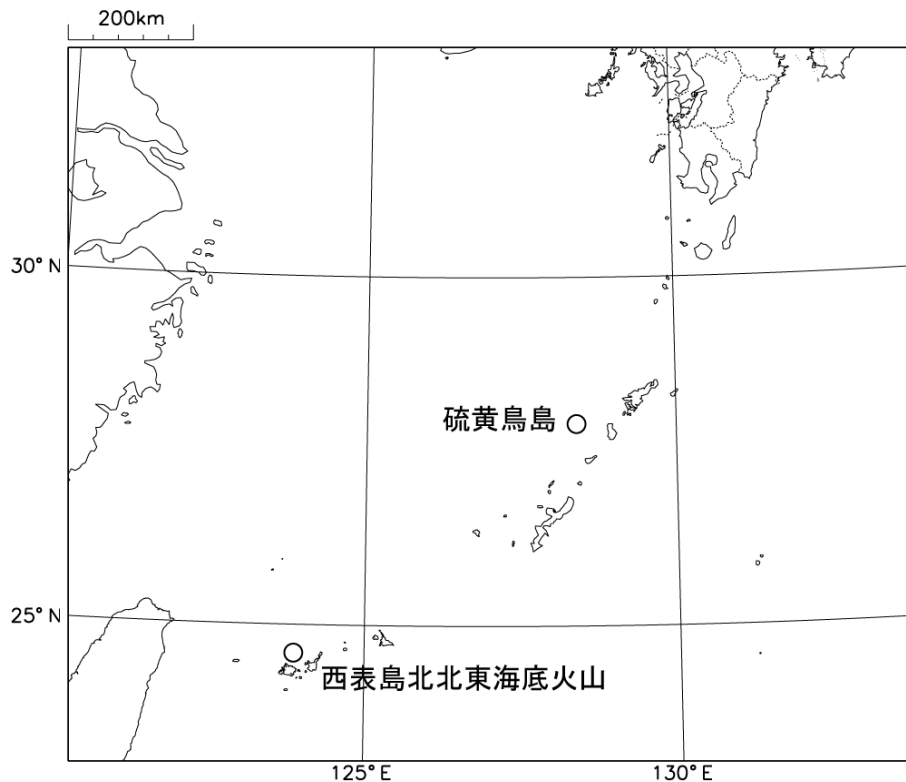
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（2月28日現在）

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和4年2月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第5号～7号	4日、11日、18日 16時00分	火山性微動の振幅の状況。噴煙、地殻変動の状況。現地調査による火山ガスの状況。
		解説情報（臨時） 第8号	24日 07時05分	24日05時頃から火山性微動の振幅が増大。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	火口周辺警報	24日 09時45分	火山活動に高まりがみられることから、火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒。
		解説情報 第9号～12号	24日 10時10分 24日、25日、28日 16時00分	火山性微動の振幅の状況。噴煙、地殻変動の状況。現地調査による火山ガスの状況。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第10号～17号	4日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	火口から1kmを超えて飛散する大きな噴石や小規模な火砕流を伴う噴火のおそれ。噴火、火山性地震・微動等の火山活動の状況。地殻変動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。上空からの観測結果。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第10号～17号	4日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	活発な噴火活動が継続。噴火の状況。噴煙、噴石、火山性微動、地殻変動等の火山活動の状況。
		降灰予報（速報）	1日 14時57分 12日 09時01分 28日 04時03分 07時16分 09時09分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	1日 15時10分 9日 16時47分 11日 22時35分 12日 03時19分 09時10分 15時57分 28日 04時13分 07時25分 09時22分 11時13分 15時14分 21時11分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	23日 16時35分	剣ヶ峰南西斜面の79-7火口から概ね1kmの範囲で大きな噴石に警戒。
		解説情報 第1号～6号	23日 17時30分 24日、25日、26日、 27日、28日 16時00分	23日に火山性地震の増加と傾斜変動を伴う火山性微動が発生。その後の火山性地震、火山性微動の状況。噴煙の状況。上空からの観測結果。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第6号～9号	7日、14日、21日、 28日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第5号～8号	4日、11日、18日、 25日 16時00分	火山性地震、噴煙、地殻変動、火山ガス等の火山活動の状況。現地調査による地熱域の状況。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 御嶽山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。ただし、御嶽山の発表は23日17時から開始した。

● 世界の主な地震

令和4年（2022年）2月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

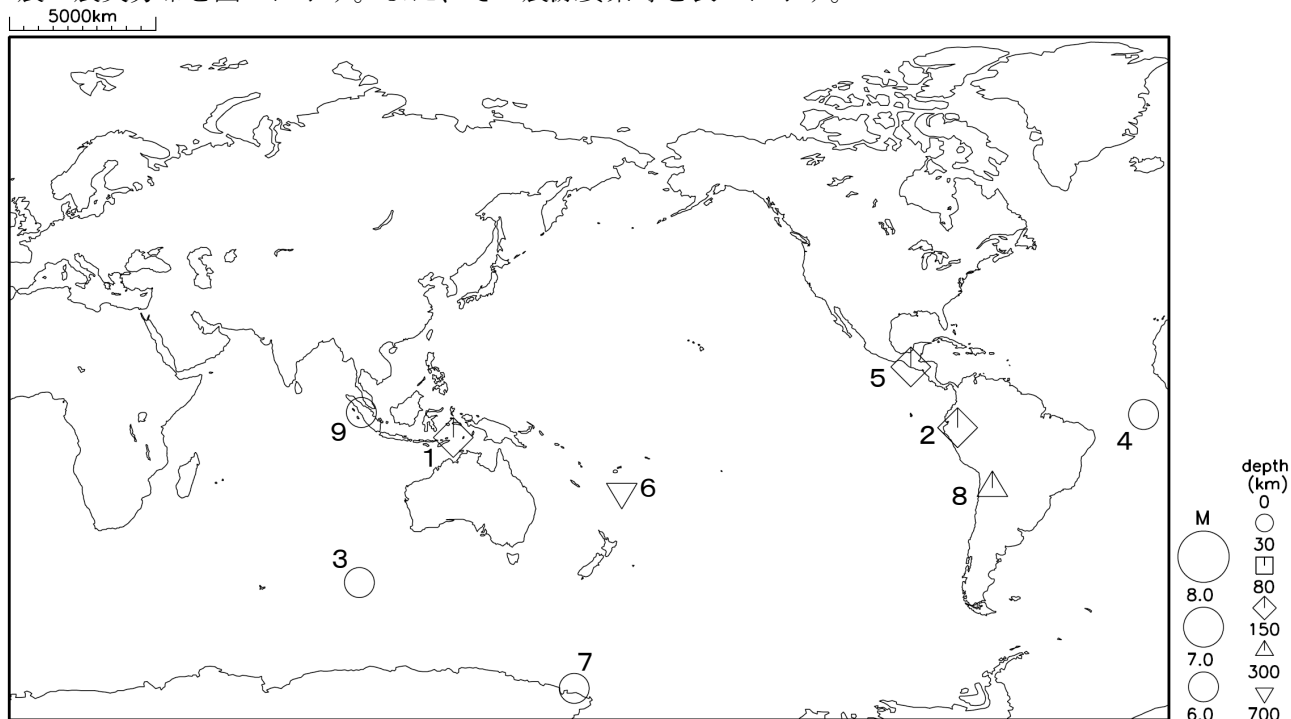


図1 令和4年（2022年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和4年（2022年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02日04時25分	S 7° 28. 2′	E128° 18. 6′	119			6. 0	バンダ海			
2	04日00時58分	S 4° 27. 4′	W 76° 55. 8′	110			6. 5	ペルー北部			
3	05日05時25分	S48° 02. 0′	E 99° 29. 8′	10			6. 3	南東インド洋海嶺			
4	08日20時59分	N 0° 24. 1′	W 19° 52. 5′	10			6. 2	大西洋中央海嶺中部			
5	16日16時12分	N14° 11. 6′	W 91° 17. 8′	84			6. 2	グアテマラ	死者3人など		
6	17日05時21分	S23° 46. 3′	W179° 59. 0′	535			6. 8	フィジー諸島南方			
7	22日08時24分	S69° 46. 9′	E165° 24. 6′	14			6. 3	バレーニー諸島			
8	22日15時12分	S22° 39. 7′	W 66° 16. 0′	242			6. 0	アルゼンチン、フワイ州			
9	25日10時39分	N 0° 13. 9′	E100° 06. 3′	12			6. 2	インドネシア、スマトラ北部	死者11人など		

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2022年3月1日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。2月16日のグアテマラの地震の被害は2月16日現在、2月25日のインドネシア、スマトラ北部の地震の被害は2月27日現在のものである。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

● 世界の主な火山活動

令和4年（2022年）2月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和4年（2022年）2月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'D'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 33	神奈川東部 東京都	35° 21.3' N	139° 32.7' E	100km	M: 3.9
		3 東京千代田区大手町=2.5				
		2 西東京市中町*=1.9 東京練馬区豊玉北*=1.9 東京港区白金*=1.7 東京練馬区東大泉*=1.6 町田市本町田*=1.6 東京北区西ヶ原*=1.6 東京港区海岸=1.6 狛江市和泉本町*=1.5 東京文京区本郷*=1.5				
		1 東京中央区勝どき*=1.4 東京新宿区百人町*=1.4 東京渋谷区宇田川町*=1.4 調布市西つづじヶ丘*=1.4 東京千代田区富士見*=1.3 町田市忠生*=1.3 東京品川区北品川*=1.3 東京世田谷区三軒茶屋*=1.2 東京世田谷区成城*=1.2 東京港区芝公園*=1.2 東京千代田区麴町*=1.2 東京品川区平塚*=1.2 東京目黒区中央町*=1.2 東京国際空港=1.1 東京中野区中野*=1.1 東京練馬区光が丘*=1.1 東京中央区築地*=1.0 東京渋谷区本町*=1.0 東京文京区大塚*=1.0 東京江戸川区中央=1.0 小平市小川町*=1.0 東村山市本町*=1.0 東京大田区本羽田*=1.0 国分寺市戸倉=0.9 稲城市東長沼*=0.9 東京杉並区桃井*=0.9 東京杉並区高井戸*=0.9 東京足立区神明南*=0.9 東京葛飾区立石*=0.9 八王子市堀之内*=0.9 東京府中市寿町*=0.9 東京府中市朝日町*=0.9 東京新宿区上落合*=0.8 町田市森野*=0.8 東京文京区スポーツセンタ*=0.8 日野市神明*=0.8 東京江東区青海=0.8 東京江東区越中島*=0.8 東京荒川区日本橋兜町*=0.8 東京大田区多摩川*=0.8 東京台東区東上野*=0.7 東京荒川区東尾久*=0.7 東京江東区東陽*=0.7 東京品川区広町*=0.7 東京世田谷区世田谷*=0.7 東京新宿区歌舞伎町*=0.7 東京江戸川区船堀*=0.6 三鷹市野崎*=0.6 調布市小島町*=0.6 東京江東区森下*=0.6 東京江東区枝川*=0.6 小金井市本町*=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 国分寺市本多*=0.6 東京港区南青山*=0.5 東京世田谷区中町*=0.5 国立市富士見台*=0.5 多摩市関戸*=0.5 東京荒川区荒川*=0.5 東京板橋区相生町*=0.5 東京足立区伊興*=0.5 東京葛飾区金町*=0.5 東京江戸川区鹿骨*=0.5				
		神奈川県				
		2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=2.0 横浜旭区今宿東町*=1.8 横浜緑区十日市場町*=1.7 川崎川崎区千鳥町*=1.7 三浦市城山町*=1.7 横浜戸塚区戸塚町*=1.6 横浜戸塚区鳥が丘*=1.6 横浜青葉区榎が丘*=1.6 川崎川崎区宮前町*=1.6				
		1 横浜鶴見区末広町*=1.4 川崎中原区小杉町*=1.4 厚木市中町*=1.4 相模原中央区上溝*=1.4 横浜神奈川区神大寺*=1.3 横浜港南区野庭町*=1.3 横浜旭区川井宿町*=1.3 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.3 横浜泉区和泉町*=1.3 横浜青葉区市ヶ尾町*=1.3 川崎麻生区片平*=1.3 藤沢市長後*=1.3 川崎高津区下作延*=1.2 川崎宮前区宮前平*=1.2 横浜磯子区磯子*=1.2 横浜金沢区白帆*=1.1 横浜港北区日吉本町*=1.1 大和市下鶴間*=1.1 大磯町月京*=1.1 相模原南区磯部*=1.1 横浜港北区綱島西*=1.0 横浜瀬谷区三ツ境*=1.0 海老名市大谷*=1.0 綾瀬市深谷中*=1.0 横浜中区山手町=1.0 横浜中区山下町*=1.0 愛川町角田*=1.0 清川村煤ヶ谷*=1.0 横浜中区日本大通*=1.0 相模原中央区水郷田名*=1.0 相模原緑区橋本*=1.0 横浜都筑区茅ヶ崎*=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 横浜神奈川区広台太田町*=0.9 横須賀市光の丘=0.9 横須賀市坂本町*=0.9 横浜保土ヶ谷区神戸町*=0.9 横浜磯子区洋光台*=0.9 中井町比奈窪*=0.9 横浜金沢区釜利谷南*=0.9 横浜港南区丸山台北部*=0.9 川崎宮前区野川*=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 横浜旭区大池町*=0.8 横浜旭区上白根町*=0.8 秦野市曾屋=0.8 横浜鶴見区鶴見*=0.8 横浜瀬谷区中屋敷*=0.8 湯河原町中央=0.8 相模原南区相模大野*=0.8 横浜青葉区美しが丘*=0.8 鎌倉市御成町*=0.7 横浜緑区鴨居*=0.7 川崎多摩区登戸*=0.7 相模原緑区中野*=0.7 横浜鶴見区馬場*=0.6 南足柄市関本*=0.6 平塚市浅間町*=0.6 藤沢市辻堂西海岸*=0.6 藤沢市朝日町*=0.5 秦野市平沢*=0.5 神奈川大井町金子*=0.5 箱根町湯本*=0.5				
		茨城県				
		1 坂東市岩井=0.6 笠間市石井*=0.5				
		栃木県				
		1 栃木市岩舟町静*=1.4 佐野市高砂町*=1.3 宇都宮市明保野町=1.3 佐野市中町*=1.1 下野市田中*=1.1 下野市笹原*=0.8 栃木市藤岡町藤岡*=0.7 佐野市田沼町*=0.6 小山市神鳥谷*=0.6 栃木市旭町=0.6				
		群馬県				
		1 沼田市利根町*=0.8 板倉町板倉=0.7 桐生市黒保根町*=0.6 邑楽町中野*=0.6 千代田町赤岩*=0.5				
		埼玉県				
		1 熊谷市大里*=1.3 埼玉三芳町藤久保*=1.2 川島町下八ツ林*=1.1 東松山市松葉町*=1.0 川越市旭町=1.0 さいたま大宮区天沼町*=1.0 新座市野火止*=1.0 鴻巣市吹上富士見*=0.9 加須市大利根*=0.9 さいたま北区宮原*=0.9 熊谷市江南*=0.9 さいたま大宮区大門*=0.9 和光市広沢*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 嵐山町杉山*=0.8 狭山市入間川*=0.8 朝霞市本町*=0.8 宮代町笠原*=0.7 上尾市本町*=0.7 川口市中青木分室*=0.7 富士見市鶴馬*=0.7 川口市安行領家*=0.7 越生町越生*=0.7 久喜市下早見=0.7 東松山市市ノ川*=0.6 川越市新宿町*=0.6 伊奈町中央*=0.6 鴻巣市中央*=0.5 桶川市泉*=0.5 鴻巣市川里*=0.5 鶴ヶ島市三ツ木*=0.5 吉川市さよみ野*=0.5 春日部市粕壁*=0.5 春日部市金崎*=0.5 滑川町福田*=0.5 加須市北川辺*=0.5 越谷市越ヶ谷*=0.5 吉見町下細谷*=0.5 ときがわ町桃木*=0.5 さいたま緑区中尾*=0.5				
		千葉県				
		1 市原市姉崎*=1.4 木更津市富士見*=1.2 南房総市谷向*=1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.0 館山市長須賀=1.0 富津市下飯野*=1.0 南房総市富浦町青木*=0.9 南房総市岩糸*=0.9 袖ヶ浦市坂戸市場*=0.7 千葉緑区おゆみ野*=0.7 白井市復*=0.7 習志野市鷺沼*=0.6 柏市旭町=0.5 浦安市日の出=0.5 君津市久留里市場*=0.5				
		山梨県				
		1 大月市御太刀*=1.0 上野原市役所*=0.8 甲州市塩山上於曾*=0.6 大月市大月=0.6				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
2	1 07 35	静岡県 1 熱海市網代=0.7 東伊豆町奈良本*=0.7 熱海市泉*=0.5	36° 03.9' N	136° 13.2' E	9km	M: 1.7
		福井県嶺北 福井県 1 福井市大手*=0.6				
3	1 08 08	岩手県沖 岩手県 2 釜石市中妻町*=1.7 1 釜石市只越町=1.4 住田町世田米*=1.2 一関市千厩町*=1.2 大船渡市大船渡町=1.2 一関市室根町*=1.1 大船渡市猪川町=1.0 一関市藤沢町*=1.0 一関市大東町=1.0 山田町大沢*=1.0 遠野市青笹町*=0.7 矢巾町南矢幅*=0.7 陸前高田市高田町*=0.6 宮古市鉾ヶ崎=0.5 一関市東山町*=0.5	39° 04.6' N	142° 24.0' E	47km	M: 3.9
		宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.3 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.0 石巻市桃生町*=0.7 栗原市栗駒=0.5 登米市豊里町*=0.5				
4	1 10 15	千葉県東方沖 千葉県 2 銚子市小畑新町=1.9 銚子市川口町=1.7 旭市ニ*=1.6 銚子市若宮町*=1.5 1 香取市仁良*=1.3 旭市萩園*=1.1 多古町多古=1.1 旭市高生*=1.1 東金市日吉台*=1.0 旭市南堀之内*=1.0 山武市埴谷*=1.0 横芝光町宮川*=0.9 山武市松尾町富士見台=0.9 芝山町小池*=0.9 千葉若葉区小倉台*=0.9 匝瑳市八日市場ハ*=0.8 山武市蓮沼ハ*=0.8 匝瑳市今泉*=0.8 富里市七栄*=0.8 東庄町笹川*=0.7 八千代市大和田新田*=0.7 山武市蓮沼ニ*=0.7 野田市鶴奉*=0.6 香取市役所*=0.6 白井市復*=0.6 山武市松尾町五反田*=0.6 長南町総合グラウンド=0.5	35° 48.2' N	140° 53.9' E	12km	M: 4.0
		茨城県 1 稲敷市江戸崎甲*=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 稲敷市須賀津*=0.8 神栖市溝口*=0.8 稲敷市結佐*=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 鉾田市鉾田=0.6 土浦市常名=0.5 潮来市堀之内=0.5				
5	1 22 32	日向灘 宮崎県 1 延岡市北浦町古江*=0.8	32° 42.9' N	132° 03.5' E	39km	M: 2.8
6	2 12 02	茨城県南部 茨城県 2 筑西市舟生=1.7 1 坂東市山*=1.0 土浦市常名=1.0 つくば市小茎*=1.0 坂東市役所*=0.9 境町旭町*=0.8 結城市中央町*=0.8 筑西市二木成*=0.8 土浦市藤沢*=0.7 笠間市笠間*=0.7 下妻市鬼怒*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.7 笠間市石井*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 桜川市羽田*=0.7 五霞町小福田*=0.7 水戸市内原町*=0.6 城里町小勝*=0.6 石岡市柿岡=0.6 小美玉市小川*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.5 小美玉市堅倉*=0.5 筑西市門井*=0.5 小美玉市上玉里*=0.5	36° 08.4' N	139° 51.5' E	50km	M: 3.6
		埼玉県 2 加須市騎西*=1.9 久喜市下早見=1.8 1 東松山市松葉町*=1.4 埼玉美里町木部*=1.4 熊谷市江南*=1.3 滑川町福田*=1.2 本庄市児玉町=1.2 北本市本町*=1.2 長瀨町野上下郷*=1.2 加須市大和根*=1.1 深谷市川本*=1.0 嵐山町杉山*=1.0 熊谷市桜町=1.0 越生町越生*=1.0 秩父市近戸町*=1.0 加須市北川辺*=1.0 桶川市泉*=0.9 熊谷市妻沼*=0.9 宮代町笠原*=0.9 久喜市青葉*=0.9 久喜市栗橋*=0.9 行田市南河原*=0.8 加須市三俣*=0.8 上尾市本町*=0.8 坂戸市千代田*=0.8 熊谷市宮町*=0.8 熊谷市大里*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 鴻巣市吹上富士見*=0.7 久喜市鷲宮*=0.7 ときがわ町桃木*=0.7 春日部市金崎*=0.7 行田市本丸*=0.7 鴻巣市川里*=0.7 小川町大塚*=0.6 東松山市ノ川*=0.6 鴻巣市中央*=0.6 深谷市仲町*=0.6 久喜市菖蒲*=0.6 皆野町皆野*=0.6 長瀨町本野上*=0.6 羽生市東*=0.5 埼玉神川町下阿久原*=0.5 埼玉神川町植竹*=0.5				
7	3 03 06	福島県 栃木県 1 白河市新白河*=0.8 1 佐野市高砂町*=1.4 足利市大正町*=1.1 下野市笹原*=1.0 佐野市葛生東*=0.9 下野市田中*=0.9 栃木市藤岡町藤岡*=0.7 栃木市西方町本城*=0.7 佐野市田沼町*=0.7 栃木市岩舟町静*=0.6 小山市神鳥谷*=0.6 野木町丸林*=0.6 栃木市旭町=0.5 佐野市中町*=0.5	35° 54.2' N	140° 50.8' E	40km	M: 3.7
		群馬県 1 大泉町日の出*=1.4 板倉町板倉=1.1 邑楽町中野*=1.1 桐生市元宿町*=1.0 千代田町赤岩*=0.9 前橋市粕川町*=0.8 桐生市新里町*=0.7 伊勢崎市東町*=0.7 沼田市利根町*=0.6 太田市西本町*=0.6 渋川市赤城町*=0.6 藤岡市鬼石*=0.6 前橋市堀越町*=0.5 群馬明和町新里*=0.5 伊勢崎市西久保町*=0.5				
8	3 03 36	千葉県 1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.7 白井市復*=0.7 野田市鶴奉*=0.6 千葉花見川区花島町*=0.5	35° 49.0' N	140° 55.3' E	29km	M: 4.3
		茨城県沖 茨城県 2 神栖市波崎*=1.5 1 神栖市溝口*=1.3 東海村東海*=1.2 鉾田市汲上*=1.2 鉾田市造谷*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 行方市麻生*=1.0 小美玉市小川*=0.9 水戸市内原町*=0.9 潮来市辻*=0.9 土浦市常名=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 潮来市堀之内=0.7 稲敷市須賀津*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 笠間市石井*=0.6 鉾田市鉾田=0.5				
8	3 03 36	千葉県 1 銚子市小畑新町=1.2 旭市高生*=1.2 旭市南堀之内*=1.1 旭市萩園*=1.1 匝瑳市今泉*=1.0 多古町多古=0.9 香取市仁良*=0.9 銚子市若宮町*=0.8 香取市佐原諏訪台*=0.7 成田市松子*=0.7 東金市日吉台*=0.6 銚子市川口町=0.6	35° 49.0' N	140° 55.3' E	29km	M: 4.3
		茨城県 2 神栖市波崎*=1.9 1 神栖市溝口*=1.2 潮来市辻*=1.2 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 潮来市堀之内=0.8 稲敷市須賀津*=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.5				
8	3 03 36	千葉県 2 銚子市小畑新町=2.0 銚子市若宮町*=1.8 銚子市川口町=1.7 1 旭市萩園*=1.3 旭市南堀之内*=1.1 香取市役所*=1.1 香取市仁良*=1.0 旭市高生*=0.9 旭市ニ*=0.9 多古町多古=0.8 香取市佐原平田=0.6 香取市佐原諏訪台*=0.5	35° 49.0' N	140° 55.3' E	29km	M: 4.3
		千葉県 2 銚子市小畑新町=2.0 銚子市若宮町*=1.8 銚子市川口町=1.7 1 旭市萩園*=1.3 旭市南堀之内*=1.1 香取市役所*=1.1 香取市仁良*=1.0 旭市高生*=0.9 旭市ニ*=0.9 多古町多古=0.8 香取市佐原平田=0.6 香取市佐原諏訪台*=0.5				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
9	3 12 33	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*0.8	40° 53.6' N	142° 04.4' E	57km	M: 3.3
10	3 13 35	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.6	35° 48.8' N	140° 55.1' E	29km	M: 2.9
11	3 16 46	千葉県東方沖 茨城県 1 神栖市溝口*0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 潮来市辻*0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.6 稲敷市須賀津*0.6 潮来市堀之内=0.5 千葉県 1 銚子市小畑新町=1.2 旭市南堀之内*1.0 旭市二*1.0 旭市萩園*0.9 香取市役所*0.9 香取市仁良*0.9 銚子市若宮町*0.8 銚子市川口町=0.7 多古町多古=0.7 香取市佐原平田=0.6 香取市佐原諏訪台*0.6 山武市松尾町富士見台=0.5	35° 49.2' N	140° 54.8' E	28km	M: 3.4
12	4 00 33	天草灘 熊本県 2 天草市天草町*2.3 天草市五和町*1.8 1 天草市牛深町=1.0 天草市新和町*0.6 上天草市大矢野町=0.6 長崎県 1 南島原市加津佐町*0.6 鹿児島県 1 薩摩川内市上館町*1.0 阿久根市鶴見町*0.6	32° 18.2' N	129° 46.4' E	13km	M: 3.7
13	4 02 23	天草灘 熊本県 1 天草市天草町*1.0	32° 18.4' N	129° 46.7' E	13km	M: 3.0
14	4 02 26	釧路沖 北海道 1 根室市落石東*0.5	42° 56.8' N	145° 16.5' E	51km	M: 3.3
15	4 03 38	新潟県中越地方 長野県 1 栄村小赤沢*0.6	36° 48.7' N	138° 47.9' E	3km	M: 2.5
16	4 08 17	日向灘 大分県 2 佐伯市鶴見*2.0 佐伯市米水津*1.6 佐伯市蒲江蒲江浦=1.6 佐伯市直川*1.5 佐伯市本匠*1.5 1 佐伯市春日町*1.4 佐伯市弥生*1.4 佐伯市蒲江猪串浦=1.2 佐伯市役所*1.2 津久見市宮本町*1.1 佐伯市上浦*0.9 豊後大野市千歳町*0.8 津久見市立花町*0.8 大分市新春日町*0.7 佐伯市宇目*0.7 宮崎県 2 延岡市北浦町古江*2.3 延岡市北川町川内名白石*1.8 1 延岡市天神小路=1.2 日向市大王谷運動公園=1.0 門川町平城東*1.0 高千穂町三田井=1.0 延岡市北方町卯*0.9 宮崎美郷町田代*0.8 高千穂町寺迫*0.7 宮崎都農町役場*0.6 延岡市北川町総合支所*0.5 熊本県 1 熊本高森町高森*0.8	32° 42.7' N	132° 03.2' E	39km	M: 3.8
17	4 11 36	日向灘 宮崎県 2 延岡市北川町川内名白石*1.8 延岡市北浦町古江*1.5 1 延岡市天神小路=0.7 門川町平城東*0.7 高千穂町三田井=0.6 大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.3 佐伯市鶴見*1.2 佐伯市春日町*0.6 佐伯市蒲江猪串浦=0.5 佐伯市本匠*0.5	32° 41.0' N	132° 02.3' E	41km	M: 3.5
18	4 15 39	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木*1.2	34° 03.0' N	135° 16.8' E	6km	M: 2.4
19	4 21 02	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*0.9	37° 30.6' N	137° 12.3' E	12km	M: 2.8
20	5 06 21	長野県南部 長野県 1 王滝村役場*0.6	35° 46.4' N	137° 33.8' E	7km	M: 2.3
21	5 10 42	愛知県西部 長野県 1 売木村役場*1.1 岐阜県 1 恵那市上矢作町*0.5	35° 15.6' N	137° 30.7' E	48km	M: 2.9
22	5 14 54	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津*0.6	34° 10.0' N	135° 11.3' E	4km	M: 2.0
23	5 22 02	日向灘 宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石*0.7	32° 41.0' N	132° 03.9' E	35km	M: 3.1
24	6 00 24	群馬県北部 群馬県 1 沼田市利根町*0.8	36° 40.0' N	139° 18.2' E	8km	M: 2.4
25	6 07 25	天草灘 熊本県 1 天草市天草町*1.1	32° 18.4' N	129° 46.8' E	12km	M: 2.9
26	6 07 30	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又沢内*1.8 1 階上町道仏*1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.0 六ヶ所村尾駈=0.6 むつ市金曲=0.5	41° 33.9' N	142° 06.0' E	54km	M: 4.3

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
27	6 13 15	北海道				
		1 函館市泊町*=1.1 厚真町鹿沼=0.6				
28	6 17 21	神奈川県 東京都	35° 32.4' N	139° 33.9' E	69km	M: 3.5
		2 東京千代田区大手町=1.8 西東京市中町*=1.5 1 東京練馬区豊玉北*=1.4 東京練馬区東大泉*=1.3 八王子市堀之内*=1.3 町田市忠生*=1.3 東京世田谷区成城*=1.1 東京世田谷区三軒茶屋*=1.1 東京中央区勝どき*=1.0 東京文京区本郷*=1.0 小平市小川町*=1.0 日野市神明*=1.0 国分寺市戸倉=1.0 東京品川区平塚*=0.9 東京港区海岸*=0.9 東京港区白金*=0.9 東京練馬区光が丘*=0.9 東京江戸川区中央=0.8 東京江戸川区船堀*=0.8 狛江市和泉本町*=0.8 調布市西つづじヶ丘*=0.8 東京品川区北品川*=0.8 小金井市本町*=0.8 東京府中市寿町*=0.7 東京江東区越中島*=0.7 東大和市中央*=0.7 東京港区芝公園*=0.7 東京府中市朝日町*=0.6 東京千代田区麴町*=0.6 東京千代田区富士見*=0.6 町田市森野*=0.5 東京目黒区中央町*=0.5 東京国際空港=0.5 八王子市大横町=0.5 国分寺市本多*=0.5 東京江東区枝川*=0.5 東京渋谷区宇田川町*=0.5 東京中野区中野*=0.5				
29	6 19 14	神奈川県 栃木県 埼玉県 千葉県 山梨県 静岡県				
		2 川崎中原区小杉町*=1.5 1 横浜緑区十日市場町*=1.3 川崎川崎区宮前町*=1.3 相模原中央区上溝*=1.3 横浜青葉区榎が丘*=1.2 相模原緑区中野*=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.0 相模原緑区橋本*=1.0 横浜港北区日吉本町*=0.9 横浜港北区綱島西*=0.9 大和市下鶴間*=0.9 横浜旭区今宿東町*=0.8 横浜旭区川井宿町*=0.8 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.8 相模原南区磯部*=0.8 横浜都筑区茅ヶ崎*=0.7 川崎麻生区片平*=0.7 横浜鶴見区末広町*=0.7 山北町山北*=0.6 相模原中央区水郷田名*=0.6 横浜神奈川区神大寺*=0.6 川崎宮前区宮前平*=0.6 箱根町湯本*=0.5 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 1 宇都宮市明保野町=0.6 1 所沢市北有楽町*=0.9 新座市野火止*=0.9 狭山市入間川*=0.8 川越市旭町=0.7 さいたま北区宮原*=0.7 さいたま大宮区大門*=0.5 さいたま浦和区高砂=0.5 1 習志野市鷺沼*=0.5 1 富士河口湖町船津=0.7 大月市大月=0.6 上野原市秋山*=0.5 1 東伊豆町奈良本*=0.8 熱海市泉*=0.5				
29	6 19 14	茨城県南部 茨城県	36° 04.3' N	139° 52.6' E	46km	M: 4.0
		3 坂東市役所*=2.7 坂東市馬立*=2.7 筑西市門井*=2.5 2 土浦市藤沢*=2.4 下妻市本城町*=2.4 城里町小勝*=2.3 筑西市海老ヶ島*=2.3 笠間市中央*=2.2 桜川市羽田*=2.2 小美玉市小川*=2.2 笠間市笠間*=2.1 筑西市二木成*=2.1 石岡市柿岡=2.1 土浦市常名=2.1 水戸市内原町*=2.0 常陸大宮市北町*=2.0 坂東市山*=2.0 境町旭町*=1.9 坂東市岩井=1.9 石岡市石岡*=1.9 かすみがうら市上土田*=1.8 小美玉市上玉里*=1.8 茨城古河市下大野*=1.8 筑西市舟生=1.8 つくば市天王台*=1.8 笠間市石井*=1.8 取手市寺田*=1.7 小美玉市堅倉*=1.7 桜川市岩瀬*=1.7 八千代町菅谷*=1.7 常総市新石下*=1.7 笠間市下郷*=1.7 つくばみらい市福田*=1.6 つくば市小茎*=1.6 水戸市千波町*=1.6 常総市水海道諏訪町*=1.6 常陸大宮市山方*=1.5 城里町石塚*=1.5 水戸市金町=1.5 かすみがうら市大和田*=1.5 下妻市鬼怒*=1.5 1 水戸市栗崎町*=1.4 那珂市福田*=1.4 土浦市田中*=1.4 石岡市八郷*=1.4 五霞町小福田*=1.4 稲敷市江戸崎甲*=1.4 茨城町小堤*=1.3 石岡市若宮*=1.3 東海村東海*=1.3 結城市中央町*=1.3 常陸大宮市野口*=1.3 ひたちなか市南神敷*=1.3 つくば市研究学園*=1.2 大子町池田*=1.2 守谷市大柏*=1.2 牛久市中央*=1.2 桜川市真壁*=1.2 茨城古河市仁連*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 阿見町中央*=1.1 行方市麻生*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 鉾田市汲上*=1.0 城里町阿波山*=1.0 稲敷市結佐*=1.0 行方市玉造*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 常陸太田市町屋町=0.9 鉾田市鉾田=0.9 龍ヶ崎市役所*=0.9 稲敷市須賀津*=0.9 つくばみらい市加藤*=0.9 那珂市瓜連*=0.9 茨城古河市長谷町*=0.9 取手市藤代*=0.8 美浦村受領*=0.8 神栖市溝口*=0.8 稲敷市伊佐津*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.7 大洗町磯浜町*=0.7 行方市山田*=0.7 稲敷市役所*=0.7 常陸大宮市高部*=0.7 常陸大宮市中富町=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.6 利根町布川=0.6 日立市十王町友部*=0.6 常陸太田市町田町*=0.6 日立市役所*=0.6 潮来市辻*=0.5 取手市井野*=0.5 潮来市堀之内=0.5 栃木県 3 下野市笹原*=3.0 栃木市旭町=2.5 下野市田中*=2.5 2 宇都宮市明保野町=2.0 栃木市岩舟町静*=2.0 栃木市藤岡町藤岡*=1.9 佐野市高砂町*=1.6 野木町丸林*=1.6 真岡市荒町*=1.5 1 小山市神鳥谷*=1.4 真岡市田町*=1.4 芳賀町祖母井*=1.3 栃木市西方町本城*=1.3 足利市大正町*=1.2 栃木市万町*=1.2 佐野市田沼町*=1.2 鹿沼市晃望台*=1.2 上三川町しらさぎ*=1.2 壬生町通町*=1.1 下野市大松山*=1.1 栃木市都賀町家中*=1.1 佐野市葛生東*=1.0 益子町益子=1.0 宇都宮市中里町*=0.9 栃木市大平町富田*=0.9 茂木町茂木*=0.8 宇都宮市旭*=0.8 鹿沼市口栗野*=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.7 宇都宮市塙田*=0.7 鹿沼市今宮町*=0.5 佐野市中町*=0.5 日光市芹沼*=0.5 市貝町市塙*=0.5 群馬県 2 板倉町板倉=2.1 大泉町日の出*=1.5 群馬明和町新里*=1.5 1 館林市上三林町*=1.2 邑楽町中野*=1.1 沼田市利根町*=0.9 桐生市元宿町*=0.9 桐生市黒保根町*=0.9 太田市大原町*=0.9 千代田町赤岩*=0.9 みどり市大間々町*=0.8 館林市城町*=0.7 桐生市新里町*=0.6 伊勢崎市西久保町*=0.6 伊勢崎市東町*=0.5 太田市浜町*=0.5 沼田市下久屋町*=0.5 渋川市赤城町*=0.5 埼玉県 2 宮代町笠原*=2.3 春日部市金崎*=2.1 久喜市鷲宮*=2.0 久喜市下早見=1.9 久喜市栗橋*=1.8 川口市中青木分室*=1.8 さいたま岩槻区本丸*=1.8 さいたま浦和区高砂=1.7 春日部市粕壁*=1.6 越谷市越ヶ谷*=1.6 さいたま見沼区堀崎*=1.6 東松山市松葉町*=1.6 白岡市千駄野*=1.6 加須市大利根*=1.5 さいたま北区宮原*=1.5 1 杉戸町清地*=1.4 加須市三俣*=1.3 加須市騎西*=1.3 加須市北川辺*=1.3 久喜市青葉*=1.3 桶川市泉*=1.3 幸手市東*=1.3 滑川町福田*=1.2 戸田市上戸田*=1.2 三郷市中央*=1.2				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		さいたま大宮区大門*1.2 さいたま緑区中尾*1.2 八潮市中央*1.1 蓮田市黒浜*1.1 さいたま西区指扇*1.1 羽生市東*1.1 久喜市菖蒲*1.1 上尾市本町*1.1 蕨市中央*1.1 川口市安行領家*1.0 さいたま中央区下落合*1.0 春日部市谷原新田*1.0 熊谷市江南*1.0 北本市本町*1.0 松伏町松伏*0.9 鴻巣市中央*0.9 さいたま南区別所*0.9 川越市旭町*0.9 熊谷市桜町*0.9 吉川市きよみ野*0.9 伊奈町中央*0.9 東松山市市ノ川*0.9 草加市中央*0.8 鴻巣市川里*0.8 深谷市仲町*0.8 長瀨町野上下郷*0.8 ときがわ町桃木*0.8 坂戸市千代田*0.8 川口市三ツ和*0.8 行田市本丸*0.7 行田市南河原*0.7 川越市新宿町*0.7 本庄市児玉町*0.7 さいたま桜区道場*0.7 和光市広沢*0.7 嵐山町杉山*0.6 熊谷市宮町*0.6 秩父市近戸町*0.6 越生町越生*0.6 川島町下八ツ林*0.6 さいたま浦和区常盤*0.6 千葉県 2 野田市東宝珠花*2.0 野田市鶴奉*1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.6 1 柏市旭町=1.4 白井市復*1.4 香取市佐原諏訪台*1.0 香取市仁良*1.0 松戸市西馬橋*1.0 香取市役所*0.9 千葉花見川区花島町*0.9 習志野市鷺沼*0.9 柏市柏*0.9 八千代市大和田新田*0.9 柏市大島田*0.8 芝山町小池*0.8 香取市佐原平田=0.8 松戸市根本*0.8 成田国際空港=0.8 成田市名古屋=0.8 栄町安食台*0.7 船橋市湊町*0.7 我孫子市我孫子*0.7 印西市大森*0.7 香取市岩部*0.6 千葉稲毛区園生町*0.6 流山市平和台*0.5 山武市埴谷*0.5 香取市羽根川*0.5 東京都 2 東京文京区大塚*1.5 東京中野区江古田*1.5 1 東京新宿区上落合*1.4 東京中野区中野*1.4 東京練馬区豊玉北*1.3 東京千代田区大手町=1.2 東京新宿区百人町*1.1 東京渋谷区本町*1.1 東京板橋区相生町*1.1 東京足立区伊興*1.1 東京文京区本郷*1.0 東京豊島区南池袋*1.0 東京北区西ヶ原*1.0 東京板橋区高島平*0.9 東京練馬区光が丘*0.9 東京江戸川区中央=0.9 調布市西つつじヶ丘*0.9 東京文京区スポーツセンタ*0.8 東京杉並区桃井*0.8 東京杉並区高井戸*0.8 西東京市中町*0.8 東京世田谷区三軒茶屋*0.7 東京足立区神明南*0.7 東京千代田区富士見*0.6 東京千代田区麴町*0.6 東京世田谷区成城*0.5 東京北区赤羽南*0.5 東京荒川区東尾久*0.5 東京港区芝公園*0.5 東京葛飾区立石*0.5					
30	6 19 36	沖縄本島近海 沖縄県	26° 19.4' N	127° 42.2' E	15km	M: 2.8 1 沖縄市美里*0.9 宜野湾市野嵩*0.6 嘉手納町嘉手納*0.6 西原町与那城*0.5	
31	7 05 06	父島近海 東京都	27° 03.6' N	142° 19.8' E	75km	M: 4.0 1 小笠原村母島=1.0 小笠原村父島三日月山=0.9 小笠原村父島西町=0.6	
32	7 17 59	石川県能登地方 石川県	37° 30.5' N	137° 14.8' E	13km	M: 4.1 3 珠洲市正院町*3.1 珠洲市三崎町=2.6 能登町松波*2.5 2 珠洲市大谷町*2.3 1 能登町宇出津=1.2 輪島市鳳至町=0.8 穴水町大町*0.6 七尾市本府中町=0.5 新潟県 1 上越市牧区柳島*1.0 上越市安塚区安塚*0.9 上越市大手町=0.8 上越市木田*0.6 妙高市田町*0.5	
33	8 03 28	宮城県沖 宮城県	38° 10.7' N	141° 42.6' E	51km	M: 3.9 2 登米市豊里町*2.0 石巻市鮎川浜*1.7 石巻市桃生町*1.6 石巻市雄勝町*1.5 1 涌谷町新町裏=1.4 大崎市鹿島台*1.4 女川町女川*1.4 石巻市大街道南*1.3 石巻市泉町=1.3 気仙沼市笹ヶ陣*1.2 石巻市北上町*1.2 松島町高城=1.2 東松島市小野*1.0 東松島市矢本*1.0 気仙沼市赤岩=1.0 気仙沼市唐桑町*1.0 亘理町悠里*1.0 大崎市田尻*0.9 岩沼市桜*0.9 宮城川崎町前川*0.9 宮城美里町北浦*0.9 登米市東和町*0.8 仙台若林区遠見塚*0.8 仙台泉区将監*0.8 七ヶ浜町東宮浜*0.8 仙台宮城野区苦竹*0.7 栗原市栗駒=0.7 柴田町船岡=0.7 登米市中田町=0.7 名取市増田*0.7 登米市石越町*0.6 山元町浅生原*0.6 南三陸町歌津*0.5 仙台空港=0.5 登米市南方町*0.5 栗原市築館*0.5 仙台宮城野区五輪=0.5 岩手県 1 一関市藤沢町*1.4 一関市千厩町*1.2 一関市室根町*1.1 住田町世田米*0.6 大船渡市大船渡町=0.6 一関市東山町*0.6 福島県 1 相馬市中村*1.1 飯館村伊丹沢*0.9 南相馬市鹿島区西町*0.9 福島伊達市霊山町*0.8 新地町谷地小屋*0.5 南相馬市原町区高見町*0.5	
34	8 18 05	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 21.0' N	136° 33.2' E	12km	M: 3.0 1 関ヶ原町関ヶ原*0.7 各務原市川島河田町*0.6 大垣市墨俣町*0.6 安八町水取*0.6 岐南町八剣*0.5 愛知県 1 一宮市木曾川町*0.9 一宮市緑*0.9 一宮市千秋=0.7	
35	9 01 03	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 47.7' N	126° 27.1' E	10km	M: 4.6 1 久米島町比嘉*1.2 渡名喜村渡名喜*1.0 久米島町謝名堂=0.9 久米島町仲泊*0.6	
36	9 01 34	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 49.4' N	126° 24.6' E	28km	M: 3.7 1 久米島町謝名堂=0.6	
37	9 01 36	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 49.3' N	126° 16.9' E	28km	M: 5.6 2 久米島町謝名堂=2.2 久米島町比嘉*2.2 久米島町仲泊*1.9 渡名喜村渡名喜*1.6 1 座間味村座間味*1.3 久米島町山城=1.3 南城市知念久手堅*1.0 南城市玉城字玉城=0.9	
38	9 02 04	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 48.2' N	126° 22.3' E	16km	M: 3.6 1 久米島町謝名堂=0.5	
39	9 03 06	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 52.2' N	126° 24.5' E	22km	M: 3.7 1 久米島町仲泊*0.7 久米島町謝名堂=0.6	

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
40	9 03 16	沖繩本島北西沖 沖繩県 1 久米島町謝名堂=1.1 久米島町比嘉*=0.9	26° 49.9' N	126° 23.9' E	22km	M: 3.9
41	9 04 34	沖繩本島北西沖 沖繩県 1 久米島町謝名堂=0.6	26° 46.4' N	126° 22.0' E	27km	M: 4.4
42	9 07 41	沖繩本島北西沖 沖繩県 2 久米島町比嘉*=1.6 久米島町謝名堂=1.5 1 久米島町仲泊*=1.1 久米島町山城=0.7	26° 46.9' N	126° 21.7' E	19km	M: 5.4
43	9 08 54	宮古島近海 沖繩県 1 宮古島市下地*=1.3 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市上野支所*=1.2 宮古島市伊良部前里添=1.0 宮古島市平良下里=0.9 宮古島市城辺福西*=0.8 宮古島市平良西里*=0.8 宮古島市下地島空港*=0.5	24° 43.4' N	125° 25.0' E	45km	M: 3.8
44	9 14 41	山形県庄内地方 山形県 1 酒田市観音寺*=1.2	38° 58.0' N	139° 59.8' E	18km	M: 3.3
45	9 17 47	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町請島*=1.7 1 宇検村湯湾*=0.6 瀬戸内町加計呂麻島*=0.6 瀬戸内町与路島*=0.5	28° 00.2' N	129° 20.7' E	39km	M: 3.3
46	9 18 47	茨城県沖 茨城県 1 水戸市千波町*=1.0 日立市助川小学校*=0.7 高萩市安良川*=0.7 水戸市金町=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.5	36° 14.0' N	140° 59.2' E	45km	M: 3.5
47	10 02 07	宮城県北部 宮城県 2 涌谷町新町裏=1.5 1 登米市石越町*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.2 登米市中田町=1.1 石巻市泉町=1.1 石巻市桃生町*=1.1 栗原市栗駒=1.0 石巻市北上町*=1.0 大崎市鳴子*=0.8 大崎市古川大崎=0.8 栗原市志波姫*=0.7 登米市豊里町*=0.7 登米市登米町*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 色麻町四籠*=0.7 栗原市花山*=0.7 栗原市鶯沢*=0.6 石巻市大街道南*=0.6 仙台青葉区大倉=0.5 大崎市古川三日町=0.5 岩手県 1 住田町世田米*=1.4 一関市千厩町*=1.3 大船渡市大船渡町=1.1 釜石市中妻町*=1.1 一関市大東町=1.0 一関市室根町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.8 奥州市胆沢*=0.8 宮古市区界*=0.7 奥州市衣川*=0.7 北上市相去町*=0.7 大船渡市猪川町=0.7 一関市東山町*=0.6 釜石市只越町=0.6 山田町大沢*=0.6 花巻市石鳥谷町*=0.5 一関市花泉町*=0.5 北上市柳原町=0.5 矢巾町南矢幅*=0.5	38° 44.3' N	141° 33.3' E	59km	M: 3.8
48	10 06 23	日向灘 宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石*=0.6	32° 40.0' N	131° 52.0' E	48km	M: 2.9
49	10 14 44	長野県南部 長野県 1 木曾町新開*=0.8	35° 51.0' N	137° 41.1' E	7km	M: 2.1
50	10 15 54	福島県会津 山形県 福島県 1 米沢市林泉寺*=1.1 米沢市駅前=0.7 米沢市アルカディア=0.6 1 喜多方市熱塩加納町*=0.7	37° 46.6' N	140° 03.7' E	6km	M: 3.2
51	11 06 32	島根県東部 鳥取県 2 米子市東町*=2.0 米子市博労町=1.6 境港市東本町=1.5 1 鳥取市野町根根*=1.2 日南町生山*=1.2 米子市淀江町*=1.0 日吉津村日吉津*=1.0 鳥取南部町天萬*=0.9 伯耆町吉長*=0.9 日南町霞*=0.9 境港市上道町*=0.8 鳥取南部町法勝寺*=0.6 鳥取市福部町細川*=0.6 倉吉市葵町*=0.5 鳥取市鹿野町鹿野*=0.5 島根県 2 松江市八雲町西岩坂*=2.4 雲南市加茂町加茂中*=2.4 雲南市大東町大東=2.2 出雲市斐川町荘原*=2.2 松江市宍道町宍道*=2.1 松江市東出雲町掛屋*=2.0 松江市学園南*=1.9 松江市玉湯町湯町*=1.9 松江市島根町加賀*=1.7 出雲町三成*=1.7 松江市鹿島町佐陀本郷*=1.6 安来市伯太町東母里*=1.6 松江市西津田=1.5 1 出雲市平田町*=1.4 雲南市木次町里方*=1.4 出雲町横田*=1.4 松江市西生馬町=1.3 安来市安来町*=1.3 雲南市三刀屋町三刀屋*=1.2 出雲市塩冶有原町*=1.1 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*=1.1 雲南市掛合町掛合*=1.0 雲南市吉田町吉田*=1.0 出雲市今市町=0.9 隠岐の島町山田=0.9 隠岐の島町北方*=0.8 出雲市大社町杵築南*=0.8 隠岐の島町都万*=0.8 飯南町頓原*=0.7 出雲市湖陵町二部*=0.6 松江市八東町波入*=0.5 岡山県 1 真庭市禾津*=1.3 広島県 1 庄原市西城町大佐*=1.2 広島安佐北区可部南*=0.9 庄原市高野町*=0.8 呉市二河町*=0.6 安芸高田市向原町長田*=0.5 福山市駅家町*=0.5 神石高原町油木*=0.5 広島安芸区中野*=0.5 大竹市小方*=0.5 府中町大通り*=0.5 愛媛県 1 上島町弓削*=0.6	35° 22.0' N	133° 01.9' E	9km	M: 4.0
52	11 09 04	福島県沖 福島県 2 二本松市油井*=1.7 1 田村市都路町*=1.4 浪江町幾世橋=1.4 浅川町浅川*=1.3 双葉町両竹*=1.2 川内村上川内早渡*=1.1 玉川村小高*=1.1 本宮市本宮*=1.0 檜葉町北田*=1.0 二本松市針道*=1.0 田村市常葉町*=1.0 川俣町五百田*=0.9 須賀川市岩瀬支所*=0.9 大熊町大川原*=0.9 郡山市開成*=0.9	37° 01.9' N	141° 09.6' E	18km	M: 4.4

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		いわき市三和町=0.9 石川町長久保*=0.8 福島伊達市霊山町*=0.8 小野町中通*=0.8 いわき市小名浜=0.8 白河市新白河*=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.8 小野町小野新町*=0.7 富岡町本岡*=0.7 田村市船引町=0.7 天栄村下松本*=0.7 いわき市平四ツ波*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 鏡石町不時沼*=0.6 二本松市金色*=0.6 須賀川市八幡山*=0.6 白河市郭内=0.6 大玉村南小屋=0.6 南相馬市原町区高見町*=0.6 古殿町松川横川=0.6 郡山市湖南町*=0.5 川内村下川内=0.5				
		宮城県 山形県				
53	11 09 42	十勝沖 北海道	42° 08.3' N	143° 25.7' E	17km	M: 3.9
		1 えりも町目黒*=1.3 広尾町並木通=1.1 広尾町白樺通=1.1 十勝大樹町生花*=0.6 浦幌町桜町*=0.6 十勝大樹町東本通*=0.6				
54	11 20 40	新潟県上中越沖 新潟県	37° 18.1' N	138° 19.6' E	21km	M: 3.3
		2 上越市吉川区原之町*=2.1 上越市大潟区土底浜*=2.0 上越市柿崎区柿崎*=2.0 上越市清里区荒牧*=1.5 1 上越市頸城区百間町*=1.3 上越市浦川原区釜淵*=1.1 上越市安塚区安塚*=0.9 上越市牧区柳島*=0.8 上越市木田*=0.8 上越市三和区井ノ口*=0.8 上越市大島区岡*=0.8 上越市大手町=0.5 糸魚川市大野*=0.5				
55	11 20 44	新潟県上中越沖 新潟県	37° 18.1' N	138° 19.3' E	22km	M: 3.2
		2 上越市柿崎区柿崎*=2.2 1 上越市吉川区原之町*=1.4 上越市大潟区土底浜*=1.3 上越市頸城区百間町*=1.1				
56	12 01 43	台湾付近 沖縄県	23° 55.7' N	122° 17.5' E	17km	M: 5.8
		2 与那国町役場*=2.3 与那国町久部良=2.1 与那国町祖納=1.8 1 石垣市新栄町*=1.2 竹富町黒島=1.1 竹富町上原小学校=1.1 竹富町上原青年会館*=1.0 竹富町大原=0.9 石垣市登野城=0.9 石垣市平久保=0.8 竹富町波照間=0.7				
57	12 08 22	日向灘 大分県	32° 40.3' N	132° 01.3' E	42km	M: 3.9
		2 佐伯市宇目*=1.6 1 佐伯市鶴見*=1.3 佐伯市春日町*=1.1 大分市佐賀関*=1.1 竹田市会々*=1.1 津久見市宮本町*=1.0 佐伯市米水津*=0.9 佐伯市弥生*=0.9 佐伯市役所*=0.8 佐伯市上浦*=0.8 豊後大野市緒方町*=0.7 津久見市立花町*=0.7 大分市新春日町*=0.6 佐伯市本匠*=0.5 竹田市竹田小学校*=0.5				
		宮崎県				
		2 延岡市北川町川内名白石*=2.1 1 延岡市北浦町古江*=1.4 宮崎美郷町田代*=1.3 高千穂町三田井=1.2 延岡市天神小路=1.1 延岡市北方町卯*=1.0 高千穂町寺迫*=0.9 門川町平城東*=0.8 延岡市北川町総合支所*=0.8 日向市大王谷運動公園=0.6				
		愛媛県 熊本県				
		1 愛南町船越*=0.6 1 産山村山鹿*=1.0 熊本高森町高森*=1.0				
58	12 12 10	福島県沖 福島県	37° 23.4' N	141° 46.2' E	41km	M: 3.7
		1 浪江町幾世橋=0.7				
59	12 12 52	石川県能登地方 石川県	37° 31.1' N	137° 19.0' E	13km	M: 3.2
		2 珠洲市正院町*=1.8 1 珠洲市三崎町=0.6 能登町松波*=0.6				
60	12 14 12	茨城県南部 茨城県	36° 04.5' N	139° 54.2' E	46km	M: 3.0
		1 小美玉市小川*=0.8 桜川市羽田*=0.7 笠間市石井*=0.7 水戸市内原町*=0.6 筑西市門井*=0.6 笠間市下郷*=0.5 筑西市二本成*=0.5 石岡市柿岡=0.5				
		栃木県				
		1 下野市田中*=0.9 下野市笹原*=0.9 宇都宮市明保野町=0.8				
61	13 06 00	十勝地方中部 北海道	42° 39.8' N	143° 32.2' E	74km	M: 3.8
		1 浦幌町桜町*=1.2 十勝大樹町生花*=1.2 十勝池田町西1条*=1.0 豊頃町茂岩本町*=1.0 本別町北2丁目=0.9 本別町向陽町*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.8 幕別町本町*=0.7 広尾町並木通=0.6 帯広市東6条*=0.5 新得町2条*=0.5				
62	13 10 05	福島県浜通り 福島県	37° 10.1' N	140° 54.9' E	92km	M: 3.7
		1 田村市都路町*=1.3 檜葉町北田*=0.9 川内村下川内=0.9 大熊町大川原*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 田村市船引町=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5				
63	13 10 14	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 21.5' N	129° 36.0' E	21km	M: 2.3
		1 鹿児島十島村悪石島*=1.1				
64	13 10 28	根室半島南東沖 北海道	43° 11.9' N	145° 59.6' E	44km	M: 3.5
		1 根室市瑤瑤瑠*=1.1				
65	13 11 09	福島県会津 山形県	37° 46.2' N	140° 03.4' E	6km	M: 3.2
		1 米沢市林泉寺*=1.2 米沢市アルカディア=0.5				
66	13 15 50	十勝沖 北海道	42° 22.6' N	144° 03.9' E	61km	M: 4.6
		3 十勝大樹町生花*=3.0				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 十勝池田町西1条*=2.3 幕別町本町*=2.2 釧路市音別町中園*=2.1 釧路市音別町尺別=2.0 広尾町並木通=2.0 釧路市黒金町*=1.9 広尾町白樺通=1.9 浦幌町桜町*=1.8 足寄町南1条*=1.8 本別町北2丁目=1.8 白糠町西1条*=1.8 豊頃町茂岩本町*=1.7 幕別町忠類錦町*=1.7 本別町向陽町*=1.7 弟子屈町弟子屈*=1.7 標津町北2条*=1.7 十勝大樹町東本通*=1.6 えりも町黒*=1.6 釧路市阿寒町中央*=1.6 1 釧路町別保*=1.4 別海町西春別*=1.4 釧路市幸町=1.3 足寄町上螺湾=1.3 標茶町塘路*=1.3 鶴居村鶴居東*=1.3 音更町元町*=1.3 浜中町茶内*=1.2 更別村更別*=1.2 帯広市東6条*=1.2 鹿追町東町*=1.2 中標津町養老牛=1.1 別海町常盤=1.1 新得町2条*=1.1 別海町本別海*=1.1 根室市厚床*=1.0 陸別町陸別*=0.9 弟子屈町美里=0.9 厚岸町尾幌=0.9 厚岸町真栄*=0.9 根室市落石東*=0.9 帯広市東4条=0.8 中標津町丸山*=0.8 浦河町潮見=0.7 北見市留辺蘂町栄町*=0.7 幕別町忠類明和=0.7 浜中町湯沸=0.7 芽室町東2条*=0.6 標茶町川上*=0.6 中札内村東2条*=0.5 十勝清水町南4条=0.5 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=0.5 1 東通村砂子又沢内*=0.9 八戸市湊町=0.8 東北町上北南*=0.7 階上町道仏*=0.7 野辺地町野辺地*=0.6 八戸市内丸*=0.6				
67	13 16 15	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*=1.9	29° 25.8' N	129° 38.6' E	7km	M: 2.1
68	13 17 34	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=1.0 一関市室根町*=0.6 一関市千厩町*=0.6 一関市大東町=0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.2 登米市豊里町*=1.1 涌谷町新町裏=0.9 登米市南方町*=0.8 大崎市古川大崎=0.8 登米市米山町*=0.8 大崎市田尻*=0.7 登米市中田町=0.7 登米市石越町*=0.6 南三陸町歌津*=0.5	38° 35.2' N	142° 02.5' E	51km	M: 3.8
69	13 20 53	釧路沖 北海道 1 十勝大樹町生花*=0.8 標茶町塘路*=0.5	42° 21.6' N	144° 32.7' E	23km	M: 4.2
70	14 04 03	鹿児島県大隅地方 宮崎県 2 都城市姫城町*=2.3 都城市菖蒲原=2.0 1 都城市北原*=1.3 都城市山之口町花木*=1.2 都城市高城町穂満坊*=0.8 宮崎市田野町体育館*=0.6 小林市野尻町東麓*=0.5 鹿児島県 2 曾於市大隅町中之内*=1.8 霧島市国分中央*=1.7 曾於市財部町南俣*=1.7 霧島市福山町牧之原*=1.6 鹿屋市輝北町上百引*=1.5 1 鹿児島市喜入町*=1.4 霧島市隼人町内山田=1.4 曾於市末吉町二之方*=1.1 志布志市有明町野井倉*=1.1 鹿屋市札元*=0.9 大崎町仮宿*=0.8 霧島市横川町中ノ*=0.7 鹿児島空港=0.6 志布志市志布志町志布志=0.6 鹿屋市新栄町=0.5 志布志市松山町新橋*=0.5	31° 37.8' N	130° 57.9' E	7km	M: 3.4
71	14 05 26	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=1.1 熊本中央区大江*=0.8	32° 46.3' N	130° 44.3' E	10km	M: 2.2
72	14 11 48	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市伊良部前里添=0.7	24° 10.7' N	125° 19.6' E	54km	M: 4.2
73	14 13 09	日向灘 宮崎県 2 延岡市北川町川内名白石*=1.7 1 延岡市天神小路=0.8 高千穂町三田井=0.7 門川町平城東*=0.5 大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.3	32° 39.0' N	131° 59.9' E	35km	M: 3.5
74	14 17 10	若狭湾 福井県 1 小浜市四谷町*=0.8	35° 37.9' N	135° 42.8' E	10km	M: 3.1
75	14 22 37	千葉県北東部 茨城県 2 神栖市溝口*=1.9 茨城鹿嶋市鉢形=1.7 稲敷市江戸崎甲*=1.7 小美玉市上玉里*=1.7 潮来市堀之内=1.6 行方市麻生*=1.6 茨城鹿嶋市宮中*=1.6 土浦市常名=1.5 稲敷市結佐*=1.5 ひたちなか市南神敷台*=1.5 小美玉市小川*=1.5 笠間市石井*=1.5 1 潮来市辻*=1.4 美浦村受領*=1.4 稲敷市須賀津*=1.4 かすみがうら市土上土田*=1.4 行方市山田*=1.4 鉾田市造谷*=1.4 鉾田市汲上*=1.4 稲敷市役所*=1.3 石岡市若宮*=1.3 東海村東海*=1.3 神栖市波崎*=1.3 石岡市柿岡=1.3 行方市玉造*=1.3 かすみがうら市大和田*=1.2 日立市助川小学校*=1.2 小美玉市堅倉*=1.2 笠間市中央*=1.2 つくば市小茎*=1.1 土浦市田中*=1.1 稲敷市伊佐津*=1.1 笠間市笠間*=1.0 土浦市藤沢*=1.0 水戸市内原町*=1.0 那珂市福田*=1.0 鉾田市鉾田=1.0 石岡市石岡*=1.0 水戸市栗崎町*=1.0 龍ヶ崎市役所*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 桜川市羽田*=0.9 取手市寺田*=0.9 筑西市舟生=0.8 ひたちなか市山ノ上町=0.8 日立市十王町友部*=0.8 阿見町中央*=0.8 笠間市下郷*=0.7 牛久市中央*=0.7 つくば市天王台*=0.6 筑西市門井*=0.6 水戸市千波町*=0.5 水戸市金町=0.5 千葉県 2 香取市仁良*=2.0 香取市役所*=1.8 旭市南堀之内*=1.8 旭市ニ*=1.7 香取市羽根川*=1.7 旭市萩園*=1.6 旭市高生*=1.5 1 神崎町神崎本宿*=1.4 多古町多古=1.4 香取市佐原平田=1.4 香取市佐原諏訪台*=1.4 匝瑳市今泉*=1.3 山武市蓮沼ニ*=1.3 成田市名古屋=1.3 東金市日吉台*=1.2 横芝光町宮川*=1.2 山武市松尾町富士見台=1.2 山武市埴谷*=1.2 成田国際空港=1.2 成田市中台*=1.2 山武市蓮沼ハ*=1.1 匝瑳市八日市場ハ*=1.1 横芝光町栗山*=1.1 八街市八街*=1.1 東庄町笹川*=1.0 芝山町小池*=1.0 成田市松子*=1.0 八千代市大和田新田*=1.0 香取市岩部*=1.0 九十九里町片貝*=0.9 東金市東新宿=0.9 銚子市川口町=0.8 銚子市小畑新町=0.8 栄町安食台*=0.8 成田市猿山*=0.7 一宮町一宮=0.6 長南町総合グラウンド=0.5 市原市姉崎*=0.5 千葉中央区千葉市役所*=0.5 千葉美浜区ひび野=0.5	35° 54.4' N	140° 32.7' E	46km	M: 4.4

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
76	15 02 34	栃木県 群馬県 1 市貝町市塙*=-0.9 益子町益子=-0.7 真岡市田町*=-0.5 1 渋川市赤城町*=-0.5				
		茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=-0.7	36° 40.4' N	141° 00.3' E	46km	M: 3.3
77	15 04 17	奄美大島北東沖 鹿児島県 2 奄美市笠利町里*=-1.6 1 奄美市名瀬港町=1.0 鹿児島十島村悪石島*=-0.9 喜界町滝川=0.5	28° 51.4' N	130° 09.7' E	54km	M: 4.3
78	15 22 59	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*=-1.8	29° 22.3' N	129° 32.6' E	13km	M: 3.1
79	16 02 58	福島県沖 福島県 2 国見町藤田*=-1.5 福島伊達市壘山町*=-1.5 1 相馬市中村*=-1.3 新地町谷地小屋*=-1.1 飯館村伊丹沢*=-0.9 双葉町両竹*=-0.8 南相馬市鹿島区西町*=-0.8 二本松市油井*=-0.7 田村市都路町*=-0.7 福島伊達市梁川町*=-0.7 大熊町大川原*=-0.7 川俣町五百田*=-0.6 福島伊達市前川原*=-0.6 福島伊達市保原町*=-0.6 浪江町幾世橋=-0.6 田村市船引町=0.5 福島市桜木町*=-0.5 宮城県 1 仙台宮城野区五輪=-1.3 岩沼市桜*=-1.2 蔵王町円田*=-1.1 山元町浅生原*=-1.0 名取市増田*=-1.0 仙台若林区遠見塚*=-1.0 宮城川崎町前川*=-1.0 亶理町悠里*=-1.0 仙台空港=-0.9 石巻市桃生町*=-0.9 角田市角田*=-0.8 大河原町新南*=-0.7 仙台太白区山田*=-0.7 柴田町船岡=0.7 東松島市小野*=-0.7 東松島市矢本*=-0.7 白石市亶理町*=-0.6 石巻市大街道南*=-0.6 石巻市北上町*=-0.6 仙台青葉区大倉=0.6 丸森町上滝=0.6 仙台宮城野区苦竹*=-0.6 利府町利府*=-0.6 大崎市鹿島台*=-0.6 七ヶ浜町東宮浜*=-0.5 石巻市鮎川浜*=-0.5	37° 46.1' N	141° 58.2' E	36km	M: 4.3
80	17 00 23	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=1.0	24° 22.6' N	122° 58.8' E	49km	M: 3.5
81	17 08 05	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津*=-1.2 有田市初島町*=-0.8	34° 09.9' N	135° 11.3' E	4km	M: 2.4
82	17 08 16	日向灘 大分県 宮崎県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.9 佐伯市宇目*=-0.7 1 延岡市北川町川内名白石*=-0.9 門川町平城東*=-0.8 高千穂町三田井=0.5	32° 41.7' N	132° 02.8' E	41km	M: 3.5
83	17 12 40	茨城県北部 福島県 1 矢祭町戸塚*=-0.8 浅川町浅川*=-0.6	36° 48.8' N	140° 35.0' E	7km	M: 3.2
84	17 15 31	東京湾 東京都 1 調布市西つつじヶ丘*=-1.0 東京千代田区大手町=0.6 東京新宿区百人町*=-0.5 東京千代田区富士見*=-0.5	35° 32.8' N	139° 57.7' E	81km	M: 3.2
85	17 18 17	浦河沖 北海道 3 新冠町北星町*=-3.0 函館市新浜町*=-2.8 浦河町潮見=2.7 新ひだか町三石旭町*=-2.6 函館市泊町*=-2.6 厚真町鹿沼=2.5 2 札幌東区元町*=-2.3 函館市川汲町*=-2.3 新ひだか町静内山手町=2.3 新ひだか町静内御幸町*=-2.3 むかわ町松風*=-2.2 浦河町築地*=-2.2 安平町追分柏が丘*=-2.2 胆振伊達市大滝区本町*=-2.0 浦河町野深=-2.0 むかわ町穂穂*=-2.0 浦幌町桜町*=-2.0 平取町振内*=-2.0 千歳市若草*=-2.0 函館市尾札部町=1.9 新ひだか町静内御園=1.9 江別市緑町*=-1.9 恵庭市京町*=-1.9 安平町早来北進*=-1.9 厚真町京町*=-1.8 千歳市北栄=1.7 幕別町忠類錦町*=-1.7 南幌町栄町*=-1.7 日高地方日高町門別*=-1.7 新篠津村第4 7線*=-1.7 様似町栄町*=-1.6 白老町大町=1.6 長沼町中央*=-1.5 江別市高砂町=1.5 帯広市東4条=1.5 帯広市東6条*=-1.5 室蘭市寿町*=-1.5 登別市桜木町*=-1.5 広尾町白樺通=1.5 新千歳空港=1.5 札幌北区太平*=-1.5 岩見沢市栗沢町東本町*=-1.5 千歳市支笏湖温泉*=-1.5 1 当別町白樺*=-1.4 札幌北区篠路*=-1.4 札幌白石区北郷*=-1.4 札幌厚別区もみじ台*=-1.4 北広島市共栄*=-1.4 函館市美原=1.4 鹿部町宮浜*=-1.4 新得町2条*=-1.4 十勝清水町南4条=1.4 更別村更別*=-1.4 十勝大樹町生花*=-1.4 音更町元町*=-1.3 七飯町本町*=-1.3 芽室町東2条*=-1.3 幕別町本町*=-1.3 札幌北区新琴似*=-1.3 十勝大樹町東本通*=-1.3 渡島森町砂原*=-1.3 広尾町並木通=1.3 小樽市勝納町=1.3 登別市鉾山=1.3 白老町緑丘*=-1.3 えりも町えりも岬*=-1.3 鹿追町東町*=-1.3 函館市日ノ浜町*=-1.3 栗山町松風*=-1.2 胆振伊達市梅本=1.2 胆振伊達市末永町*=-1.2 苫小牧市旭町*=-1.2 札幌手稲区前田*=-1.2 本別町北2丁目=1.2 石狩市聚富=1.2 新ひだか町静内農屋*=-1.2 三笠市幸町*=-1.2 由仁町新光*=-1.2 釧路市阿寒町中央*=-1.2 釧路市音別町中園*=-1.2 岩見沢市5条=1.1 札幌清田区平岡*=-1.1 七飯町桜町=1.1 十勝池田町西1条*=-1.1 豊頃町茂岩本町*=-1.1 苫小牧市末広町=1.1 本別町向陽町*=-1.1 足寄町南1条*=-1.0 美唄市西5条=1.0 渡島北斗市本町*=-1.0 福島町福島*=-1.0 平取町仁世宇=1.0 函館市大森町*=-1.0 えりも町目黒*=-1.0 芦別市旭町=1.0 上土幌町上土幌*=-1.0 中札内村東2条*=-1.0 札幌南区石山*=-1.0 岩見沢市鳩が丘*=-1.0 渡島北斗市中央*=-0.9 洞爺湖町栄町*=-0.9 長万部町平里*=-0.9 白糠町西1条*=-0.9 土幌町土幌*=-0.9 札幌豊平区月寒東*=-0.9 石狩市花川=0.8 釧路市音別町尺別=0.8 渡島森町御幸町=0.8 渡島森町上台町*=-0.8 月形町円山公園*=-0.8 平取町本町*=-0.8 小樽市花園町*=-0.7 日高地方日高町日高*=-0.7 豊浦町大岸*=-0.7 上土幌町清水谷*=-0.7 札幌中央区北2条=0.7 余市町朝日町=0.6 美唄市西3条*=-0.6 南富良野町役場*=-0.6 厚沢部町木間内*=-0.5	42° 02.5' N	142° 32.2' E	57km	M: 5.0

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		<p>青森県</p> <p>占冠村中央*0.5 足寄町上螺湾*0.5 夕張市若菜*0.5 標津町北2条*0.5 別海町常盤*0.5 幕別町忠類明和*0.5</p> <p>3 東通村砂子又沢内*2.6</p> <p>2 むつ市大畑町中島*2.3 階上町道仏*2.2 むつ市金曲*2.0 東通村砂子又蒲谷地*2.0 野辺地町田狭沢*1.9 むつ市金谷*1.9 平内町小湊*1.8 佐井村佐井*1.8 野辺地町野辺地*1.7 八戸市湊町*1.7 五戸町古館*1.6 八戸市南郷*1.6 外ヶ浜町蟹田*1.6 むつ市川内町*1.6 七戸町森ノ上*1.6 横浜町林ノ脇*1.6 六ヶ所村尾駈*1.5 青森南部町苔米地*1.5 風間浦村易国間*1.5 三沢市桜町*1.5</p> <p>1 八戸市内丸*1.4 東北町上北南*1.4 五戸町倉石中市*1.4 むつ市大畑町奥薬研*1.4 横浜町寺下*1.3 三戸町在府小路町*1.3 おいらせ町中下田*1.3 大間町大間*1.3 東通村白糠*1.3 佐井村長後*1.3 七戸町七戸*1.2 東北町塔ノ沢山*1.2 青森南部町平*1.2 東通村尻屋*1.2 藤崎町水木*1.2 おいらせ町上明堂*1.1 六戸町犬落瀬*1.1 青森市浪岡*1.1 つがる市稲垣町*1.0 青森南部町沖田面*0.9 田舎館村田舎館*0.9 十和田市西二番町*0.9 十和田市西十二番町*0.9 むつ市脇野沢*0.9 十和田市奥瀬*0.9 平内町東田沢*0.9 藤崎町西豊田*0.9 五所川原市金木町*0.8 蓬田村蓬田*0.8 中泊町中里*0.8 六ヶ所村出戸*0.8 八戸市島守*0.8 青森市花園*0.8 つがる市車力町*0.7 外ヶ浜町平館*0.7 青森市中央*0.7 弘前市城東中央*0.7 平川市猿賀*0.6</p> <p>2 軽米町軽米*1.5</p> <p>1 久慈市枝成沢*1.4 盛岡市藪川*1.4 二戸市浄法寺町*1.3 岩手洋野町種*0.9 岩手洋野町大野*0.7 葛巻町葛巻元木*0.7 八幡平市田頭*0.7 九戸村伊保内*0.7 久慈市長内町*0.6 二戸市福岡*0.6 宮古市区界*0.6 宮古市田老*0.6 久慈市川崎町*0.6 盛岡市山王町*0.5 宮古市川井*0.5 二戸市石切所*0.5</p>				
86	17 22 15	<p>宮古島近海 沖縄県</p> <p>2 宮古島市平良池間*1.6</p> <p>1 宮古島市城辺福北*1.3 宮古島市城辺福西*1.2 宮古島市平良下里*1.1 宮古島市平良西里*1.0 宮古島市下地*0.9 宮古島市平良狩俣*0.8 宮古島市上野支所*0.7 宮古島市伊良部前里添*0.7</p>	25° 01.0' N	125° 36.8' E	54km	M: 4.3
87	18 11 55	<p>宮城県 宮城県</p> <p>4 石巻市桃生町*3.7 松島町高城*3.7 涌谷町新町裏*3.6 大崎市田尻*3.5</p> <p>3 登米市豊里町*3.4 大崎市鹿島台*3.4 仙台泉区将監*3.2 宮城美里町木間塚*3.1 大崎市松山*3.1 大崎市古川三日町*3.0 大崎市古川旭*3.0 登米市南方町*3.0 宮城美里町北浦*3.0 登米市米山町*3.0 石巻市大街道南*3.0 石巻市前谷地*3.0 宮城加美町中新田*2.9 登米市登米町*2.9 石巻市相野谷*2.9 登米市迫町*2.9 七ヶ浜町東宮浜*2.9 女川町女川*2.9 仙台宮城野区苦竹*2.8 栗原市一迫*2.8 栗原市築館*2.8 石巻市北上町*2.8 栗原市高清水*2.8 名取市増田*2.8 東松島市矢本*2.8 岩沼市桜*2.8 利府町利府*2.8 大郷町粕川*2.8 宮城川崎町前川*2.8 東松島市小野*2.7 大河原町新南*2.7 石巻市鮎川浜*2.7 大崎市古川大崎*2.7 亘理町悠里*2.7 大衡村大衡*2.7 栗原市瀬峰*2.7 仙台若林区遠見塚*2.7 村田町村田*2.6 栗原市志波姫*2.6 大崎市三本木*2.6 栗原市若柳*2.6 石巻市泉町*2.6 色麻町四竈*2.6 登米市中田町*2.6 蔵王町円田*2.6 仙台宮城野区五輪*2.5 登米市東和町*2.5</p> <p>2 気仙沼市赤岩*2.4 栗原市栗駒*2.4 石巻市雄勝町*2.4 気仙沼市唐桑町*2.3 登米市石越町*2.3 白石市亘理町*2.3 角田市角田*2.3 柴田町船岡*2.3 丸森町鳥屋*2.3 山元町浅生原*2.3 仙台青葉区作並*2.3 塩竈市今宮町*2.3 仙台北白区山田*2.2 仙台空港*2.2 多賀城市中央*2.2 仙台青葉区大倉*2.2 栗原市金成*2.2 気仙沼市笹が陣*2.1 栗原市花山*2.1 登米市津山町*2.0 大和町吉岡*2.0 富谷市富谷*2.0 大崎市鳴子*1.9 仙台青葉区雨宮*1.9 仙台青葉区落合*1.9 石巻市大瓜*1.9 南三陸町歌津*1.9 大崎市岩出山*1.8 宮城加美町小野田*1.8 南三陸町志津川（旧4）*1.6 気仙沼市本吉町津谷*1.5 宮城加美町宮崎*1.5</p> <p>1 気仙沼市本吉町西川内*1.4 丸森町上滝*1.4 七ヶ宿町関*1.2</p> <p>3 一関市藤沢町*2.6 一関市花泉町*2.6 一関市千厩町*2.6 一関市室根町*2.5 一関市竹山町*2.5</p> <p>2 平泉町平泉*2.4 奥州市前沢*2.3 住田町世田米*2.3 一関市東山町*2.2 奥州市胆沢*2.1 奥州市衣川*2.0 矢巾町南矢幅*1.9 花巻市東和町*1.9 一関市大東町*1.9 大船渡市大船渡町*1.9 一関市川崎町*1.8 盛岡市藪川*1.8 北上市相去町*1.8 普代村銅屋*1.7 釜石市中妻町*1.7 奥州市江刺*1.7 奥州市水沢大鐘町*1.6 大船渡市猪川町*1.6 北上市柳原町*1.6 陸前高田市高田町*1.6 金ヶ崎町西根*1.6 遠野市宮守町*1.6 奥州市水沢佐倉河*1.5 遠野市青笹町*1.5 花巻市石鳥谷町*1.5</p> <p>1 盛岡市山王町*1.4 盛岡市洪民*1.4 花巻市材木町*1.4 釜石市只越町*1.3 宮古市区界*1.3 野田村野田*1.3 紫波町紫波中央駅前*1.3 花巻市大迫町*1.3 大船渡市盛町*1.2 宮古市田老*1.2 久慈市川崎町*1.2 八幡平市田頭*1.2 宮古市鉄ヶ崎*1.1 山田町大沢*1.1 久慈市枝成沢*1.0 滝沢市鶴飼*1.0 盛岡市馬場町*0.9 宮古市川井*0.9 岩手町五日市*0.9 山田町八幡町*0.9 八幡平市大更*0.8 西和賀町川尻*0.8 西和賀町沢内川舟*0.8 花巻市大迫総合支所*0.8 葛巻町葛巻元木*0.6 雫石町千刈田*0.6 宮古市長沢*0.5 久慈市長内町*0.5</p> <p>3 川俣町五百田*2.8 国見町藤田*2.7 相馬市中村*2.7 田村市大越町*2.6 大熊町大川原*2.6 南相馬市鹿島区西町*2.6 飯館村伊丹沢*2.5</p> <p>2 二本松市針道*2.3 福島伊達市霊山町*2.3 桑折町谷地*2.2 福島伊達市保原町*2.2 双葉町両竹*2.2 新地町谷地小屋*2.2 南相馬市鹿島区栞窪*2.2 福島伊達市前川原*2.1 福島伊達市梁川町*2.1 福島市五老内町*2.1 二本松市油井*2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 田村市船引町*2.0 田村市滝根町*2.0 福島市桜木町*2.0 南相馬市小高区*2.0 田村市都路町*1.9 福島市松木町*1.9 本宮市本宮*1.9 檜葉町北田*1.9 南相馬市原町区三島町*1.9 福島伊達市月舘町*1.8 玉川村小高*1.8 田村市常葉町*1.8 浪江町幾世橋*1.8 富岡町本岡*1.7 平田村永田*1.7 本宮市白岩*1.7 須賀川市八幡山*1.6</p>	38° 10.4' N	141° 42.8' E	52km	M: 5.3
		<p>岩手県</p> <p>1 気仙沼市本吉町西川内*1.4 丸森町上滝*1.4 七ヶ宿町関*1.2</p> <p>3 一関市藤沢町*2.6 一関市花泉町*2.6 一関市千厩町*2.6 一関市室根町*2.5 一関市竹山町*2.5</p> <p>2 平泉町平泉*2.4 奥州市前沢*2.3 住田町世田米*2.3 一関市東山町*2.2 奥州市胆沢*2.1 奥州市衣川*2.0 矢巾町南矢幅*1.9 花巻市東和町*1.9 一関市大東町*1.9 大船渡市大船渡町*1.9 一関市川崎町*1.8 盛岡市藪川*1.8 北上市相去町*1.8 普代村銅屋*1.7 釜石市中妻町*1.7 奥州市江刺*1.7 奥州市水沢大鐘町*1.6 大船渡市猪川町*1.6 北上市柳原町*1.6 陸前高田市高田町*1.6 金ヶ崎町西根*1.6 遠野市宮守町*1.6 奥州市水沢佐倉河*1.5 遠野市青笹町*1.5 花巻市石鳥谷町*1.5</p> <p>1 盛岡市山王町*1.4 盛岡市洪民*1.4 花巻市材木町*1.4 釜石市只越町*1.3 宮古市区界*1.3 野田村野田*1.3 紫波町紫波中央駅前*1.3 花巻市大迫町*1.3 大船渡市盛町*1.2 宮古市田老*1.2 久慈市川崎町*1.2 八幡平市田頭*1.2 宮古市鉄ヶ崎*1.1 山田町大沢*1.1 久慈市枝成沢*1.0 滝沢市鶴飼*1.0 盛岡市馬場町*0.9 宮古市川井*0.9 岩手町五日市*0.9 山田町八幡町*0.9 八幡平市大更*0.8 西和賀町川尻*0.8 西和賀町沢内川舟*0.8 花巻市大迫総合支所*0.8 葛巻町葛巻元木*0.6 雫石町千刈田*0.6 宮古市長沢*0.5 久慈市長内町*0.5</p> <p>3 川俣町五百田*2.8 国見町藤田*2.7 相馬市中村*2.7 田村市大越町*2.6 大熊町大川原*2.6 南相馬市鹿島区西町*2.6 飯館村伊丹沢*2.5</p> <p>2 二本松市針道*2.3 福島伊達市霊山町*2.3 桑折町谷地*2.2 福島伊達市保原町*2.2 双葉町両竹*2.2 新地町谷地小屋*2.2 南相馬市鹿島区栞窪*2.2 福島伊達市前川原*2.1 福島伊達市梁川町*2.1 福島市五老内町*2.1 二本松市油井*2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 田村市船引町*2.0 田村市滝根町*2.0 福島市桜木町*2.0 南相馬市小高区*2.0 田村市都路町*1.9 福島市松木町*1.9 本宮市本宮*1.9 檜葉町北田*1.9 南相馬市原町区三島町*1.9 福島伊達市月舘町*1.8 玉川村小高*1.8 田村市常葉町*1.8 浪江町幾世橋*1.8 富岡町本岡*1.7 平田村永田*1.7 本宮市白岩*1.7 須賀川市八幡山*1.6</p>				
		<p>福島県</p> <p>3 川俣町五百田*2.8 国見町藤田*2.7 相馬市中村*2.7 田村市大越町*2.6 大熊町大川原*2.6 南相馬市鹿島区西町*2.6 飯館村伊丹沢*2.5</p> <p>2 二本松市針道*2.3 福島伊達市霊山町*2.3 桑折町谷地*2.2 福島伊達市保原町*2.2 双葉町両竹*2.2 新地町谷地小屋*2.2 南相馬市鹿島区栞窪*2.2 福島伊達市前川原*2.1 福島伊達市梁川町*2.1 福島市五老内町*2.1 二本松市油井*2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 田村市船引町*2.0 田村市滝根町*2.0 福島市桜木町*2.0 南相馬市小高区*2.0 田村市都路町*1.9 福島市松木町*1.9 本宮市本宮*1.9 檜葉町北田*1.9 南相馬市原町区三島町*1.9 福島伊達市月舘町*1.8 玉川村小高*1.8 田村市常葉町*1.8 浪江町幾世橋*1.8 富岡町本岡*1.7 平田村永田*1.7 本宮市白岩*1.7 須賀川市八幡山*1.6</p>				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		二本松市金色*1.6 福島広野町下北迫大谷地原*1.6 葛尾村落合落合*1.6 南相馬市原町区本町*1.6 福島市飯野町*1.6 川内村上川内早渡*1.5 大熊町野上*1.5 天栄村下松本*1.5 小野町小野新町*1.5 1 郡山市朝日*1.4 郡山市開成*1.4 白河市新白河*1.4 白河市大信*1.4 須賀川市岩瀬支所*1.4 須賀川市八幡町*1.4 大玉村玉井*1.4 中島村滑津*1.4 石川町長久保*1.4 浅川町浅川*1.4 いわき市三和町*1.4 白河市東*1.3 鏡石町不時沼*1.3 泉崎村泉崎*1.3 小野町中通*1.3 棚倉町棚倉中居野*1.2 古殿町松川新桑原*1.2 いわき市平梅本*1.2 郡山市湖南町*1.2 いわき市小名浜*1.1 いわき市錦町*1.1 川内村下川内*1.1 川内村上川内小山平*1.1 大玉村南小屋*1.1 いわき市平四ツ波*1.0 福島広野町下北迫苗代替*1.0 矢吹町一本木*1.0 二本松市小浜*0.9 矢祭町戸塚*0.9 白河市郭内*0.9 矢祭町東館*0.8 三春町大町*0.6 棚倉町棚倉舘ヶ丘*0.6 青森県 2 階上町道仏*1.7 1 八戸市南郷*1.2 青森南部町苦米地*1.0 おいらせ町中下田*1.0 五戸町古館*1.0 六戸町大落瀬*0.9 東北町上北南*0.9 おいらせ町上明堂*0.7 七戸町森ノ上*0.7 八戸市内丸*0.6 八戸市湊町*0.5 秋田県 2 大仙市大曲花園町*1.8 大仙市高梨*1.8 大仙市刈和野*1.6 横手市大雄*1.5 1 由利本荘市前郷*1.4 仙北市西木町上桧木内*1.2 秋田美郷町土崎*1.1 由利本荘市西目町沼田*1.0 秋田市河辺和田*1.0 横手市雄物川町今宿*0.9 湯沢市川連町*0.9 東成瀬村椿川*0.9 東成瀬村田子内*0.9 大仙市太田町太田*0.8 横手市中央町*0.8 横手市大森町*0.8 井川町北川尻*0.8 羽後町西馬音内*0.8 秋田市雄和新波*0.8 大仙市北長野*0.8 にかほ市平沢*0.7 三種町森岳*0.7 湯沢市沖鶴*0.7 横手市山内土淵*0.6 横手市十文字町*0.6 横手市安田柳堤地内*0.5 湯沢市佐竹町*0.5 山形県 2 大蔵村清水*1.7 東根市中央*1.6 中山町長崎*1.6 河北町谷地*1.6 山辺町緑ヶ丘*1.5 尾花沢市若葉町*1.5 白鷹町荒砥*1.5 1 新庄市東谷地田町*1.4 最上町向町*1.4 村山市中央*1.4 天童市老野森*1.4 舟形町舟形*1.3 大蔵村肘折*1.3 米沢市林泉寺*1.3 三川町横山*1.3 上山市河崎*1.2 河北町役場*1.2 南陽市三間通*1.2 高島町高島*1.2 山形川西町上小松*1.2 戸沢村古口*1.2 大石田町緑町*1.1 米沢市アルカディア*1.1 鶴岡市藤島*1.1 山形小国町岩井沢*1.0 山形小国町小国小坂町*1.0 酒田市飛鳥*1.0 酒田市山田*1.0 庄内町狩川*1.0 山形朝日町宮宿*0.9 遊佐町遊佐*0.9 遊佐町舞鶴*0.9 新庄市住吉町*0.9 真室川町新町*0.9 酒田市亀ヶ崎*0.9 米沢市駅前*0.8 山形市薬師町*0.8 寒河江市西根*0.8 大江町左沢*0.8 鮭川村佐渡*0.7 新庄市堀端町*0.7 山形市緑町*0.7 白鷹町黒鴨*0.7 飯豊町上原*0.7 飯豊町椿*0.7 寒河江市中央*0.7 長井市本町*0.7 米沢市金池*0.6 庄内町余目*0.6 酒田市本町*0.6 西川町海味*0.6 山形金山町金山*0.6 山形市旅籠町*0.6 鶴岡市温海川*0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*1.4 常陸太田市金井町*1.3 笠間市石井*1.3 東海村東海*1.3 常陸大宮市山方*1.2 日立市役所*1.1 日立市十王町友部*1.0 常陸太田市高柳町*1.0 笠間市中央*1.0 ひたちなか市南神敷台*1.0 大子町池田*1.0 那珂市瓜連*1.0 筑西市舟生*1.0 水戸市内原町*0.9 高萩市安良川*0.9 北茨城市磯原町*0.9 北茨城市中郷町*0.9 常陸大宮市野口*0.9 城里町石塚*0.9 土浦市常名*0.9 石岡市柿岡*0.9 鉾田市汲上*0.9 笠間市笠間*0.8 水戸市栗崎町*0.8 高萩市本町*0.8 城里町小勝*0.7 小美玉市小川*0.7 小美玉市堅倉*0.7 石岡市若宮*0.7 水戸市金町*0.7 水戸市千波町*0.7 ひたちなか市東石川*0.7 笠間市下郷*0.6 つくば市天王台*0.6 かすみがうら市上土田*0.6 桜川市羽田*0.6 常陸大宮市中富町*0.5 筑西市門井*0.5 栃木県 1 那須町寺子*1.1 宇都宮市明保野町*0.8 栃木那珂川町小川*0.8 益子町益子*0.7 芳賀町祖母井*0.6 群馬県 1 邑楽町中野*0.7 渋川市赤城町*0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*0.9 春日部市谷原新田*0.7 加須市大利根*0.6 久喜市下早見*0.6 春日部市金崎*0.5 新潟県 1 村上市岩船駅前*1.0 南魚沼市六日町*0.8 関川村下関*0.7					
88	19 01 12	沖縄本島近海 沖縄県	26° 36.2' N	127° 56.2' E	38km	M: 3.4	
		2 うるま市石川石崎*1.9 恩納村恩納*1.7 本部町役場*1.7 名護市豊原*1.5 1 今帰仁村仲宗根*1.4 沖縄市美里*1.4 中城村当間*1.4 大宜味村大宜味*1.3 名護市港*1.3 宜野座村宜野座*1.1 うるま市みどり町*1.1 国頭村辺土名*1.0 西原町与那城*0.9 座間味村座間味*0.9 宜野湾市野嵩*0.9 金武町金武*0.8 北中城村喜舎場*0.8 南城市佐敷*0.6 八重瀬町東風平*0.5 南城市大里仲間*0.5					
89	19 02 34	種子島近海 鹿児島県	30° 43.6' N	131° 10.9' E	33km	M: 3.9	
		2 錦江町田代支所*1.9 大崎町仮宿*1.8 錦江町城元*1.5 1 南大隅町根占*1.3 鹿屋市串良町岡崎*1.2 鹿屋市新栄町*1.2 錦江町田代麓*1.0 鹿屋市札元*0.9 肝付町新富*0.9 南大隅町佐多伊座敷*0.8 肝付町北方*0.5					
90	19 07 43	福島県沖 福島県	37° 08.0' N	141° 03.9' E	54km	M: 3.6	
		2 白河市新白河*1.6 1 檜葉町北田*1.4 大熊町大川原*1.3 川内村上川内早渡*1.1 田村市都路町*1.0 小野町小野新町*1.0 田村市船引町*0.9 浅川町浅川*0.8 玉川村小高*0.8 いわき市三和町*0.8 棚倉町棚倉中居野*0.7 小野町中通*0.7 白河市郭内*0.7 天栄村下松本*0.6 川内村下川内*0.6 福島広野町下北迫大谷地原*0.5					
91	19 10 11	栃木県南部 栃木県 群馬県 埼玉県	36° 22.6' N	139° 28.6' E	84km	M: 3.3	
		1 佐野市中町*0.6 1 桐生市元宿町*0.6 太田市大原町*0.6 1 宮代町笠原*0.5					

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
92	19 13 17	茨城県南部 茨城県	36° 11.4' N	140° 03.1' E	71km	M: 3.0
		1 桜川市羽田* 1.0 筑西市二木成* 0.9 筑西市門井* 0.6				
93	19 20 56	奄美大島近海 鹿児島県	28° 46.6' N	130° 02.0' E	33km	M: 3.6
		1 奄美市笠利町里* 1.0				
94	20 11 26	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 17.4' N	129° 11.2' E	7km	M: 2.0
		1 鹿児島十島村小宝島* 1.1				
95	20 11 29	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 16.5' N	129° 07.7' E	11km	M: 2.3
		2 鹿児島十島村小宝島* 1.5				
96 (注)	20 11 30	トカラ列島近海	29° 16.7' N	129° 06.6' E	12km	M: 3.2
	20 11 30	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 16.8' N	129° 14.3' E	5km	M: 1.7
		3 鹿児島十島村小宝島* 2.8 1 鹿児島十島村悉石島* 1.0				
97	20 11 31	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 18.9' N	129° 13.1' E	3km	M: 2.4
		1 鹿児島十島村小宝島* 1.2				
98	20 11 33	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 14.3' N	129° 14.7' E	16km	M: 2.7
		2 鹿児島十島村小宝島* 2.4				
99	20 11 39	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 14.7' N	129° 15.5' E	9km	M: 2.5
		2 鹿児島十島村小宝島* 2.0				
100	20 11 49	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 16.1' N	129° 15.6' E	8km	M: 1.9
		1 鹿児島十島村小宝島* 1.4				
101	20 12 15	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 16.7' N	129° 12.7' E	11km	M: 2.3
		1 鹿児島十島村小宝島* 0.8				
102	21 07 11	遠州灘 福島県	34° 04.5' N	137° 20.7' E	356km	M: 5.0
		2 浪江町幾世橋=1.5 1 檜葉町北田* 1.4 大熊町大川原* 1.3 双葉町両竹* 1.2 田村市都路町* 1.1 玉川村小高* 1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 いわき市三和町=1.0 白河市東* 0.9 川内村上川内早渡* 0.9 田村市常葉町* 0.9 田村市大越町* 0.8 矢祭町東館* 0.7 二本松市針道* 0.7 いわき市錦町* 0.7 福島広野町下北迫大谷地原* 0.7 葛尾村落合落合* 0.6 浅川町浅川* 0.6 福島広野町下北迫苗代替* 0.5 いわき市平四ツ波* 0.5 川内村下川内=0.5				
		栃木県				
		2 宇都宮市明保野町=1.6 1 下野市笹原* 1.2 下野市田中* 1.1 栃木市岩舟町静* 1.0 鹿沼市晃望台* 1.0 益子町益子=1.0 高根沢町石末* 1.0 壬生町通町* 0.9 佐野市高砂町* 0.8 鹿沼市口栗野* 0.8 野木町丸林* 0.8 宇都宮市中里町* 0.8 栃木市藤岡町藤岡* 0.8 芳賀町祖母井* 0.7 栃木市旭町=0.6 佐野市中町* 0.6 小山市神鳥谷* 0.6 茂木町茂木* 0.6 上三川町しらさぎ* 0.5				
		茨城県				
		1 日立市助川小学校* 1.3 日立市十王町友部* 1.3 水戸市内原町* 1.1 笠間市石井* 1.1 笠間市笠間* 1.0 城里町小勝* 1.0 常陸大宮市山方* 0.9 城里町石塚* 0.9 小美玉市小川* 0.9 茨城古河市下大野* 0.9 石岡市柿岡=0.9 筑西市門井* 0.9 桜川市岩瀬* 0.9 常陸太田市町屋町=0.9 高萩市安良川* 0.9 北茨城市中郷町* 0.9 東海村東海* 0.9 大子町池田* 0.9 土浦市常名=0.8 笠間市中央* 0.8 つくば市小荃* 0.8 常陸大宮市野口* 0.8 小美玉市上玉里* 0.8 桜川市羽田* 0.8 石岡市若宮* 0.7 常陸大宮市北町* 0.7 筑西市舟生=0.7 小美玉市堅倉* 0.7 坂東市岩井=0.6 水戸市千波町* 0.6 筑西市二木成* 0.6 かすみがうら市上土田* 0.6 日立市役所* 0.6 ひたちなか市南神敷台* 0.5 笠間市下郷* 0.5				
		群馬県				
		1 板倉町板倉=0.7 桐生市黒保根町* 0.6				
		埼玉県				
		1 加須市大利根* 0.7 熊谷市大里* 0.5 久喜市下早見=0.5				
		千葉県				
		1 市原市姉崎* 1.0 野田市鶴奉* 0.8				
		東京都				
		1 東京千代田区大手町=0.9 東京中野区中野* 0.6 西東京市中町* 0.5				
103	21 10 12	茨城県沖	36° 13.9' N	140° 59.3' E	43km	M: 4.4
		茨城県				
		3 東海村東海* 2.5 2 水戸市金町=2.4 水戸市千波町* 2.4 ひたちなか市南神敷台* 2.4 桜川市真壁* 2.3 石岡市柿岡=2.2 城里町石塚* 2.1 水戸市内原町* 2.1 那珂市福田* 2.1 鉾田市汲上* 2.1 小美玉市上玉里* 2.0 土浦市常名=2.0 笠間市石井* 2.0 かすみがうら市上土田* 2.0 日立市助川小学校* 2.0 小美玉市小川* 2.0 茨城鹿嶋市宮中* 1.9 水戸市栗崎町* 1.9 茨城町小堤* 1.9 鉾田市造谷* 1.9 石岡市八郷* 1.9 笠間市中央* 1.8 茨城鹿嶋市鉢形=1.8 鉾田市鉾田=1.8 笠間市下郷* 1.8 潮来市堀之内=1.8 筑西市門井* 1.7 小美玉市堅倉* 1.7 かすみがうら市大和田* 1.7 行方市山田* 1.7 笠間市笠間* 1.7 桜川市羽田* 1.6 ひたちなか市山ノ上町=1.6 石岡市石岡* 1.6 高萩市安良川* 1.6 行方市麻生* 1.6 桜川市岩瀬* 1.6 筑西市海老ヶ島* 1.6 石岡市若宮* 1.5 常陸大宮市上小瀬* 1.5 ひたちなか市東石川* 1.5 取手市寺田* 1.5 つくば市小荃* 1.5 常陸太田市金井町* 1.5 土浦市藤沢* 1.5 常陸大宮市北町* 1.5 稲敷市須賀津* 1.5 日立市役所* 1.4 常陸太田市高柿町* 1.4 那珂市瓜連* 1.4 土浦市田中* 1.4 つくば市研究学園* 1.4 潮来市辻* 1.4 美浦村受領* 1.4 阿見町中央* 1.4 筑西市舟生=1.4 筑西市二木成* 1.3 下妻市鬼怒* 1.3 城里町小勝* 1.3 坂東市山* 1.3 稲敷市江戸崎甲* 1.3				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		大洗町磯浜町*1.3 取手市井野*1.2 牛久市中央*1.2 稲敷市結佐*1.2 高萩市本町*1.2 龍ヶ崎市役所*1.2 行方市玉造*1.2 常総市新石下*1.2 下妻市本城町*1.2 常陸大宮市高部*1.2 常陸大宮市野口*1.1 神栖市溝口*1.1 北茨城市磯原町*1.1 つくばみらい市加藤*1.1 守谷市大柏*1.1 城里町阿波山*1.1 稲敷市伊佐津*1.1 つくば市天王台*1.1 常陸大宮市山方*1.1 北茨城市中郷町*1.0 常陸太田市町田町*1.0 境町旭町*1.0 常総市水海道諏訪町*1.0 つくばみらい市福田*1.0 結城市中央町*1.0 稲敷市役所*0.9 八千代町菅谷*0.8 五霞町小福田*0.8 日立市十王町友部*0.8 坂東市岩井*0.8 大子町池田*0.8 常陸太田市町屋*0.8 取手市藤代*0.8 常陸大宮市中富町*0.7 坂東市役所*0.7 利根町布川*0.5				
		栃木県 2 市貝町市塙*1.6 下野市田中*1.5 下野市笹原*1.5 1 茂木町茂木*1.4 小山市神鳥谷*1.3 芳賀町祖母井*1.3 高根沢町石末*1.0 那須烏山市大金*1.0 真岡市田町*1.0 真岡市荒町*0.9 上三川町しらさぎ*0.9 栃木市岩舟町静*0.9 宇都宮市中里町*0.9 栃木那珂川町小川*0.8 益子町益子*0.8 宇都宮市明保野町*0.8 那須烏山市役所*0.8 那須烏山市神長*0.7 栃木那珂川町馬頭*0.7 大田原市黒羽田町*0.7 下野市大松山*0.7 茂木町北高岡天矢場*0.6 栃木市旭町*0.5				
		千葉県 2 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 日光市芹沼*0.5 2 香取市役所*1.8 野田市鶴奉*1.8 香取市仁良*1.7 旭市南堀之内*1.6 香取市佐原平田*1.6 八千代市大和田新田*1.5 1 香取市佐原諏訪台*1.4 成田市名古屋*1.4 成田市松子*1.4 成田国際空港*1.3 印西市笠神*1.3 神崎町神崎本宿*1.2 成田市中台*1.2 習志野市鷺沼*1.2 印西市大森*1.2 白井市復*1.2 芝山町小池*1.1 千葉花見川区花島町*1.1 船橋市湊町*1.1 成田市役所*1.1 千葉佐倉市海隣寺町*1.1 柏市旭町*1.1 柏市柏*1.1 香取市羽根川*1.0 銚子市川口町*1.0 印西市美瀬*1.0 栄町安食台*1.0 銚子市若宮町*0.9 旭市萩園*0.9 旭市二*0.9 多古町多古*0.9 匝瑛市八日市場*0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.9 山武市埴谷*0.9 千葉中央区千葉市役所*0.9 富里市七栄*0.9 千葉美浜区ひび野*0.8 千葉稲毛区園生町*0.7 千葉若葉区小倉台*0.7 野田市東宝珠花*0.7 銚子市小畑新町*0.7 東金市日吉台*0.7 八街市八街*0.7 香取市岩部*0.7 山武市松尾町富士見台*0.7 柏市大島田*0.6 東金市東新宿*0.6 酒々井町中央*0.6 千葉中央区中央港*0.6 東庄町笹川*0.5 成田市猿山*0.5				
		福島県 1 白河市東*1.4 泉崎村泉崎*1.1 玉川村小高*1.1 棚倉町棚倉中居野*1.0 須賀川市八幡山*0.8 矢祭町戸塚*0.8 鏡石町不時沼*0.7 浅川町浅川*0.7 郡山市湖南町*0.7 矢祭町東館*0.7 天栄村下松本*0.6 須賀川市岩瀬支所*0.6 郡山市朝日*0.5 郡山市開成*0.5				
		群馬県 1 渋川市赤城町*1.4 沼田市白沢町*1.0 伊勢崎市今泉町*1.0 邑楽町中野*1.0 沼田市利根町*0.9 桐生市黒保根町*0.7 桐生市新里町*0.7 伊勢崎市西久保町*0.7 太田市西本町*0.7 千代田町赤岩*0.7 前橋市粕川町*0.6 前橋市富士見町*0.6 沼田市西倉内町*0.5 板倉町板倉*0.5 桐生市元宿町*0.5				
		埼玉県 1 本庄市児玉町*1.3 埼玉美里町木部*1.3 入間市豊岡*1.2 春日部市粕壁*1.1 久喜市下早見*1.0 吉川市きよみ野*1.0 加須市大利根*0.9 宮代町笠原*0.8 春日部市金崎*0.8 三郷市中央*0.7 幸手市東*0.7 さいたま見沼区堀崎*0.6 春日部市谷原新田*0.6 川口市中青木分室*0.6 川口市安行領家*0.6 久喜市青葉*0.5 吉見町下細谷*0.5 行田市南河原*0.5				
		東京都 1 東京足立区神明南*0.8 東京千代田区大手町*0.6 東京渋谷区本町*0.6 東京中野区江古田*0.5 東京江戸川区中央*0.5				
104	21 11 13	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 38.4' N	141° 54.2' E	47km	M: 3.6
		1 一関市千厩町*1.1 陸前高田市高田町*0.6 大船渡市猪川町*0.5 1 気仙沼市唐桑町*0.7 石巻市北上町*0.7 石巻市桃生町*0.7				
105	21 11 24	奄美大島近海 鹿児島県	28° 46.1' N	130° 02.7' E	36km	M: 4.7
		2 奄美市笠利町里*1.5 1 喜界町滝川*1.3 鹿児島十島村悪石島*1.1 喜界町湾*1.0 奄美市名瀬港町*0.9				
106	21 11 38	茨城県沖 茨城県 千葉県	35° 53.6' N	140° 49.8' E	41km	M: 3.6
		1 神栖市溝口*0.8 行方市麻生*0.7 東海村東海*0.6 茨城鹿嶋市宮中*0.6 ひたちなか市南神敷台*0.6 1 旭市南堀之内*1.0 香取市仁良*0.8 多古町多古*0.6 東金市日吉台*0.5 香取市佐原諏訪台*0.5 銚子市小畑新町*0.5				
107	22 00 36	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 22.1' N	129° 03.9' E	15km	M: 3.5
		1 鹿児島十島村悪石島*1.2				
108	22 01 56	根室地方南部 北海道	43° 13.7' N	145° 22.5' E	100km	M: 3.9
		2 別海町本別海*1.6 1 別海町常盤*1.4 根室市牧の内*1.4 根室市厚床*1.4 標津町北2条*1.3 根室市瑠璃瑠*1.3 別海町西春別*1.0 根室市落石東*1.0 浜中町茶内*1.0 標茶町塘路*0.8 十勝大樹町生花*0.7 中標津町養老牛*0.6 中標津町丸山*0.5				
109	22 04 28	福島県沖 宮城県 福島県	37° 42.3' N	141° 39.7' E	54km	M: 3.9
		1 石巻市桃生町*0.8 1 相馬市中村*0.9 新地町谷地小屋*0.7				
110 (注)	22 05 52 22 05 51	沖縄本島北西沖 沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 51.0' N 26° 49.1' N	126° 20.3' E 126° 22.7' E	17km 26km	M: 5.8 M: 3.7
		2 久米島町比嘉*2.3 渡名喜村渡名喜*2.0 久米島町謝名堂*1.9 久米島町仲泊*1.6 1 座間味村座間味*1.4 南城市知念久手堅*1.3 南城市玉城字玉城*1.2 那覇市樋川*1.1				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
111	22 11 05	福島県沖 宮城県 福島県	37° 42.6' N	141° 39.7' E	54km	M: 4.0
久米島町山城=1.1 那覇空港=0.9 名護市港*=0.7 栗国村浜(旧)=0.6 1 石巻市桃生町*=1.3 亶理町悠里*=0.9 山元町浅生原*=0.8 登米市迫町*=0.8 東松島市小野*=0.8 栗原市志波姫*=0.7 石巻市大街道南*=0.6 石巻市北上町*=0.6 登米市中田町*=0.6 大崎市田尻*=0.6 東松島市矢本*=0.6 角田市角田*=0.5 1 福島伊達市霊山町*=1.3 相馬市中村*=1.1 新地町谷地小屋*=1.0 檜葉町北田*=0.9 田村市船引町=0.8 大熊町大川原*=0.6 浪江町幾世橋=0.5						
112	22 18 34	千葉県東方沖 千葉県	35° 39.6' N	140° 57.6' E	19km	M: 2.7
1 旭市ニ*=0.5						
113	22 19 55	石川県能登地方 石川県	37° 28.0' N	137° 11.4' E	12km	M: 3.0
1 珠洲市正院町*=1.1						
114	22 21 23	浦河沖 北海道	42° 15.8' N	142° 31.9' E	72km	M: 3.5
1 安平町息分柏が丘*=0.5 浦河町潮見=0.5						
115	23 00 02	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 58.6' N	130° 31.6' E	6km	M: 2.9
1 さつま町神子*=1.3 伊佐市大口鳥巢*=1.0 伊佐市菱刈前目*=1.0 さつま町宮之城保健センタ*=0.7 薩摩川内市脇脇町*=0.6						
116	23 00 46	鹿児島県大隅地方 宮崎県 鹿児島県	31° 37.8' N	130° 57.8' E	7km	M: 3.1
2 都城市姫城町*=1.7 1 都城市菖蒲原=1.2 都城市北原*=0.6 1 霧島市国分中央*=1.4 霧島市福山町牧之原*=1.3 霧島市隼人町内山田=1.2 曾於市大隅町中之内*=1.2 曾於市財部町南俣*=1.1 曾於市末吉町二之方*=0.8 霧島市横川町中ノ*=0.5						
117	23 14 17	石川県能登地方 石川県	37° 30.0' N	137° 13.4' E	11km	M: 3.0
1 珠洲市正院町*=1.1						
118	23 17 25	釧路沖 北海道	42° 57.9' N	145° 25.9' E	46km	M: 3.9
2 根室市牧の内*=2.4 浜中町湯沸=2.2 浜中町茶内*=2.1 根室市厚床*=2.0 根室市落石東*=2.0 根室市瑠璃瑠*=1.7 1 別海町常盤=1.3 根室市弥栄=1.3 厚岸町尾幌=1.1 標津町北2条*=0.9 別海町本別海*=0.8 標茶町塘路*=0.6						
119	23 19 16	岩手県沿岸北部 青森県 岩手県	39° 45.5' N	141° 49.9' E	58km	M: 3.5
1 階上町道仏*=0.7 1 普代村銅屋*=1.1 遠野市青笹町*=1.0 宮古市川井*=0.8 宮古市田老*=0.6						
120	23 21 02	青森県東方沖 青森県	40° 39.6' N	141° 55.6' E	64km	M: 3.3
1 階上町道仏*=0.7						
121	24 04 53	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 51.4' N	126° 22.9' E	29km	M: 4.9
2 渡名喜村渡名喜*=2.2 1 久米島町謝名堂=1.4 久米島町比嘉*=1.4 南城市知念久手堅*=1.1 久米島町仲泊*=1.0 那覇市港町*=0.9 うるま市みどり町*=0.7 久米島町山城=0.6						
122	24 05 02	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 48.5' N	126° 28.3' E	27km	M: 3.6
1 渡名喜村渡名喜*=1.4						
123	24 05 05	和歌山県南部 三重県 和歌山県	33° 53.1' N	135° 50.9' E	16km	M: 3.4
2 熊野市紀和町板屋*=1.9 1 紀宝町神内*=1.0 三重御浜町阿田和*=0.9 熊野市井戸町*=0.8 1 田辺市本宮町本宮*=1.1						
124	24 06 04	茨城県沖 茨城県 千葉県	36° 14.4' N	140° 55.7' E	43km	M: 3.7
1 東海村東海*=1.2 水戸市千波町*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.8 水戸市栗崎町*=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 鉢田市造谷*=0.7 鉢田市汲上*=0.7 水戸市金町=0.5 1 香取市仁良*=0.7						
125	24 14 18	宮城県沖 宮城県 岩手県	37° 54.6' N	141° 56.8' E	44km	M: 4.2
2 石巻市桃生町*=1.6 1 岩沼市桜*=1.3 石巻市北上町*=1.3 石巻市鮎川浜*=1.2 石巻市大街道南*=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.0 涌谷町新町裏=1.0 登米市東和町*=0.9 大崎市田尻*=0.9 石巻市雄勝町*=0.9 東松島市矢本*=0.9 栗原市一迫*=0.8 気仙沼市赤岩=0.8 名取市増田*=0.8 大崎市古川三日町=0.7 栗原市築館*=0.7 石巻市泉町=0.7 登米市中田町=0.7 登米市米山町*=0.7 登米市南方町*=0.7 東松島市小野*=0.7 南三陸町歌津*=0.7 栗原市栗駒=0.6 松島町高城=0.6 宮城美里町北浦*=0.6 大崎市古川大崎=0.5 栗原市清水*=0.5 女川町女川*=0.5 石巻市相野谷*=0.5 1 一関市室根町*=1.4 一関市千厩町*=1.2 住田町世田米*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 釜石市中妻町*=0.8 奥州市衣川*=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 一関市花泉町*=0.7 一関市大東町=0.7						

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
126	24 19 50	福島県 橋湾 長崎県	32° 47.0' N	130° 06.0' E	7km	M: 3.0
		一関市東山町*0.7 北上市相去町*0.6 奥州市前沢*0.6 盛岡市薮川*0.5 平泉町平泉*0.5 1 相馬市中村*0.7 南相馬市原町区高見町*0.5				
127	25 08 46	宮城県沖 岩手県	38° 28.3' N	142° 01.4' E	43km	M: 4.3
		2 住田町世田米*2.3 大船渡市大船渡町=2.2 大船渡市猪川町=2.1 一関市室根町*1.6 一関市千厩町*1.5 1 陸前高田市高田町*1.4 一関市大東町=1.4 大船渡市盛町*1.3 一関市藤沢町*1.3 北上市相去町*1.3 釜石市中妻町*1.2 奥州市衣川*1.0 一関市東山町*1.0 釜石市只越町=0.9 金ヶ崎町西根*0.9 奥州市江刺*0.9 宮古市区界*0.9 矢巾町南矢幅*0.9 奥州市前沢*0.8 奥州市胆沢*0.8 花巻市大迫町=0.8 北上市柳原町=0.8 一関市花泉町*0.7 花巻市東和町*0.7 遠野市青笹町*0.7 盛岡市薮川*0.7 奥州市水沢佐倉河*0.7 盛岡市洪民*0.6 平泉町平泉*0.6 花巻市石鳥谷町*0.5				
		宮城県 2 気仙沼市唐桑町*2.4 気仙沼市笹が陣*1.5 1 大崎市田尻*1.4 涌谷町新町裏=1.3 登米市東和町*1.3 石巻市泉町=1.3 石巻市桃生町*1.3 栗原市栗駒=1.2 登米市中田町=1.2 石巻市大街道南*1.1 気仙沼市赤岩=1.1 大崎市古川大崎=1.0 大崎市古川旭*1.0 登米市南方町*1.0 南三陸町歌津*1.0 登米市迫町*0.9 気仙沼市本吉町津谷*0.9 大崎市古川三日町=0.9 登米市米山町*0.9 石巻市北上町*0.9 石巻市鮎川浜*0.8 気仙沼市本吉町西川内=0.8 登米市豊里町*0.8 東松島市矢本*0.8 南三陸町志津川=0.7 東松島市小野*0.7 石巻市雄勝町*0.6 栗原市金成*0.6 登米市登米町*0.6 栗原市高清水*0.5 松島町高城=0.5				
128	25 17 50	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 48.6' N	126° 22.0' E	29km	M: 5.4
		2 久米島町比嘉*1.8 久米島町謝名堂=1.6 渡名喜村渡名喜*1.5 1 久米島町仲泊*1.3 久米島町山城=1.1				
129	25 20 10	択捉島南東沖 北海道	44° 03.9' N	147° 54.3' E	0km	M: 4.8
		1 根室市落石東*0.5				
130	26 04 34	沖縄本島近海 沖縄県	26° 23.8' N	127° 43.2' E	17km	M: 3.0
		1 宜野湾市野嵩*0.8 恩納村恩納*0.6 北谷町桑江*0.6 嘉手納町嘉手納*0.5 沖縄市美里*0.5 西原町与那城*0.5				
131	26 08 32	福島県沖 福島県	37° 30.7' N	141° 24.0' E	49km	M: 4.5
		3 浪江町幾世橋=2.8 双葉町両竹*2.5 2 相馬市中村*2.4 川内村下川内=2.3 大熊町大川原*2.3 田村市都路町*2.2 檜葉町北田*2.2 新地町谷地小屋*2.1 南相馬市原町区三島町=2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 富岡町本岡*1.9 南相馬市原町区本町*1.9 泉崎村泉崎*1.8 飯館村伊丹沢*1.8 田村市滝根町*1.8 南相馬市小高区*1.8 小野町小野新町*1.7 川内村上川内早渡*1.7 大熊町野上*1.7 白河市表郷*1.7 白河市新白河*1.7 浅川町浅川*1.6 葛尾村落合落合*1.6 福島広野町下北迫大谷地原*1.6 田村市船引町=1.6 田村市常葉町*1.6 二本松市油井*1.6 いわき市三和町=1.5 須賀川市岩瀬支所*1.5 福島市飯野町*1.5 田村市大越町*1.5 川俣町五百田*1.5 南相馬市鹿島区西町*1.5 福島伊達市梁川町*1.5 1 天栄村下松本*1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 本宮市白岩*1.4 いわき市平梅本*1.4 玉川村小高*1.3 福島伊達市霊山町*1.3 福島伊達市月館町*1.3 本宮市本宮*1.3 いわき市平四ツ波*1.3 南相馬市鹿島区栞窪=1.3 国見町藤田*1.2 鏡石町不時沼*1.2 川内村上川内小山平*1.2 二本松市金色*1.2 小野町中通*1.1 郡山市朝日=1.1 二本松市針道*1.1 石川町長久保*1.1 大玉村玉井*1.0 平田村永田*1.0 福島市五老内町*1.0 郡山市湖南町*1.0 白河市大信*1.0 須賀川市八幡町*1.0 須賀川市八幡山*0.9 矢祭町戸塚*0.9 福島広野町下北迫苗代替*0.9 福島市桜木町*0.9 古殿町松川横川=0.8 古殿町松川新桑原*0.8 福島伊達市前川原*0.8 福島伊達市保原町*0.8 白河市東*0.8 白河市郭内=0.7 矢祭町東館*0.7 いわき市錦町*0.7 福島市松木町=0.6 いわき市小名浜=0.6 大玉村南小屋=0.6				
		宮城県 2 石巻市桃生町*1.9 山元町浅生原*1.8 岩沼市桜*1.8 亶理町悠里*1.6 角田市角田*1.6 丸森町上滝=1.5 名取市増田*1.5 1 利府町利府*1.3 登米市中田町=1.3 大崎市松山*1.3 大崎市田尻*1.3 柴田町船岡=1.3 石巻市大街道南*1.2 東松島市小野*1.2 宮城川崎町前川*1.2 仙台空港=1.1 登米市豊里町*1.1 登米市迫町*1.1 東松島市矢本*1.1 大崎市鹿島台*1.0 石巻市相野谷*1.0 石巻市雄勝町*1.0 宮城美里町木間塚*1.0 大崎市古川三日町=1.0 蔵王町円田*1.0 大河原町新南*1.0 大崎市古川大崎=1.0 涌谷町新町裏=1.0 仙台若林区遠見塚*1.0 石巻市北上町*0.9 松島町高城=0.9 七ヶ浜町東宮浜*0.9 登米市南方町*0.9 気仙沼市笹が陣*0.9 気仙沼市赤岩=0.9 登米市米山町*0.8 色麻町四竈*0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 大衡村大衡*0.8 白石市亶理町*0.8 栗原市築館*0.8 宮城加美町中新田*0.8 多賀城市中央*0.8 村田町村田*0.8 気仙沼市唐桑町*0.7 栗原市栗駒=0.7 塩竈市今宮町*0.7 栗原市瀬峰*0.7 登米市津山町*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.7 栗原市若柳*0.7 石巻市泉町=0.7 石巻市鮎川浜*0.7 登米市登米町*0.6 栗原市高清水*0.6 仙台太白区山田*0.6 女川町女川*0.6 登米市東和町*0.6 仙台青葉区大倉=0.5				
		岩手県 1 一関市藤沢町*1.1 一関市室根町*1.1 住田町世田米*0.8 一関市千厩町*0.8 釜石市中妻町*0.7 一関市東山町*0.7 盛岡市薮川*0.6 一関市花泉町*0.6 大船渡市大船渡町=0.6 北上市相去町*0.5				

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
132	26 10 35	茨城県 1 大子町池田*=1.0 日立市助川小学校*=0.8 笠間市石井*=0.7 東海村東海*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 水戸市千波町*=0.6 水戸市内原町*=0.6 日立市役所*=0.6 城里町石塚*=0.6 城里町小勝*=0.5 土浦市常名=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=1.0 宇都宮市明保野町=0.6 芳賀町祖母井*=0.5 栃木那珂川町小川*=0.5	33° 57.5' N	134° 47.9' E	43km	M: 3.5
133	26 13 07	岐阜県飛騨地方 2 高山市上宝町本郷*=1.6 岐阜県 1 飛騨市神岡町東町*=0.8 飛騨市神岡町殿=0.5 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5	36° 21.8' N	137° 37.5' E	0km	M: 3.1
134	26 13 12	岐阜県飛騨地方 1 高山市上宝町本郷*=1.0	36° 21.7' N	137° 37.5' E	0km	M: 2.6
135	26 14 49	岩手県沖 青森県 2 八戸市南郷*=1.5 1 青森南部町苦米地*=1.3 五戸町古館=1.3 階上町道仏*=1.2 おいらせ町中下田*=1.2 七戸町森ノ上*=1.0 青森南部町平*=1.0 八戸市湊町=0.9 東北町上北南*=0.9 八戸市内丸*=0.8 六戸町大落瀬*=0.8 三戸町在府小路町*=0.7 岩手県 2 山田町大沢*=2.4 一関市室根町*=2.2 盛岡市薮川*=2.1 釜石市中妻町*=2.0 矢巾町南矢幅*=2.0 野田村野田*=1.9 山田町八幡町=1.9 遠野市青笹町*=1.8 一関市千蔵町*=1.8 宮古市田老*=1.8 普代村銅屋*=1.8 大船渡市猪川町=1.7 釜石市只越町=1.7 宮古市川井*=1.7 宮古市茂市*=1.6 盛岡市洪民*=1.6 一戸町高善寺*=1.6 宮古市五月町*=1.6 住田町世田米*=1.6 大船渡市大船渡町=1.5 一関市藤沢町*=1.5 花巻市東和町*=1.5 八幡平市田頭*=1.5 1 盛岡市山王町=1.4 二戸市浄法寺町*=1.4 岩手町五日市*=1.4 八幡平市野駄*=1.4 滝沢市鶴飼*=1.4 花巻市大迫町=1.3 葛巻町葛巻元木=1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.2 八幡平市大更=1.2 宮古市長沢=1.2 紫波町紫波中央駅前*=1.2 花巻市石鳥谷町*=1.1 一関市花泉町*=1.1 奥州市胆沢*=1.1 宮古市区界*=1.1 盛岡市馬場町*=1.0 北上市柳原町=1.0 八幡平市叭田*=1.0 雫石町千刈田=1.0 大槌町小槌*=1.0 大船渡市盛町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.9 北上市相去町*=0.9 軽米町軽米*=0.9 久慈市川崎町=0.9 久慈市枝成沢=0.8 久慈市長内町*=0.8 一関市東山町*=0.8 花巻市大迫総合支所*=0.8 一関市大東町=0.7 平泉町平泉*=0.7 奥州市前沢*=0.7 西和賀町沢内川舟*=0.6 九戸村伊保内*=0.6 金ヶ崎町西根*=0.6 二戸市福岡=0.6 雫石町西根上駒木野=0.5 奥州市水沢佐倉河*=0.5 葛巻町消防分署*=0.5 宮城県 2 石巻市桃生町*=2.2 気仙沼市赤岩=1.7 気仙沼市笹が陣*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.5 登米市豊里町*=1.5 登米市迫町*=1.5 1 栗原市若柳*=1.4 登米市登米町*=1.4 涌谷町新町裏=1.3 登米市米山町*=1.3 大崎市田尻*=1.3 登米市南方町*=1.2 登米市中田町=1.1 大崎市古川三日町=1.1 大崎市古川旭*=1.1 栗原市志波姫*=1.1 宮城美里町木間塚*=1.0 大崎市松山*=1.0 栗原市一迫*=0.9 登米市東和町*=0.9 南三陸町歌津*=0.9 栗原市栗駒=0.9 大崎市古川大崎=0.9 栗原市築館*=0.9 栗原市高清水*=0.9 石巻市相野谷*=0.9 東松島市矢本*=0.9 大崎市鹿島台*=0.8 石巻市大街道南*=0.8 宮城美里町北浦*=0.8 南三陸町志津川=0.7 色麻町四竈*=0.7 石巻市前谷地*=0.7 栗原市金成*=0.7 松島町高城=0.7 石巻市北上町*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.5 仙台宮城野区苦竹*=0.5 秋田県 1 秋田市河辺和田*=0.6	39° 15.9' N	142° 27.1' E	41km	M: 4.8
136	26 17 08	岐阜県美濃中西部 1 郡上市八幡町旭*=0.8	35° 47.8' N	136° 50.0' E	10km	M: 2.6
137	26 17 33	福島県沖 宮城県 1 山元町浅生原*=0.5 福島県 1 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 田村市船引町=0.6 川内村下川内=0.5	37° 39.4' N	141° 38.8' E	56km	M: 3.8
138	27 10 20	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.8	26° 57.4' N	142° 40.2' E	56km	M: -,-
139	27 13 39	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.1 珠洲市大谷町*=0.9 珠洲市三崎町=0.7	37° 27.9' N	137° 11.2' E	12km	M: 2.9
140	27 20 11	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*=0.6 根室市瑠璃瑠*=0.6	42° 49.8' N	146° 31.1' E	20km	M: 4.5
141	27 21 17	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑠璃瑠*=1.0 根室市落石東*=0.9 根室市牧の内*=0.9 根室市厚床*=0.8 根室市弥栄=0.6	42° 50.6' N	146° 32.5' E	20km	M: 4.3
142	28 01 50	沖縄本島近海 沖縄県 2 国頭村辺土名*=1.8 国頭村奥=1.5 1 今帰仁村仲宗根*=1.1 大宜味村大宜味*=0.7 伊平屋村役場*=0.7 東村平良*=0.5 鹿児島県 1 与論町茶花*=1.2 知名町瀬利覚=0.5	26° 55.8' N	128° 29.4' E	46km	M: 4.1

令和4年2月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
143	28 08 08	福島県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.0	37° 41.4' N	141° 35.1' E	49km	M: 4.1
144	28 13 03	沖縄本島北西沖 沖縄県 1 久米島町謝名堂=0.5	26° 43.3' N	126° 22.0' E	20km	M: 3.6
145	28 23 36	長野県中部 長野県 1 立科町芦田*=1.1 佐久市甲*=0.8 佐久市望月*=0.8	36° 16.4' N	138° 20.1' E	7km	M: 2.3

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 〈令和3年（2021年）3月～令和4年（2022年）2月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和3年（2021年）											
3月	116	38	7	4	1	1				167	15日 和歌山県北部（震度5弱） 和歌山県北部の地震活動 （15日以降31日現在：震度5弱：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：11回） 20日 宮城県沖（震度5強） 宮城県沖の地震活動 （20日以降31日現在：震度5強：1回、震度2：6回、震度1：23回） 福島県沖の地震活動 （震度4：1回、震度2：5回、震度1：13回）
4月	277	106	39	8						430	長野県北部の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：5回、震度1：9回） 伊豆大島近海の地震活動 （4月中：震度3：3回、震度2：5回、震度1：10回） トカラ列島近海の地震活動 （9日以降30日現在：震度4：6回、震度3：19回、震度2：64回、震度1：176回）
5月	105	35	11	3		1				155	1日 宮城県沖（震度5強） 福島県沖の地震活動 （5月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：2回、震度1：6回）
6月	82	24	9	2						117	
7月	111	37	10	5						163	奄美大島北西沖の地震活動 （4日以降31日現在：震度2：5回、震度1：5回） 八丈島近海の地震活動 （15日以降31日現在：震度4：1回、震度2：3回、震度1：10回） 福島県会津の地震活動 （18日以降31日現在：震度3：2回、震度2：2回、震度1：6回）
8月	97	40	10	4						151	茨城県沖の地震活動 （3日から4日の期間：震度3：1回、震度2：4回、震度1：9回） 石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：9回、13日16時50分に発生した能登半島沖の地震（最大震度1）を含む）
9月	101	36	17	1	1					156	16日 石川県能登地方（震度5弱） 岐阜県飛騨地方の地震活動 （19日以降30日現在：震度4：1回、震度3：2回、震度2：8回、震度1：21回）
10月	73	32	11	3		2				121	6日 岩手県沖（震度5強） 7日 千葉県北西部（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度3：3回、震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震3回を含む）
11月	71	42	13	2						128	石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度3：2回、震度2：6回、震度1：2回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 鹿児島県薩摩地方の地震活動 （29日以降30日現在：震度2：6回、震度1：4回）
12月	316	119	30	6	2	1				474	3日 山梨県東部・富士五湖（震度5弱） 3日 紀伊水道（震度5弱） 9日 トカラ列島近海（震度5強） トカラ列島近海の地震活動 （12月中：震度5強：1回、震度4：2回、震度3：15回、震度2：85回、震度1：205回） 伊豆大島近海の地震活動 （4日から17日の期間：震度2：7回、震度1：18回）
令和4年（2022年）											
1月	108	43	14			2				167	4日 父島近海（震度5強） 父島近海の地震活動 （4日以降31日現在：震度5強：1回、震度2：3回、震度1：10回） 22日 日向灘（震度5強） 日向灘の地震活動 （22日以降31日現在：震度5強：1回、震度3：5回、震度2：8回、震度1：28回） 石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度2：3回、震度1：3回）
2月	85	51	8	1						145	石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：4回） 沖縄本島北西沖の地震活動 （9日以降28日現在：震度2：5回、震度1：8回） トカラ列島近海の地震活動 （13日以降28日現在：震度3：1回、震度2：5回、震度1：6回）
2022年計	193	94	22	1	0	2	0	0	0	312	
過去1年計	1542	603	179	39	4	7	0	0	0	2374	（令和3年3月～令和4年2月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈令和3年（2021年）3月～令和4年（2022年）2月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和3年（2021年）								
3月	434	76	6	2		518	84	20日 宮城県沖（M6.9） 27日 宮古島北西沖（M6.2）
4月	456	71	8	1		536	80	18日 台湾付近（M6.1）
5月	526	86	7	3		622	96	1日 宮城県沖（M6.8） 14日 福島県沖（M6.3） 16日 十勝沖（M6.1）
6月	351	66	9			426	75	
7月	431	88	10	1		530	99	13日 千島列島（M6.2）
8月	457	90	15	2		564	107	4日 茨城県沖（M6.0） 5日 台湾付近（M6.3）
9月	309	66	10	3		388	79	14日 東海道南方沖（M6.0） 21日 千島列島（M6.6） 29日 日本海中部（M6.1）
10月	303	63	13	1		380	77	24日 台湾付近（M6.3）
11月	339	79	5	2		425	86	11日 宮古島近海（M6.5） 29日 鳥島近海（M6.4）
12月	604	134	12	2		752	148	9日 トカラ列島近海（M6.1） 26日 宮古島近海（M6.1）
令和4年（2022年）								
1月	400	80	2	3		485	85	3日 台湾付近（M6.3） 4日 父島近海（M6.1） 22日 日向灘（M6.6）
2月	388	79	10			477	89	
2022年計	788	159	12	3	0	962	174	
過去1年計	4998	978	107	20	0	6103	1105	（令和3年3月～令和4年2月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和4年2月に長周期地震動階級*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和4年2月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0											2

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和3年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和4年2月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は63回であった。

平成19年10月～令和4年2月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)											2(144)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。